

国立国語研究所学術情報リポジトリ
『現代日本語書き言葉均衡コーパス』形態論情報規
程集 第4版（上）

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 公開日: 2020-06-29 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 小椋, 秀樹, 小磯, 花絵, 富士池, 優美, 宮内, 佐夜香, 小西, 光, 原, 裕 メールアドレス: 所属:
URL	https://doi.org/10.15084/00002855

『現代日本語書き言葉均衡コーパス』 形態論情報規程集 第4版(上)

小椋 秀樹・小磯 花絵・富士池 優美・宮内 佐夜香・
小西 光・原 裕

平成23年2月

©2011 大学共同利用機関法人 人間文化研究機構 国立国語研究所

国立国語研究所内部報告書 (LR-CCG-10-05-01)

『現代日本語書き言葉均衡コーパス』
形態論情報規程集 第4版（上）

小椋 秀樹
小磯 花絵
富士池 優美
宮内佐夜香
小西 光裕
原 裕

平成23年2月

©2011 大学共同利用機関法人 人間文化研究機構 国立国語研究所

前書き

国立国語研究所は、2006年度から2010年度までの5か年計画の下、『現代日本語書き言葉均衡コーパス』(Balanced Corpus of Contemporary Written Japanese, 以下BCCWJとする。)の構築を行った。BCCWJは、1976年から2005年までの30年間に出版された日本語の書き言葉を対象としたコーパスで、その規模は、延べ語数で1億語以上である。BCCWJの構築に当たっては、運営費交付金のほか、特に書籍データの作成について、文部科学省科学研究費補助金・特定領域研究「代表性を有する大規模日本語書き言葉コーパスの構築：21世紀の日本語研究の基盤整備」(以下、特定領域研究「日本語コーパス」とする。)の補助を得た。

国立国語研究所は、1999年度から2003年度の5か年計画で、現代日本語の自発音声を対象とした延べ語数約750万語から成る『日本語話し言葉コーパス』を構築し、2004年に公開した。BCCWJはそれに続く、現代日本語を対象とした大規模コーパスである。

BCCWJには長短2種類の言語単位に基づく形態論情報をはじめ、種々のアノテーションが施されている。これらのアノテーションを利用することで、コーパスを活用した現代日本語の研究が、今後、大きく進展することが期待される。

BCCWJのアノテーションのうち形態論情報の付与作業は、国立国語研究所コーパス開発センター形態論情報サブグループが中心となって行った。形態論情報サブグループのメンバーは、特定領域研究「日本語コーパス」においてはデータ班・電子化辞書班のいずれかに所属しており、これによって、特定領域研究「日本語コーパス」のメンバーと緊密な連携を確立し、作業を遂行した。

形態論情報サブグループの任務は、BCCWJ 延べ1億語を長短2種類の言語単位に解析し、見出し・品詞・語種等の情報を付与することである。この形態論情報の目標解析精度は、長単位・短単位とも境界、品詞、見出しの認定まで含めて98%以上と定められている。形態論情報サブグループは、この目標を達成するため、計画開始から4年間は、以下の二つを中心に作業を進めた。

- (1) 形態素解析用辞書UniDicの整備拡充
- (2) 形態素解析システム等の学習用データであるコアデータの作成

さらに最終年度には、コーパス全体の精度をより高いものとすべく、コアデータ以外のデータの人手修正作業も実施した。

こうした作業を円滑に進め、精度の高い長短2種類の言語単位を実現するため、我々は、長単位・短単位の認定、見出し・品詞等の付与に関して詳細な規定を整備した。本書は、コーパス構築や形態素解析用辞書の開発に携わる研究者、BCCWJの形態論情報をより良く理解した上で、十二分に活用しようとする研究者の用に資するため、単位認定等に関する諸規程をまとめたものである。

以下、上巻の第1章でBCCWJの言語単位の概要について述べた後、第2章では長単位について、下巻の第3章では短単位について、どのように単位を認定するか示した後、見出し・品詞等の付加情報の概要、同語異語判別規程などを示す。また資料として、上巻には複合辞・連語の一覧を、下巻には短単位の認定に当たって注意すべき語(要注意語)の一覧を付した。

形態論情報付与作業には、5年間で計24名の正規職員、非正規職員、資料等整理補助者(2009年9月までアルバイト)が携わった。その担当者を、既に異動した者も含めて、次に示す。

〔正規職員〕 小椋秀樹 小木曾智信 小磯花絵

〔非正規職員〕 富士池優美 宮内佐夜香 渡部涼子 小西光
竹内ゆかり 原裕
相馬さつき 服部龍太郎 小川志乃

〔派遣社員〕 中村壮範

〔資料整理等補助者（アルバイト）〕

小川都 川端紗和子 木川あづさ 瀧田裕子 宮本友子
大塚真理子 佐藤麻衣子 中村純平 日下部祥子
山岡ゆう 宮嶋聰子

また、国立国語研究所コーパス開発センターの他のサブグループのメンバー、特定領域研究「日本語コーパス」関係者からも協力を得た。特に、形態素解析用辞書UniDicの整備拡充をはじめとして長単位解析・短単位解析全般について電子化辞書班班長の伝康晴氏（千葉大学文学部）に様々な指導・助言を得た。長単位の自動解析については、電子化辞書班連携研究者の内元清貴氏（独立行政法人情報通信研究機構），同協力者の小澤俊介氏（名古屋大学大学院生）に依頼し、全面的な協力を得た。ここに記して感謝申し上げる。

第 1 章 『現代日本語書き言葉均衡コーパス』の言語単位

小椋秀樹　富士池優美	1
第 1 語彙調査の調査単位	1
第 2 BCCWJの言語単位の設計方針	3
第 3 採用した言語単位	4
第 4 長単位・短単位の概要	4
第 5 長単位・短単位の長所	8
第 6 形態素解析用辞書UniDicについて	10

第 2 章 長単位

富士池優美　小椋秀樹　小西光 11

I 文節認定規程 Version 1.4

第 1 文節認定規程	11
第 2 複合辞・連語	28
細則 1 複合辞「ことができる」「ことにする」「ことになる」「ことではない」の認定基準	33
細則 2 複合辞「ていく」「てくる」の認定基準	34
細則 3 複合辞「という」の認定基準	37
細則 4 複合辞「といえども」「といった」「といつても」の認定基準	38
細則 5 複合辞「として」の認定基準	39

II 長単位認定規程 Version 1.4

第 1 長単位認定規程	41
-------------	----

III 付加情報 Version 1.0

第 1 付加情報の概要	59
-------------	----

第 2 品詞情報の概要 6 0

IV 付加情報付与基準 Version 1.0

第 1 語彙素読み・語彙素付与の基準 7 5

第 2 品詞付与基準 8 6

資料 複合辞・連語

複合辞・助詞相当句 (2)

複合辞・助動詞相当句 (1 6)

連語 (2 6)

下巻目次

第3章 短単位

I 最小単位認定規程 Version 1.6

第1 最小単位認定規程

第2 和語の最小単位認定に関する規則

第3 最小単位の分類

II 短単位認定規程 Version 1.6

第1 短単位認定規程

第2 最小単位の結合の例

III 付加情報 Version 1.6

第1 付加情報の概要

第2 品詞情報の概要

第3 語種情報の概要

第4 用法に関する情報の概要

IV 同語異語判別規程 Version 1.3

第1 同語異語判別規程

第2 意味の面から見た同語異語の判別

参考資料 助詞・助動詞接続一覧（終止形・連体形接続）

参考文献

資料 要注意語

第1章

『現代日本語書き言葉均衡コーパス』の言語単位

小椋秀樹 富士池優美

本章では、まず国立国語研究所がこれまでに行ってきた語彙調査における調査単位を概観し、続いてBCCWJ¹の言語単位の設計方針、BCCWJで採用した言語単位の概要について述べる²。

第1 語彙調査の調査単位

国立国語研究所は、これまでに、マスメディアにおける書き言葉や話し言葉を中心に、合計10回の大規模な語彙調査を実施してきた。この語彙調査に当たっては、当然、語というものを規定することが必要となる。しかし、語の定義については研究者によって様々な立場があるため、語彙調査において語（調査単位）をどのように規定するかということは常に大きな問題となる。

国立国語研究所がこれまでに行った語彙調査では、調査単位の設計に当たって、語とは何かという本質的な議論の上に立って調査単位を設計するという立場は取っていない。それぞれの語彙調査の目的に応じて最もふさわしい単位を設計するという方針の下に、一貫して操作主義的な立場を取ってきた³。そのため、表1.1に示すように、複数の調査単位が使われてきた⁴。

表1.1 国立国語研究所の語彙調査における主な調査単位

	単位の名称	語彙調査名
長い単位の系列	α単位	現代の語彙調査・婦人雑誌の用語
	W単位	高校教科書の語彙調査、中学校教科書の語彙調査
	長い単位	雑誌用語の変遷、テレビ放送の語彙調査
短い単位の系列	β単位	現代の語彙調査・総合雑誌の用語、現代雑誌九十種の用語用字、雑誌200万字言語調査
	M単位	高校教科書の語彙調査、中学校教科書の語彙調査

1 BCCWJの概要については、前川喜久雄(2006, 2008), 山崎誠(2007)を参照。

2 本章の内容は、小椋秀樹(2006), 小椋秀樹ほか(2007), 富士池優美ほか(2008)に基づくものである。

3 ここで言う「操作主義的な立場」とは、「これこれこういうものを「～単位」とする、という規定をするだけで、その「～単位」が言語学的にどのようなものなのか、単語なのか、単語でないとすれば、どこが単語とちがうのか、といった問題には、まったくふれない」(国立国語研究所1987:11)という単位設計上の立場を指す。

4 単位の概略と例については、林大(1982:582-583), 中野洋(1998:171-172)を基にした。

【調査単位の概略】

(1) 長い単位の系列：主として構文的な機能に着目して考えた単位。おおむね文節に相当する。

α 単位 文節を基にした単位。「| 小学校 | 卒業 |」「| 男児用 | 外出着 |」のように長い語を分割する規定を設けている。

W 単位 非活用語及び活用語のうち終止・連体形、命令形、中止用法・修飾用法の連用形を1単位とする。また、それらに接続する付属語も1単位とする。

長い単位 文節に相当する単位。「テレビ放送の語彙調査」の長い単位は、複合辞を助詞・助動詞として扱っていること、人名・地名のほか書名・番組名・商品名なども固有名詞として扱っていることから、「雑誌用語の変遷」で採用した長い単位よりも長くなっている。

(2) 短い単位の系列：主として言語の形態的な側面に着目して考えた単位。

β 単位 原則として、現代語において意味を持つ最小の単位（最小単位）二つが、文節の範囲内で1次結合したものを1単位とする。

M 単位 β 単位と同様に最小単位を基にした単位。漢語は、β 単位と同様に二つの最小単位が文節の範囲内で1次結合したものを1単位とするが、和語・外来語は1最小単位を1単位とする。

【調査単位の例】

(1) 長い単位の系列

α 単位： 型 紙 | どおり | に | 裁断 | し | て | 外出 | 着 | を | 作り | まし | た |

W 単位： 型 紙 | どおり | に | 裁断 | し | て | 外出 | 着 | を | 作り | まし | た |

長い単位（雑誌用語の変遷）：

型 紙 | どおり | に | 裁断 | し | て | 外出 | 着 | を | 作り | まし | た |

長い単位（テレビ放送の語彙調査）：

型 紙 | どおり | に | 裁断 | し | て | 外出 | 着 | を | 作り | まし | た |

その | 問題について | 検討している |

(2) 短い単位の系列

β 単位： 型 紙 | どおり | に | 裁断 | | し | て | 外出 | | 着 | を | 作り | | まし | た |

M 単位： 型 | 紙 | どおり | に | 裁断 | | し | て | 外出 | | 着 | を | 作り | | まし | た |

調査単位の設計に当たって操作主義的な立場を取ってきたのは、「必要以上に学術的な議論に深入りし、実際上の作業がすすまないことをおそれたため」（国立国語研究所1987:12）であり、「学者の数ほどもある「単語」の定義について、まず、意見を一致させてから、というのでは、見とおしがたたない。」（同:12）からである。

このような立場に対しては、当然のことながら「語というのは何なのか、調査のため便宜的に設けられた単位にすぎないのかという問題が残る。」（前田1985:740）という批判がある。確かに、語というものを定義しようとする以上、語とは何かという本質的な議論を積み重ねていくことは重要なことである。しかし、国立国語研究所(1987:12)に、「原則

的にただしい定義に達したとしても、それが現実の単位きり作業に役立たないならば、無意味である。語い調査というのは、現象の処理なのだから。」と述べられているように、語彙調査においては対象とする言語資料に現れた個々の事象を、的確に処理することも極めて重要である。このことから、これまでの語彙調査では、語とは何かという本質的な議論よりも、言語現象を的確に処理することを重視してきた。

このような立場を取って、各種の語彙調査を進めてきたことにより、「同じ資料の語彙調査を短単位と長単位との両方で行ってみてどのような違いが出てくるかを検討したことなどは、単位の区切り方を曖昧にしたまま「語彙調査」を行なうことに対する反省を促す」(前田1985:740)など、日本語の計量的な研究を進める上で先駆的な役割を果たしてきたと言うことができる。国立国語研究所の語彙調査における調査単位の設計方針には批判もあるが、それにより現実の言語現象を的確に処理してきたことは、十分に意味があったと言える。

第2 BCCWJの言語単位の設計方針

BCCWJの言語単位の設計に当たっては、語彙調査における調査単位の設計と同様の立場を取った。つまり、まずBCCWJを日本語研究に利用するために、どのような言語単位が必要か整理し、その上で設計方針を立て、その方針に基づいて言語単位を設計したのである。

このような立場を取ったのは、語とは何かという本質的な議論の重要性はもちろん認めることではあるが、コーパス構築という実務を考えた場合、BCCWJに現れる言語現象を的確に処理できる単位を設計することの方が、より重要であると考えたからである。このようにして大規模なコーパスを処理した結果をまとめておくことは、今後、言語単位論を進める上での基礎的な資料になると考えられる。

我々は、BCCWJの言語単位の設計方針として、次の三つを掲げた。

方針1：コーパスに基づく用例収集、各ジャンルの言語的特徴の解明に適した単位を設計する。

コーパスの日本語研究への活用としてまず考えられるのは、コーパスから用例を集めることである。そのため、BCCWJを日本語研究で幅広く利用できるようにするには、用例収集に適した単位を設計する必要がある。またBCCWJは、新聞・雑誌・書籍といった複数の媒体を対象としたコーパスであり、内容も政治・経済・自然科学・文芸等と多岐にわたっている。このようなBCCWJの構成から、媒体別・ジャンル別の言語的な特徴を明らかにしていくことが重要な研究テーマになると考えられる。したがって、そのような分析に適した単位を設計することが必要になる。

方針2：『日本語話し言葉コーパス』と互換性のある形態論情報を設計する。

国立国語研究所が既に構築したコーパスとして、現代の話し言葉を対象とした『日本語話し言葉コーパス』(Corpus of Spontaneous Japanese, 以下CSJとする。) がある⁵。CSJ、BCCWJは共に現代日本語を対象とした大規模コーパスであり、日本語研究の立場からは、両コーパスを活用した現代日本語の話し言葉・書き言葉の研究を進めていくことが重要なテーマとなる。このような研究を進めるためには、CSJとBCCWJとを統一的に扱うことのできるような互換性を持った単位を設計する必要がある。

方針3：国立国語研究所の語彙調査における知見を活用する。

国立国語研究所は、1949年の『語彙調査—現代新聞用語の一例一』以来、合計10回の

5 CSJの言語単位の概要については、小椋秀樹(2006)を参照。

語彙調査を実施した。その中で、調査単位の設計や言語現象の処理に関して、様々な知見を蓄積している。そこで、BCCWJの言語単位の設計や単位認定の際に、これら語彙調査の知見を活用していく。語彙調査の結果は、日本語研究でも様々な活用されており、言語単位の設計等に語彙調査の知見を活用していくことは、BCCWJを使った日本語研究を進めていくためにも有用であると考えられる。

第3 採用した言語単位

以上の方針の下、BCCWJの言語単位について検討した結果、次のような結論を得た。BCCWJの言語単位には、方針1で挙げた、用例収集・各ジャンルの言語的特徴の解説という二つの利用目的に応じて、次に示す2種類を採用する。

- (1) 用例収集を目的とした短単位
- (2) 言語的特徴の解説を目的とした長単位

この短単位・長単位は、いずれもCSJで採用した言語単位である。また短単位は国立国語研究所が行った現代雑誌九十種調査のβ単位を、長単位はテレビ放送の語彙調査の長い単位を基に設計したものである。このようにして、CSJとの互換性の保持と、国立国語研究所の持つ語彙調査の知見の活用とを図る。なお、長単位・短単位認定規程は、CSJの規程をそのまま用いるのではなく、書き言葉用に修正・拡張を行っている。長単位認定規程の主な変更点は4.1.3節に、短単位認定規程の主な変更点は4.2.3節に述べる。

第4 長単位・短単位の概要

ここでは、長単位・短単位の概要について述べる。それぞれの単位の詳細については、長単位は第2章（上巻）を、短単位は第3章（下巻）を参照されたい。

4.1 長単位の概要

長単位は、言語の構文的な機能に着目して規定した言語単位である。長単位の認定は、文節の認定を行った上で、各文節の内部を規定に従って自立語部分と付属語部分とに分割していくという手順で行う。そのため、長単位の認定規程は、文節と長単位、二つの認定規程から成る。

本節では、文節と長単位の認定規程の概要及びCSJの長単位認定規程からの変更点について述べる。以下、例文中の文節の境界を「|」、長単位の境界を「|」とし、注目している境界を「||」、切らないことを示す場合には「-」を、中でも注目している部分には「=」を用いる。また、注目している単位には下線を付す場合がある。

4.1.1 文節の認定

長単位の認定に当たっては、まず文節の認定を行う。

文節は、一般に付属語又は付属語連続の後ろで切れる。BCCWJでは、CSJと同様に複合辞も付属語として認めた。文節を認定する上で問題となることの一つに、固有名、動植物名、「一が～」「一の～」で1短単位と認める体言句がある。これらについては、内部にある付属語の後ろでは切らないこととする。

| 源=頼朝 | | 虎の=門交差点 | | タツノ=オトシゴ | | ユキノ=シタ |
| 案の=定 | | 油絵の=具 | | 万が=一 |

4.1.2 長単位の認定

長単位は、規定に基づいて文節を分割する（又は分割しない）ことによって得られた要

素を1単位とする形式であり、文節を超えることはない。

以下、長単位認定規程の概要を示す。

[1] 記号は1長単位とする。

| 湾岸戦争後 | 英 | 仏 | など | と |

| 供給実績資料 | 定期借地権普及促進協議会調べ |

ただし、それがないときに全体が1長単位となるものの中に現れる記号は、1長単位としない。

| 採穂=(種)=園 | 1 7=. =3% | 小=、=中学生 |

[2] 語と同じ働きをする記号・記号連続及びそれらを含む結合体は、全体で1長単位とする。

| 2, 000=m² | WHO | PHS |

[3] 付属語（複合辞を含む。）は1長単位とする。

| 公害紛争処理法 | における | 公害紛争処理 | の | 手続 | は | , | 原則 | として |
紛争当事者 | から | の | 申請 | によって | 開始さ | れる | 。

[4] 体言及び副詞に形式的な意味の「する」「できる」「なさる」「いたす」が直接続く場合、体言及び副詞と「する」「できる」「なさる」「いたす」とを切り離さない。

| 往復運動=し | て | いる | きらきら=さ | せ | た |

[5] 同格の関係にある体言連続は切り離さない。

| 機関誌=計量国語学 | が | 発刊さ | れ |

[6] 並列の関係にある語は切り離さない。

| 公正=妥当 | な | 実務慣行 |

(1) 並列された語のうち、①読点でつなげている場合、②用言を中点でつなげている場合、③文相当の表現は切り離す。

| 市 | 、 | 町、 | 村 | はじめる | 、 | はじまる |

| コタツ派 | ヒーター派 | ? |

(2) 並列の関係にある体言の間に読点がある場合、並列された体言全体に係る、又はそれら全体を受ける体言的な形式や接辞があっても切り離す。

| 昭和 | 55年 | 、 | 56年 | 米国 | 、 | 欧州=以外 |

[7] 数を表す要素を含む自立語は、以下のように長単位を認定する。

(1) 数を表す要素は、単位の変わり目の後ろで切る。

| 平成 | 15年 | 9月 | 15日 | 午後 | 7時 | 33分 |

(2) 数を表す要素の前で切る。

| 延べ | 23時間 | 30分 |

ただし、数を表す要素と前の要素とに係る、又はそれらを受ける体言・接辞がある場合には、数を表す要素と前の要素とを切り離さない。

| 果汁=百パーセント-オレンジジュース | 翌-平成=8年 |

(3) 数を表す要素とそれに続く体言・接辞とは切り離さない。

| 月 | 80時間=以上 | 96年 | 3月 | 31日=以前 |

4. 1. 3 CSJの長単位からの変更点

(1) 記号に関する規定の追加

CSJの書き起こしテキストには用いられていなかった句読点等、区切り符号を含む記号を1長単位にする規定を追加し、書き言葉に対応した。

(2) 数量を表す要素に関する変更

CSJでは数量を表す要素は分割せず一続きとしていたが、長すぎるという指摘があった。

CSJ : | 1 m = 8 0 c m |

BCCWJでは前述のとおり、単位の変わり目の後ろで分割することとした。

BCCWJ : | 1 m || 8 0 c m |

(3) 係り受けが関係する規定の簡素化

CSJでは「体言連続の一部分が連体修飾語を受けている場合、その後ろで切る」「2文節を受ける、若しくは2文節以上に係る接辞はその前後で切る」という規定があった。

CSJ : | 項構造 | の | 曖昧性 || 解消 |
| 円形劇場 | とか | 水路 || 等 |

これらは、語と語との係り受けを厳密に考えたところから作られたものである。しかし実際に単位分割をする際には、体言連続の一部分が連体修飾語を受けているかどうかの判定が難しいものがある。そのため、特に判定が難しい「体言+以降、間（かん）、ごと、自体、達」という形式は、

CSJ : | 住ん | でる | 人=達 |

のように、体言と「達」などを切り離さないという例外規定を設ける等、煩雑な規定となっていた。このことが単位認定のゆれにつながっていたため、BCCWJでは規定を簡素化することとした。

BCCWJ : | 項構造 | の | 曖昧性=解消 |
| 円形劇場 | とか | 水路=等 |

4. 2 短単位の概要

短単位は、言語の形態的側面に着目して規定した言語単位である。短単位の認定に当たっては、まず現代語において意味を持つ最小の単位（以下、最小単位）を規定する。その上で、最小単位を長単位の範囲内で短単位の認定規程に基づいて結合させる（又は結合させない）ことにより、短単位を認定する。そのため、短単位の認定規程は、最小単位と短単位、二つの認定規程から成る。

本節では、最小単位と短単位の認定規程の概要及びCSJの短単位認定規程からの変更点について述べる。以下、例文中の最小単位の境界を「/」、短単位の境界を「|」とし、注目している境界を「||」、切らないことを示す場合には「-」を、中でも注目している部分には「=」を用いる。また、注目している単位には下線を付す場合がある。

4. 2. 1 最小単位の認定

最小単位は、現代語において意味を持つ最小の単位であり、和語・漢語・外来語・記号・人名・地名の種類ごとに、次のように認定する。

和 語 : /豊か/な/暮らし/に/つい/て/
/大/雨/が/降っ/た/の/で/

漢 語 : /国/語/ /研/究/所/

外 来 語 : /コール/センター/ /オレンジ/色/

人 名 : /星野/仙一/ /ジェフ/・/ウィリアムス/ /林/威助/

地 名 : /大阪/府/豊中/市/守山町/ /六甲/山/ /琵琶/湖/

記 号 : /図/A/ /JR/

上記のように認定した最小単位を短単位認定の必要上、表1. 2のように分類する。

表1. 2の分類のうち「付属要素」とは、接頭辞・接尾辞・補助用言のことである。ただし、すべての接頭辞・接尾辞・補助用言を付属要素に分類するわけではない。現代雑誌九十種調査、CSJ及びBCCWJに出現したものの中から造語力が高いなど注目されるものを付属要素に分類している。

なお、最小単位は短単位認定のために必要な概念として規定するものである。そのため、BCCWJのサンプルを最小単位に分割することはしない。

表1.2 最小単位の分類

分類	例
一般	和語：豊か大雨… 漢語：国語研究所… 外来語：コールセンター オレンジ…
数	一二十百千…
その他	接頭的要素：相御各… 接尾的要素：兼ねるがたい的…
	助詞・助動詞：だますかからての…
	人名・地名：星野仙一 大阪六甲…
	記号：A B オ イ ロ ア JR…

4.2.2 短単位の認定

短単位の認定規定は、表1.2の分類ごとに適用すべき規定が定められている。その規定に基づいて最小単位を結合させる（又は結合させない）ことにより、短単位を認定する。なお、最小単位を結合させる際には、長単位境界を超えないという制約を設け、長単位と短単位とが階層構造を持つようにしている。

以下、一般・数・その他に分けて、短単位認定規程の概略を示す。

[1] 一般

《原則》

(1) 和語・漢語は、2最小単位の1次結合体を1短単位とする。

| 母=親 | 食べ=歩く | 言=語 | 資=源 | 研=究 | 所 |
| 本=箱 | 作り |

(2) 外来語は、1最小単位を1短単位とする。

| コール | センター | オレンジ | 色 |

《例外規定》

(1) 省略された外来語の最小単位の扱い

①省略された外来語の最小単位は、和語・漢語の最小単位と同様に扱う。

| パソ=コン | 塩=ビ | ピン=ぼけ |

②省略された外来語の最小単位と省略されていない外来語の最小単位との1次結合体は1短単位とする。

| エア=コン | マス=コミ |

(2) 1最小単位を1短単位とするもの

①最小単位が三つ以上並列した場合の各最小単位

| 衣 | 食 | 住 | 松 | 竹 | 梅 | 都 | 道 | 府 | 県 |

②類概念を表す部分と名を表す部分とが結合してできた固有名詞のうち、類概念を表す部分と名を表す部分とが共に1最小単位の場合の各最小単位

| さくら | 屋 | 歌舞伎 | 座 | のぞみ | 号 |

(3) 最小単位の三つ以上の結合体を1短単位とするもの

①三つ以上の最小単位からなる組織の名称等の略称

| 日経連 | 通総研 |

②切る位置が明確でないもの、あるいは切った場合とまとめにした場合とで意味に差があるもの

大統領	不可解	明後日	殺風景
輸出入	国内外	原水爆	市町村長
大袈裟	大丈夫	二枚目	十八番

ただし、二つ以上の漢語の最小単位が並列して1短単位と結合している場合は、次のように短単位を認定する。

| 中 | 小 | 企業 | 小 | 中 | 学校 | 都 | 道 | 府 | 県 | 知事 |

[2] 数

「数」以外の最小単位と結合させない。「数」どうしの結合は、一・十・百・千のとなえを取る桁ごとに1短単位とする。「万」「億」「兆」などの最小単位は、それだけで1短単位とする。小数部分は1最小単位を1短単位とする。

|十|二|月|二十|三|日| |七百|五十|二|万|語|
|五|分|の|二| |二三十|回| |〇|. |四|五|

[3] その他

1 最小単位を1短単位とする。

付属要素 : |筒|状| |扱い|兼ねる|

助詞・助動詞 : |豊か|な|暮らし|に|つい|て|

人名 : |星野|仙一| |ジェフ|・|ウィリアムス| |林|威助|

地名 : |大阪|府|豊中|市|待兼山町| |六甲|山| |琵琶|湖|

記号 : |図|A| |JR|

4. 2. 3 CSJの短単位からの変更点

CSJの短単位や現代雑誌九十種調査の β 単位では、「一般」の外来語の最小単位も、和語・漢語と同様、二つの1次結合を1短単位としていた。例えば、「コールセンター」「オレンジ色」は共に1単位としていた。ただし、(1)欧米語の冠詞・前置詞に当たるものは1最小単位を1短単位とする、(2) β 単位では最小単位二つの1次結合が7拍を超える場合、短単位では同じく10拍を超える場合、結合させずに1最小単位を1短単位とするという例外規定を設けていた。

しかし、外来語の最小単位二つの1次結合を1短単位とすることについては、CSJの構築当初から和語・漢語に比べて長すぎるのではないかという指摘があった。このような指摘を踏まえ、上記(2)の拍数による例外規定を設けたが、10拍を超える場合としたことに言語学的な意味があるわけではなく、そういう意味でこの例外規定にも問題があった。

以上のことから、BCCWJでは「一般」の外来語の最小単位は、原則として1最小単位を1短単位とし、和語・漢語の最小単位とは異なる扱いにした。

第5 長単位・短単位の長所

ここでは、長単位・短単位がコーパスの言語単位として、どのような長所を持つのかについて述べる。

5. 1 長単位の長所

一般に単位を短くすればするほど、取り出した単位はいわゆる基本的な語となる。反対に、長くすればするほど、当該資料の性格を反映する特徴語を取り出せるようになる。短単位は基準が分かりやすくゆれが少ないため、用例収集を行う上では便利な単位であるが、合成語を構成要素に分割してしまうという問題点がある。

中央省庁刊行白書の人手修正済み短単位データ（約20万語）を基に、白書を安全・科学技術・外交・環境・教育・経済・国土交通・農林水産・福祉に分類した場合、どのような語と結合するかという点から、ジャンル別の差異を見る。以下、「生活」という語を例に説明する。20万語中、「生活」は211例見られる。そのうち「生活」単独で使われた例が42例、合成語の構成要素として使われている例が169例と、「生活」という短単位は、合成語の構成要素として使われることが多いことが分かる。

ここで、経済と福祉それぞれのジャンルでの「生活」を見てみよう。経済では「生活」

は7例使われており、そのうち、「生活」単独で使われた例は1例である。一方、福祉では「生活」が126例用いられており、そのうち「生活」単独で使われた例が27例である。以下に、「生活」が合成語の構成要素として使われている例を示す。

【経済】

国民生活選好度調査 消費生活 人間生活 生活不安度指数 労働者生活

【福祉】

WHO国際生活機能分類 加齢、食生活、日常生活環境等 家庭生活
基礎的生活コスト 共同生活 国際生活機能分類 国民生活センター
国民生活選好度調査 市町村障害者生活支援事業
施設サービス・精神障害者生活訓練施設 自立生活 社会生活 消費生活
消費生活センター 障害者就業・生活支援センター 障害者生活訓練
食生活環境 食生活関連情報 生活コスト 生活する 生活できる
生活確保体制 生活環境 生活教養テレビ番組 生活訓練・就労・住居等
生活支援 生活支援体制 生活施設 生活実態 生活上 生活水準
生活全般 生活相談 生活満足度 精神障害者地域生活支援センター
知的障害者生活支援事業 地域生活 地域生活支援 日常生活
日常生活支援体制 日常生活上 避難生活 別居生活

上に挙げた中で、下線を付した語はそれぞれ経済のみ、福祉のみに出現しているものである。つまり、「生活不安度指数」「労働者生活」などは経済の白書を特徴付ける語であり、「障害者生活訓練」「生活コスト」「地域生活」などは福祉の白書を特徴付ける語であると言うことができる。このように「労働者生活」を「労働」と「者」と「生活」とに、「生活コスト」を「生活」と「コスト」とに分割するのではなく、全体で一つとして扱う長い単位を使うことで、各ジャンルの特徴的な語を把握することができる。長単位は各ジャンルの言語的特徴を解明するという目的にかなう、各媒体・各ジャンルの資料的な性格を反映する単位と言える。

5. 2 短単位の長所

短単位の長所としては、次の2点が挙げられる。

長所1：基準が分かりやすく、ゆれが少ない。

これは、短単位の基礎となる最小単位の認定に当たり、個人によって捉え方に幅のある要素を基準に持ち込んでいないことによる。

なお、基準が分かりやすく、ゆれが少ないという短単位の長所は、作業効率の向上につながるだけでなく、コーパスの使いやすさにもつながる。基準が分かりやすければ、利用者が語を検索する際、どのように検索条件を指定すればよいか迷うことが少なくなる。また、ゆれの少なさ、つまりデータの精度の高さは、分析結果の確かさにもつながる。

長所2：取り出した単位が文脈から離れすぎない。

上で短単位はゆれが少ない単位であると述べたが、実は最もゆれが少ない単位は、短単位ではなく、その基礎となっている最小単位である。それにもかかわらず、最小単位を言語単位として採用しなかったのは、最小単位は文脈から離れすぎるため、日本語の研究に使いにくいかからである。

例えば、短単位「気持ち」は「気」と「持ち」の二つの最小単位に分割することができる。もしこのような最小単位でコーパスが解析されていると、動詞「持つ」を検索した際に、「荷物を持つ」などの「持つ」とともに、「気持ち」の「持ち」も検索結果として得

られることになる。

しかし、動詞「持つ」の分析を行う際に、「気持ち」の「持ち」まで検索結果に含まれるのは望ましいとは言い難い。それは、実際の文脈の中では、動詞「持つ」として機能していないからである。したがって、コーパスから用例を収集し、分析することを考えた場合、正確に単位認定ができるとしても、最小単位のような単位では問題が多いということになる。

以上のように考えた場合、短単位は、基準の分かりやすさ、ゆれの少なさという条件を満たしつつ、用例を収集して分析を行うという利用目的にもかなう単位と言える。

第6 形態素解析用辞書UniDicについて

BCCWJは、1億語から成る大規模なコーパスであるため、形態論情報の付与は自動解析システムにより行う。短単位解析には解析エンジンMeCabと形態素解析用辞書UniDic⁶を、長単位解析には短単位解析結果から長単位を自動構成する解析器⁷を使う。ここでは、短単位解析で用いる形態素解析用辞書UniDicについてその概要を紹介する。

短単位解析の解析用辞書にUniDicを採用したのは、UniDicの言語単位がCSJの短単位とほぼ同じものであり、品詞等の情報についてもBCCWJと互換性を持つものであったことによる。

また、UniDicでは、表記や語形の違いにかかわらず、同じ語であれば、同一の見出しを与えるという方針を取り、語を階層化した形で登録している。この階層構造の最上位を語彙素（国語辞典の見出しに相当）と呼んでおり、この語彙素の下に語形（語形の違いを区別する層）、更に語形の下に書字形（表記の違いを区別する層）という階層を設けている（図1.1）。

語彙素	語形	書字形
矢張り	ヤハリ	やはり
		矢張り
	ヤッパリ	やっぱり
		矢っ張り
	ヤッパ	やっぱ

図1.1 UniDicの階層構造の例

このような階層構造で登録した辞書を用いて、語を形態素解析することによって、例えば、ある語について、どのような語形の変異や表記のゆれが、どの程度あるのかという情報を容易に得られるなど、日本語研究の可能性が格段に広がることが期待される。このこともUniDicを形態素解析用辞書として採用した理由である。

我々は、BCCWJの構築を始めた2006年の時点で既に伝康晴氏が中心になって構築していたUniDic（見出し語：約46,000語）を基に、国語辞典や国立国語研究所の語彙調査等を基に作成されたデータ、そしてBCCWJの解析結果からUniDicの未登録語を追加していく作業を継続して行った。この作業の過程で、単位の認定、品詞情報等についてり合わせを行い、現在では、UniDicの解析結果と本書で述べるBCCWJの短単位、品詞情報等に違いがない状態となっている。

6 UniDicについては、伝康晴ほか(2007)を参照。

7 長単位を自動構成する解析器については、Uchimoto.K., & Isahara,H., (2007)を参照。

第2章

長単位

富士池優美 小椋秀樹 小西光

長単位は、言語の構文的な機能に着目して規定した言語単位である。長単位の認定は、文節の認定を行った上で、各文節の内部を規定に従って自立語部分と付属語部分とに分割していくという手順で行う。そのため、長単位の認定規程は、文節と長単位の二つの認定規程から成る。

《凡例》

1. 以下の規程に示した例は、コーパスに現れた例又は作例である。

2. 文節・長単位の境界を示すために次の記号を用いた。

文節の境界 | 例： | 国立国語研究所の |

長単位の境界 | 例： | 国立国語研究所 | の |

当該規定で着目している箇所

..... || 例： | 国立国語研究所の ||

| 国立国語研究所 | の |

3. 文節・長単位について分割しないことを特に示す必要があるときには、次の記号を用いた。

文節・長単位のつなぎ目 - 例： | からかわれて-ばかり-いる |
| 機関誌-計量国語学 | が |

当該規定で着目している箇所

..... = 例： | からかわれて=ばかり=いる |
| 機関誌=計量国語学 | が |

4. 着目している文節・長単位が分かりにくい場合は、当該箇所に下線を付した。

5. 各バージョンで変更した規定には、「(◆ver.1.1修正)」「(◆ver.1.1追加)」などと表示した。

I 文節認定規程 Version 1.4

第1 文節認定規程

【句読点・空白・改行に関する規定】

(◆ver.1.1修正)

(◆ver.1.2修正)

(◆ver.1.3修正)

(◆ver.1.4修正)

1 句読点（句読点として用いられているカンマ・ピリオド・エクスクラメーションマーク・クエスチョンマーク、三点リーダー、並びにコロンを含む。）及び空白の後ろで切る。

【例】 | 低コストで | 機動的に | 商業施設として | 活用する | 例なども | ある。 ||
| 米は | 湾岸戦争後、 || 英、 || 仏などと | ともに | 国連安保理決議を |
| 実包八百五十六個等を | 発見、 || 押収するとともに、 ||
| この | ような | 社会情勢の | 下で、 || 公害に関する | 法制の | 整備が | 急
がれるとともに、 ||
| 十五歳少女が | 最年少記録 | 「エベレスト登頂」 | 三浦さん最高齢記録 |
その | 日に… ||
不合格には、		違いないでしょう。				
第2部		森林	及び	林業に関して	講じた	施策
2	協力的自主国防推進：		自主国防と	米韓同盟が		
備考：		() は、	専攻科を	設置する	学校で	内数である
1	日本文化の	発信による	國際文化交流の	推進		
注2：	過去3年間においては、	土砂災害による	死者の	うち	約6	
割が	災害弱者と	なっている。				
レジストリの	修復を	してください	という	警告が		

句読点・空白が連続している場合、最後の句読点・空白の後ろで切る。

【例】 | 無理やり | 押し込んで | いいんですか !=? ||
| 韻きが | いいね。== ||

(◆ver.1.2修正)

(◆ver.1.3修正 (番号のみ))

(◆ver.1.4修正)

1. 1 次に挙げる読点・カンマ (以下、読点とする。) の後ろでは切らない。

(1) それがないときに全体が1短単位となるものの中に現れるもの

【例】 | 小=、 =中学生では | 内容的に | 早すぎる | ものが | あるからだ。 |
| 銀行取引停止 | 避け | 自ら | 転=、 =休=、 =廃業選択 |
| 年に | 1=、 =2日間の | 活動を | 義務付けたり、 |

※ 読点の前の短単位が読点より後方の要素に係っており、読点がない場合に、全
体が1文節となるものの中に現れる場合は、読点の後ろで切る。

【例】 | こう | した | 動きを、 | 名目、 || 実質G N Pの | 構成要素としての |

(2) 助詞・助動詞・接尾辞連続の中に現れるもの (読点の後ろで切ると、直後の文節が
助詞・助動詞又は接尾辞から始まることになる場合)

【例】 | 神さまの | 火は | ゼったいに | 安全だ=、 =という | 気持ちが、 |

(3) 読点の後ろで切ると、接頭辞のみで構成される文節が認定されるもの

【例】 | 得意の | 短、 =中距離に | 確かな | 手ごたえを | 感じた | ようだ。 |

(◆ver.1.2追加)

1. 2 その他、読点の後ろで切ると、問題のある場合は、適宜個別に判断する。

【例】 | 全道高校ラグビー大会南、 =北選手権大会 | 二十五、二十七日、 |
小学校教師に	よる	小学校中、 =高学年の	部と
罰金を	科す	「町イヌ、 =ネコ愛護条例」案を	提出した。
十一月7、 =8日に	実演販売する	ため、	
平成9、 =十五年度			

(◆ver. 1.2追加)

(◆ver. 1.4追加修正)

1. 3 次に挙げる空白の後ろでは切らない。

(1) 文頭にあるもの

【例】 | =それは、 | 現実の | 世界情勢が |

(2) 格助詞等で受けられて日本語文の構成要素となっている欧文中にあるもの

【例】 | 米国、 | イギリス、 | 南アフリカ、 | アイルランド等により | 構成される
| E n g i n e e r s =M o b i l i t y =F o r u m における | 検討に
| 参加している。 |

※ 空白を含む欧文が日本語文の構成要素となっていない場合は、空白の後ろで文節を切る。

【例】 | グレース・ケリー | G r a c e | K e l l y |

(3) (財) (社) (株) (独) (有) 等と組織の名称との間にあるもの

【例】 | (財) = =自主流通米価格形成センター |

(◆ver. 1.1追加)

(◆ver. 1.4修正)

1. 4 規定3以下によって定められる文節境界が句読点の直前に位置する場合、その規定は適用しない。

【例】 | 地域活動への | 参加、 | 地産地消といった | 小さな | 経済で | 充足感を |
得る | 社会と | なります。 |

※ 上記の例の文末「なります。」は、用言の終止用法に当たるため、規定1と規定4. 3とを適用すると、「 | なります | 。 | 」となる。しかし、句点のみの文節を認定するのは問題があるため、本規定を設け、上記のとおり文節を認定することとした。

(◆ver. 1.4追加)

1. 5 見出し等で改行がある場合、改行の箇所で切る。

【例】 | 最高裁9裁判官 (改行) || 司法改革アンケート |

2 句読点以外の区切り符号の扱いは、補則1に示す。

【付属語に関する規定】

(◆ver. 1.4修正 (用例追加))

3 助詞・助動詞・接尾辞連続（言いよどみの助詞・助動詞・接尾辞も含む。）の後ろで切る。助詞・助動詞には上巻・資料「複合辞・連語」に挙げた複合辞を含む。

【例】 | 地域活動への || 参加、 | 地産地消といった || 小さな | 経済で || 充足感を ||
得る | 社会と || なります。 |
| 地域住民による || ネットワークが || 形成されにくい || 状況が || 生じてお
り、 |
| その | 目的が || 個人に || 絞られ || 過ぎている || 傾向が || ある |

| 何より \| 雜草のごとく \| どこにも \| 顔を \| 出している |
| 円錐の \| 側面積=円周率×母線×底面の \| 半径の \| 理由を \|

3. 1 複合辞の中に副助詞など（言いよどみの助詞・助動詞も含む。）が挿入された場合も、文節認定の上では全体で一つの複合辞と見なす。

【例】 | お友達には | からかわれて=ばかり=いる | 三枚目でもありました。 |

(◆ver. 1.2追加)

(◆ver. 1.3修正 (用例削除))

3. 2 次に挙げる付属語の後ろでは切らない。

(1) 上巻・資料「複合辞・連語」に挙げた連語、下巻・資料「要注意語」の「一が～」「一の～」に挙げた語の中に現れる付属語

【例】 | そこが | 万が一 | 倒産すると |
この	油絵の=具を	いっぱい	買わされて		
たくさんの	歴史的な	建物が	至る=ところに	残っています	
よく	この=頃	テレビで	番組が	出てますよね	
凄い	我が=ままな	患者さんに			
あて字と	思われる。	そう=して	その	ゴサンは	少なくとも

(2) 短単位認定規程の補則5 (3) に挙げられた語の中に現れる付属語

【例】 | クライアントは | 得て=して | 2つの | 予算を | 持っている。 |
| これを | どう | するかって | いう | ことで | すったか=もんだした | 訳
ですけれども |

(◆ver. 1.1追加)

(◆ver. 1.4修正)

(3) 「お（ご）～する・できる・くださる・いただく・なさる・いたす・ねがう・もうしあげる・あそばす・になる」という形式の敬語表現の中に現れる付属語

【例】 | いかが | お過ごしでしたか、 | お聞か=せ=ください。 |
| 民事訴訟の | ご専門としての | ご意見を | お聞か=せ=願いたいと | 思います。 |
| お待た=せ=いたしました |
| その | 感覚が | おわかり=に=なると | 思います。 |

(◆ver. 1.4追加)

(4) 一般に助動詞の語幹とされる「よう」「そう」「みたい」が体言・用言・形状詞・副詞・助動詞・終助詞及び文末に相当する表現に直接続く場合

【例】 | 引退し=そうって | 話です。 |
| 野良猫に | 虐待を | している=ようだ |
| 無理=そうなんです |
| F O M Aって | たいてい | そう=みたいよ。 |
| 大事ですよ=みたいな。 |
| 分かれて・・・=みたいな |

※ 連体詞や格助詞に「よう」が続く場合は切り離す。

【例】 | どの \| ように | 対処すれば |
| 同じ \| 様な | 友人が |
| 写真の \| ような | 映像です。 |

| 婦人科の | ほうかも…という | ような | 事を | 言われましたが、 |

(5) 分数の読み上げの中に現れる付属語

【例】 | 三分=の=二に | するくらいは | できる |
 | 格の | 一致度は | ルート五分=の=四と | いたしました |

公式の読み上げの類のうち「一分の～」という形のものも同様に扱う。

【例】 | (F えっと) | 後続単語種類数分=の=先行単語頻度(D んな)の | 関数 |

(6) 固有名・動植物名の中に現れる付属語

【例】 | 虎の=門 | 霞ヶ=関 |
 | タツノ=オトシゴ |
 | ユキノ=シタ | ワレモ=コウ | ヒカゲノ=カズラ=科 |

| 東京・霞=が=関の | 同省周辺に | 集まり、 | 方針撤回を | 求めた。 |
 | この | ように | ヒ=ノ=キの | 生産量が | スギの | それより | 多く | なった
のは |

※ 固有名の扱いは補則2・補則3を参照。

(7) 分割すると意味が不自然になるものの中に現れる付属語

【例】 | しかたが=ない | しようが=ない |

【構文的情報による規定】

4 助詞・助動詞を伴わない自立語は、以下の各項に該当する箇所で切る。

(◆ver.1.3修正(用例追加削除))

(◆ver.1.4修正)

4. 1 連用修飾成分の後ろで切る。

【例】 | イスラエルの | シャロン首相は | 三十一日夜 | テレビ演説し、 |
工事が	一時	中断するなど				
香りは	若干	控えめだ				
柔らかい	日差しに	きらめきながら	空	高く	飛んで	行った。
彼は	事故報告を	正しく	しなかったことになりますので、			
自分で	行動するなど、	とても	できは	しない。		
終わったら、	やっと	パン	食べられる！			
今日	来てらっしゃいますけども					
もっと	ゆっくり	歩いてください。				

ただし、「消滅する」「紛失する」「死去する」の意の「なくなる」は切らない。

【例】 | 親と | 同居する | ことにより | 支出する | 必要が | なく=なる | もの |

(◆ver.1.4修正(番号のみ))

4. 2 連体修飾成分の後ろで切る。

【例】 | この | 資格には | 3級から | 1級まで | あり、 |
 | 繊細で | 突き詰めて | ものを | 考える | タイプながら、 |
 | 第二次大戦中に | 存在した | 大きな | 軍事基地の | 名前に | ちなんだ |

(◆ver.1.3追加)

(◆ver.1.4修正)

4. 3 用言の中止法・終止法・命令法の後ろで切る。

【例】 | ちょっとした | 山も | あり || 緑溢れる |
| 何か | (F あの) | 頑張れ || 池田高校ナイン |

ただし、用言の命令形であっても、体言の構成要素となっている等、命令法として機能していない場合には切らない。

【例】 | 現場が | 記載に | 際して | 事=なかれ=主義に | なり、 |
| 振り込め=詐欺などへの | 注意を | 呼びかけている。 |

(◆ver.1.1修正)

4. 4 接続詞の前後で切る。

【例】 || しかし || 退職金制度などの | 整備状況の | 違いや、 |
| 内閣府を | 中心に、 | 我が | 国 || そして || 世界の | 科学技術の | 進歩の |
一翼を | 担い、 |
| 公害等調整委員会の | 委員長 || 及び || 委員 || 又は || 公害審査会の | 委員等
の | うちから |

(◆ver.1.1修正)

(◆ver.1.3追加)

(◆ver.1.4修正 (番号のみ))

4. 5 感動詞の前後で切る。

【例】 || はい || 今度 | 先程 | 言いました | あの | モーダルを |

ただし、感動詞であっても、体言の構成要素となっている等、感動詞として機能していない場合には切らない。

【例】 | 三上が | 左前に | サヨナラ=安打を | 放った |
| ここで | サヨナラ=しましょと | 志津は | 言ったが |
| 「ありがと=さん」て、 | みな | 口ぐちに | お礼 | 言うたんやて。 |

(◆ver.1.4修正)

4. 6 体言の独立格の後ろで切る。

【例】 | 犬の | 方から | (Fあー) | お父さん || 起きてよと | いうような |
| 打倒 || 趙を | 合言葉に | 五十期の | リーグが | 展開されている。 |

5 文節の認定上問題となる点については、以下の規定に従う。

【意味情報による規定】

5. 1 擬音語・擬態語の類は一続きにする。

【例】 | わいわい=がやがや |

5. 2 同じ要素及び類似の要素の繰り返しは切り離す。

【例】 | はい || はい | え | はい || はい | (F あ) | 分かりました |

ただし、次に挙げるものは切り離さない。

あとあと ごくごく さてさて ただただ どうこう なおなお
ますます またまた まだまだ よくよく

【例】 | ごく=ごく | 簡単に | 申しますと |
| まず=まずの | 着順を | 受けて、 |

【単位の内部構造による規定】

(◆ver. 1.4修正)

5. 3 体言に形式的な意味の「する」「できる」「なさる」「いたす」が直接続く場合、
体言と「する」「できる」「なさる」「いたす」とを切り離さない。

【例】 | まるで | 1つの | 光点が | 往復運動=しているように |
| 私は | この | 予選を | 1位で | 通過=できると | 信じている |
| 久保田藩内を | 巡回=なさっている | わけですな |

国語辞典で複合サ变动詞語幹としての用法が示されていないものについても、形式的な意味の「する」「できる」「なさる」「いたす」が直接続く場合は、「する」「できる」「なさる」「いたす」を切り離さない。

【例】 | 青空に | 桜の | 花が | 満開=して | 様子は |
| ぷらぷらと | (F あのー) | ウィンドーショッピング=する |

(◆ver. 1.1修正)

(◆ver. 1.4修正)

5. 4 「お(ご)～する・できる・くださる・いただく・なさる・いたす・ねがう・もうしあげる・あそばす・になる」という形式の敬語表現は、全体を一続きのものとする。

【例】 | ご理解と | ご協力の | ほど | よろしく | お=願い=申し上げます。 |
| いかが | お過ごしでしたか、 | お=聞か=せ=ください。 |
| 民事訴訟の | ご専門としての | ご意見を | お=聞か=せ=願いたいと |
思います。 |
お時間ある	とき、	気が	向いた	とき、	お=返事=くださいね
法廷にも	全身ピンクずくめで	お=出まし=になる。			
以下の	サイトを	ご=覧=下さい。			

(◆ver. 1.4修正 (用例追加削除))

5. 5 体言+用言という形式のうち、『岩波国語辞典』第6版(岩波書店)、『日本国語大辞典』第2版(小学館)のいずれか一方で見出し語(連語としての見出し語は除く。)になっているものは、体言と用言とを切り離さない。

【例】 | 運転手は | さり気=なく | 答えて | アクセルを | ゆるめた。 |

(◆ver. 1.3修正 (用例追加))

(◆ver. 1.4修正)

5. 6 副詞に形式的な意味の「する」「できる」「なさる」「いたす」が直接続く場合、
副詞と用言とを切り離さない。

【例】 | 「何が | 始まるのかな」と | 目を | きらきら=させた |
| なんの | 匂いか | 思い出せなくて | ずいぶん | イライラ=した | もの
だった。 |

(◆ver. 1.1追加)

5. 6. 1 副詞に「する」「できる」「なさる」「いたす」が直接続く場合のうち、「する」「できる」「なさる」「いたす」が「行う・やる」又は「行える・やれる」に置き換えることができる場合は、副詞との間を切り離す。

【例】 | 準備は | 十分 | しています |
 | 需要に対して | 供給を | きちんと | できる | 社会で、 |

(◆ver. 1.1追加)

5. 6. 2 「こう」「そう」「ああ」「どう」に「する」「できる」「なさる」「いたす」が直接続く場合は、切り離す。

【例】 | こう | した | サークル活動が | 盛んに | なる | 背景には、 |
 | どう | したらいいですか？ |
 | そうこう | している | うちに | だんだん | 犬と | 仲良く | なってきて |

(◆ver. 1.1修正)

(◆ver. 1.4修正 (用例削除))

5. 7 同格の関係にある体言連続は切り離さない。

【例】 | 機関誌=計量国語学が | 発刊され |
 | 機関誌=計量国語学-発行の | 年に |
 | 大江健三郎さんの | 長男=光さん |
 | 東海汽船の | 支店長=・=重久さんは、 | 運転手全員に | 深々と | 頭を | 下
 げた。 |
 | 中国語日刊新聞=「=星島日報」 |

5. 7. 1 同格の関係にある体言の間に読点がある場合は、読点の後ろで切る。

【例】 | 悲願の | 名人位を | つかんだ | 加藤に | 二十一歳の | 青年、 | 谷川が | 挑
 み、 |

※ 同格の関係にある体言連続全体に係る、又はそれら全体を受ける体言・接辞が
 ある場合も読点の後ろで切る。

【例】 | 1カ月前から | 始まった | B29の | 首都、 | 東京-空襲。 |

(◆ver. 1.1修正)

(◆ver. 1.4修正)

5. 8 並列された語は切り離さない。

【例】 | 企業会計の | 標準的な | ルールは、 | 公正=妥当な | 実務慣行を | 集約し
 た | ものという | 意味で |
 | あなたの | 診療=治療に | 最適の | 専門医は | もっと | 身近に | いる | も
 のです。 |
麦=・=大豆=・=飼料作物の	生産振興に	資する	水田の	汎用化を			
最も	先進的な	青森=・=岩手=・=秋田の	北東北三県は、				
その	前=後の	年齢階層に	農業外からの				
東京の	郊外の	市=町=村と	言うか				
あち=こち	連れ歩いて	よく	遊んだ	ものである。			
他に	何が	あるだろうという	ことを	あれ=これと	思いました		
皆	とても	頭が	ちっさくて	長身で	手=足が	凄く	長く
一国=一城の	主である。						
「女の	人生	七転び=八起き」					

(◆ver.1.3追加)

(◆ver.1.4追加修正)

5. 8. 1 並列された語のうち、次に挙げるものは切り離す。

(1) 並列の関係にある語の間に読点がある場合、読点の後ろで切る。本規定は、規定1.1(1)に優先する。

【例】 | 国民健康保険の | 保険者は | 原則として | 市、 | 町、 | 村である |
| とも | 頭が | ちっさくて | 長身で | 手、 | 足が | 深く | 長く |
| 下草や | 低木等の | 下層植生が | 減少、 | 消失し、 |

(2) 並列された用言を中点でつなげている場合は、中点の前後で切る。

【例】 | 「はじめる」・「はじまる」は | 「初」でなく、「始める」・「始まる」
と | 書きます。 |

(3) 文相当の表現の並列は切り離す。

【例】 | 暖房は | 如何 | されてますか？ | コタツ派 | ヒーター派？ |

(◆ver.1.2修正)

(◆ver.1.4修正)

5. 8. 2 並列の関係にある体言の間に読点がある場合、その体言連続全体に係る、又はそれら全体を受ける体言的な形式や接辞があっても、読点の後ろで切り離す。

【例】 | 昭和55年、 | 56年に | 全国平均で | それぞれ | 前年比12.3%増 |
| 五月の | アメリカズカップに | 勝てば、 | 米国、 | 豪州-以外の | 国
に | 初めて | ザ・カップが | 持ち込まれることになる。 |
図表1、	2	
公害等調整委員会設置法第2条、	第3条	
公害等調整委員会設置法第6条～第9条、	第十八条	
公害紛争処理法第二十条、	第二十一条、	第二十七条第4項

※ 並列の関係にある体言連続全体に係る、又はそれら全体を受ける体言的な形式や接辞があり、並列の関係にある体言の間に読点がない場合は切らない。

【例】 | 英語=日本語-間の | 会話文の | 翻訳を | 行なうことができます |
学習データー=入力データー-共	マスク値で	置き換えた		
優優=・=美美ペアから	五羽の	ヒナが	誕生し、	
各語の	状況って	いう	ものを	観察=整理-しました
職業能力開発大学校に	在学=・=在校する	場合で、		

(◆ver.1.1修正)

(◆ver.1.3修正 (用例追加削除))

(◆ver.1.4修正)

5. 9 数を表す要素は一続きにする。

数を表す要素とその直前直後の要素とは切り離さない。

【例】 | 昭和十三年=八月=八日の | 荒木文部大臣の | 発言や |
ところで	朝=八時から	もう	色んな	人に	紛れて
平均値=三.〇六と	いうような	値に	なって		
知床には	熊がですね	推定=三百頭	いると	言われています	
同年=3月、	M T C Rに	参加した。			
日米韓=三国の	対応				

| パチスロの | 場合だったら | 一箱=三万ぐらいなんんですけど |
| 十年以上=前までは | (F ま) | 規則合成って | いう | 方式が |
| ミツカンが | 首都圏の | 三十=～=五十代の | 主婦を | 対象に | 行った | ア
ンケートで、 |
| 金利引き下げは | 今年=三回目で、 |
| 一日に | 一キロ当たり=一万七千人以上の | 輸送が | あり |
| 延長前半=2分 |
| アルコール分=0. 1 %未満 |
| (B A Y F M後=0. 00) |
| F--Z E R O | 発売日：九十／十一／二十一 |

ただし、直前の要素が数量の程度を表す場合は除く。

【例】 | およそ | 十カ所で | 検問を | 受け、 | 旅券を | 確かめられた。 |
| だいたい | 四、五年も | しない | うちに、 |
| 心身に | 著しい | 故障の | ない | おおむね | 十六歳以上=二十歳未満
の | 者を | 収容 |
| 現在の | 技術士登録者 | 及び | 技術士補登録者は、 | それぞれ | 4万六千
八百七十五名、 | 九千四百二十四名であり、 |
| 笑うと | 同じ | 事を | 最低 | 3回は | 言います。 |

※ 数を表す要素とその直前の要素との間に読点がある場合、読点の後ろで切る。

【例】 | 平均値、 | 三. ○六と | いうような | 値に | なって |

(◆ver. 1.1追加)

(◆ver. 1.3修正 (用例追加))

補則1 記号の扱い

句読点以外の区切り符号は、文節認定に当たって、次のように扱う。

(◆ver. 1.4修正 (用例追加))

(1) 原則として、句読点以外の区切り符号は切り出さない。

【例】 | 関西系==後 7・五十九 |
| 円相場も | 一時、 | 1ドル==百三十五円台まで | 安く | なった。 |
| 作==岸田理生。 | 演出==山本健翔。 | 出演==岸田今日子、 | 渡辺
謙=写真=ほか。 |
| 【G大阪=-=市原】 | 延長後半4分、 |
| -三十二℃～-十六℃ |
| 発売日：九十／十一／二十一 |
| 飲酒してしまった | こと…を | 話すか | どうか… |

※ 記号の前後どちらかが2文節以上である場合、記号の後ろで切る。

【例】 | I l l u s t . : | S a d a h i r o | K a z u n o r i |
| ● | 鈴木昌久／ | A I R | D E S I G N | A G E N C Y |

(◆ver. 1.4追加)

(2) 位取りの読点・カンマ、小数点の後ろでは切らない。

【例】 | 大学院には | 約2万5, =000人が | 在籍している |
| 大都市（政令指定都市）は | 17=. =3%であるが、 |

(◆ver. 1.4修正 (用例追加))

(3) 文節境界(文頭・文末を含む。)にあるものは、直前又は直後の文節に含める。

【例】 ॥ 「=—=羨ましいな」 ॥
॥ 「= (=システムの | 導入により=) ॥ 当面 | 三百億円程度の | 負債圧縮
が | 見込める。 |
| ピースサインを | つくった= ॥ 十五日午後 6 時三十分、 |
| 左= ॥ 名古屋市 | 中村区 | 名駅の | 松坂屋で |
| 菅原姉妹【すがわら・しまい】= ॥ 菅原令子（写真左）、 | 由美子（同右）
姉妹を | 指す。 |
| ザ・ランキング ॥ ~=デイリーヒツツ=~ ॥
॥ =…=思考が | 混乱している。 |
| まるで ॥ ' =八十年代アイドルの ॥ 中に | ある | 虚構の |
| なに | しに ॥ 来たんだ=つ ॥
॥ 安物っぽいんですけど=—=—=—=— ॥

(◆ver. 1.4修正)

(4) 読点の後ろに句読点以外の区切り符号（その連続体も含む。）が続いている場合、
読点の後ろで切らずに、句読点以外の区切り符号（連続体の場合は最後の記号）の
後ろで切る。

【例】　　|　出会い、　|　結ばれ、…　|　別れたのか？　|

(5) そのがないときに全体が1文節となるものの中に現れるものは無視する。

【例】 | 花粉の | 少ない | スギ品種の | 普及と | 採穂= (=種=) =園の | 造成 | 及び
| 早期供給体制の | 充実 |
| こ=・だ=・=わ=・=る・ | 貴方にこそ | 使ってほしい。 |
| ミュー=★=フェース |

(◆ver. 1.3修正 (用例追加削除))

補則 2 固有名の扱い

固有名及びそれを含む体言句は、その内部が規定3・規定4で切ることになっていても切らない。

【例】

[人名 (芸名・しこ名・あだ名などをふくむ)]
みなもとの
源 = 頼朝 | 千代の = 富士 |

〔国名〕

グレートブリテン=及び=北アイルランド連合王国

〔行政区画名〕

お茶の=水の 私 あんまり お店の 名前とか よく 覚えて なくて

〔地形名〕

| 場所は | 丹沢の | 塔の=岳が | 使われます |

〔場所名〕

| 更に | 丸の=内線も | 乗り入れています |

| 虎の=門交差点を | 先頭に | ニキロの | 滞滞です |

〔建造物・施設名〕

| 浅草寺の | 境内に | ある | 五重の=塔なんですけれども |
| 十六日十八時、 | 府中の=森芸術劇場 (京王線東府中駅)。 |

(◆ver. 1.1修正)

〔組織の名称〕

| 日本野鳥の=会 |
| 独立行政法人=国立国語研究所 |

※ (財) (社) (株) (独) (有) 等は「財団法人」「社団法人」「株式会社」と書かれているものと同様に扱う。

| (財) 気象業務支援センター |
| (財) - -自主流通米価格形成センター |

(◆ver. 1.1追加)

(◆ver. 1.2修正)

(◆ver. 1.4修正)

補則3 行政区画名・組織の名称等の扱い

より上位のものから下位のものへと順を追って並んでいる、意味的に段階性のある自立語のうち、次に挙げるものは、各名称を切り離す。

【例】

〔行政区画名等〕

東京都		北区		西が丘		三丁目		九番		十四号
札幌市		中央区		北5		西2				
間も	なく	大阪府		和泉市の	プロジェクトが	スタートします。				
米国		サンフランシスコから	送られて	きた						
十四日、	イラク南部		ナシリヤで、							
うるま市		石川インター出口付近								

※ 上位のものと下位のものとの間に中点がある場合は、切り離さない。

| 昨年四月一日、 | 中国=・=海南島沖で | 起きた |

〔組織の名称及びそれに関連する肩書き〕

国立国語研究所		研究開発部門		言語資源グループ				
衆議院		予算委員会		香港政府		移民局		
新進党		党首		韓国		国防部		長官
自民党		長崎県連の						
有名大学		医学部		教授				

※ 人名の前にある所属と人名とは切り離す。

| 国立国語研究所 | 研究開発部門 | 言語資源グループ || 前川喜久雄 |

ただし、人名の前にある所属と人名との間に中点がある場合は、切り離さない。

| ○ | 神戸・三浦知 |
| V ゴールを | 決め | 喜ぶ | G 大阪・中山 |

※ 人名とその後に続く組織の名称・肩書きとは切り離さない。

| 安倍晋三・=自民党幹事長代理 |
| シラク=仏=大統領 |

※ 人名の前にある肩書きと人名とは切り離さない。(同格に当たる。)

| 国立国語研究所 | 研究開発部門 | 言語資源グループ長=前川喜久雄 |

[建造物・施設名]

| 東京国立博物館 || 平成館で | 開催される |
| 法隆寺 || 五重塔の | 内部構造。 |

(◆ver. 1.1追加)

(◆ver. 1.2修正 (用例追加))

(◆ver. 1.4追加修正)

補則4 意味的に問題のあるものの扱い

次に挙げる文節は、文節認定に当たって、それぞれ例に示したように文節を認定する。

(1) 同格の関係にある要素の両方又は一方が2文節以上から成り、文節認定規程に従って文節を認定すると、意味的に問題のある体言連続を文節として認定することになるもの

【例】 | ムシャラフ大統領は、 | A. Q. カーン博士ら || 一部の | 科学家が |
| 実質的首謀者と | 見られる | 真木大将、 | 荒木大将ら || 皇族、 | 将軍
は | すべて | 免罪 |
| ◇ | シンポジウム || 「男女共同参画時代の | 地域・市民活動を | 考える」
| 9月4日 (木)、 |
| 前作 || 『子どもが | 育つ | 魔法の | 言葉』 |
| チョコレートソースを | 使った | メキシコ料理 || 「チキンの | モレソ
ス添え」 (九百五十円) ほか。 |

※ 文節認定規程を単純に適用すれば、「A. Q. カーン博士ら一部の」「荒木大将ら皇族、」を文節とすることになるが、意味的に問題があるため、切り離す。

(2) 並列の関係にある要素のうち一つ以上の要素が2文節以上から成り、文節認定規程に従って文節を認定すると、意味的に問題のある体言連続を文節として認定することになるもの

【例】 | また、 | その | 他・ || 無回答が | 十五% | あり、 |
| 種類 || 豊かに | 個性的に |

※ 文節認定規程を単純に適用すれば、「他・無回答が」等を文節とすることになるが、意味的に問題があるため、切り離す。

(3) 連体修飾関係にある要素を文節認定規程に従って文節を認定すると、意味的に問題のある体言連続を文節として認定することになるもの

【例】 | 毎日新聞 | 「記者の | 目」 || 係へ。 |
「日本の	明日を	創る	会」		メンバー。
この	あたり		独特の	商売	
我が	国		社会が	二十世紀後半に	形成した

※ 文節認定規程を単純に適用すれば、「目」係へ。」等を文節とすることになるが、意味的に問題があるため、切り離す。

(◆ver.1.3修正(用例追加))

(◆ver.1.4修正)

補則5 「対」の扱い

「対」及びこれに類する語を含む形式は、「対」等が結び付けている形式によって、次のように文節を認定する。

(1) 「対」等が結び付けている形式が共に1文節である場合は、「対」等の前後で切らない。

【例】 | 阪神=対=巨人の | 試合を | 見る |
地域用水環境整備事業の	採択に	当たり	費用=対=効果分析を	試行的に	実施した。
星野監督	率いる	阪神=対=巨人			
2大メーカーの	「赤」=対=「緑」の	対決			
アジソン夫人(青帯)=対=ルヴァニエ夫人(茶帯)との	間で				
1=:=4で	5倍に	薄めると	どうも	薄すぎる	
財務省=VS=総務省	“省益”争い	妥協の	産物		

(2) 「対」等が結び付けている形式のうち、一方が2文節以上である場合は「対」等の前後で切る。

【例】 | 星野監督 | 率いる | 阪神 | 対 | 昨年の | 霸者 | 巨人 |
| 小林光一 | 九段 | VS | 加藤正夫 | 九段 |

(◆ver.1.0追加)

(◆ver.1.2修正)

(◆ver.1.3修正追加)

(◆ver.1.4修正)

補則6 括弧・その他記号でくくられた語句・文等の扱い

括弧等でくくられた語句・文等は、その内容と形式によって、次のように文節を認定する。

(1) 文中にある括弧等でくくられた語句・文等は、文節認定規程に従って文節を認定する。

【例】 | 背番号「五十五」の | 執念が | こめられていた。 |
| 「夫婦間の | 性生活は | どの | 程度 | 重要だと | 思うか」との | 問いに
対して、 |
| なぞを | 解く | かぎと | なる | 「C P対称性の | 破れ」 | 現象。 |
| 每日新聞 | 「記者の | 目」 | 係へ。 |

(2) 括弧等でくくられた語句・文等が文脈を補っている場合は、文節認定規程に従って文節を認定する。

【例】 | 「(神父が | 妻帯できない) | 禁欲主義に | 欠陥が | ある」と | 語る。 |
| 「(その | 再稼働は) | 憂慮すべき | 事態だ」と | 表明。 |

(3) 括弧等でくくられた語句・文等が文脈から独立している場合は、文節認定規程に従

って文節を認定する。

【例】 | 初心に | 帰って | 取り組みましょう。 | (監修・国立国語研究所長・甲斐睦朗) |
優勝争いを	演じた	強豪が、	正念場を	迎えている。	(鳥取)
(豪・アデレードで	野崎尉)				
【北京1日	長坂誠】				
【ロンドン十二日=野口裕之】					
【テルアビブで	福島良典、	写真も】			
06-6536-5740	(モンベル)				

(◆ver.1.4修正)

(4) それがないときに1文節となる要素の中に埋め込まれた注釈的要素は無視する。

【例】 | 約九十六万人= (=厚生労働省推定)= =が |
| 販売高七十八億四千六百万円= (=二千一年度末)= =と | なる。 |
| 担任だった | 池田弘子先生= (=七十五)= =は | 違った。 |
| 牛海綿状脳症= (=B S E、 =いわゆる狂牛病)= =問題で |
| 懲役三年、 | 執行猶予五年= (=求刑懲役五年)= =を | 言い渡した。 |
| 二千二年= (=平成十四年)= =1月に |
| 原子力供給国グループ= (=N S G N u c l e a r S u p p l i e r s G r o u p=) I) により、 |
| 笑福亭鶴笑氏= (=落語家)= =, | 田中千世子氏= (=映画評論家)= =, | バロン吉本氏= (=漫画家)= =, | 三浦尚之氏= (=福島学院大学教授)= =, | 渡辺洋一氏= (=和太鼓奏者)= =の | 5名が | 活動報告を | 行うとともに, |
| 業種別では、 | 一般機械器具= (=八十六%)= =、 | 金属製品= (=七十六%)= =、 | 輸送用機械器具= (=七十二%)= =で | 必要性が |
| 二十二日午前6時四十七分= (=日本時間同日午後0時四十七分)= =、 |
1	ポスドクレベルの	若手研究者の	海外派遣= (=海外特別研究員:日本学術振興会、若手研究者海外派遣:科学技術振興事業団)= =、			
村岡さんに	打開できるとは	思えない」= (=建設業者)= =という	冷ややかな	声が	聞かれた。	
一番	安い= (=同日現在)= =のは	1	市内=電力系TTネット百六十八円			
次姉の	病院長夫人= (=岡江久美子)= =は	売却を	勧めるが、	宇宙は	応じない。	
風間杜夫の	「ひとり芝居三部作」= (=水谷龍二作)= =では、	記憶を	失い、	旅役者と	なった	主人公が、
▽市原= (=観衆=四千四百七十九人)= =						
牙を	むく	都会	逢坂剛著= (=中央公論新社・二千円)= =			
「民営化推進委員会」= (=委員長・今井敬日本経団連名誉会長)= =は	一日午後、	都内で	第三回の	会合を	開き、	

※ 注釈的要素が複数の文節に分割される場合でも、注釈的要素は分割しない。

【例】 | 第一次試験= (=技術士補と=なる=資格取得)= =については、 |
| 注: | 各沿線で | 平均的規模の | 新築戸建住宅= (=延床面積: 九十m²~、 =敷地面積: 百十m²~、 =立地: 駅から徒歩十五分以内)= =を | 平均的費用 = (=分譲価格: 四千~四千五百万円)= =で | 購入する | 場合 |
| こう | やって | 体ごと= (=首を動かさずに)= = | 回るしかない |

(5) その他

括弧等でくくられた以下の要素は無視する。

①番号

【例】 | 国連 | 平和維持活動局 (国連 P K O 局) の | 人員増強=II= =などが | 含まれていた。 |

②読み仮名

【例】 | 岐阜県 | 根尾村生まれの | 淡墨= (=うすずみ=) =桜が | 開花した。 |
| 膠着= (=こうちやく=) =した | 展開。 |

(◆ver. 1.1追加)

(◆ver. 1.2修正 (用例追加))

(◆ver. 1.4修正)

補則7 題名等の扱い

題名中に文節認定規程で定めた文節の切れ目がある場合、そこで文節を切る。編著者名等と題名、主題と副題は分割する。

【例】 | 彼は | 論文 | 「マルクスと | バクーニンー」 | 社会主義と | 無政府主義」
の | なかで | 書いている。 |
鷹羽狩行・片山由美子著	『添削例に	学ぶ・	俳句上達法』
T B S 系	「爆烈！」	異種格闘技 T V」	
氷川きよし	「番場の	忠太郎」	ジャケット
川口松太郎原作	「新吾十番勝負」 (吉村忠矩脚本・演出) と	「竜小	
太郎の	世界	艶くらべ」 の	2 部構成で、
資料 :	中小企業庁	「人材活用実態調査」 (二千四年)	

(◆ver. 1.2追加)

補則8 法律の条文番号の扱い

法律の条文番号は、次のように文節を認定する。

【例】 | 公害紛争処理法第二十七条の=2 |
| 公害紛争処理法第四十二条の=十二, | 第四十二条の=十四～第四十二条の
=十六, | 第四十二条の=十八, | 第四十二条の=二十, | 第四十二条の=二十一 |
| 公害紛争処理法第四十二条の=2, | 第四十二条の=二十七, | 第四十二条
の=二十八=第1項, | 第四十二条の=三十二=第1項, | 第四十二条の=三十
三 |
| 公害紛争処理法第二十七条第1項～第3項 |
| 公害紛争処理法第二十七条第4項, | 第5項 |
| 公害紛争処理法第二十七条の=2=第1項 | 及び | 第3項 |
| 独占禁止法第十八条の=2=第1項=ただし書 |

(◆ver. 1.2追加)

(◆ver. 1.3追加修正)

(◆ver. 1.4修正)

補則9 章・節の番号、箇条書きの番号・記号等の扱い

章・節の番号、箇条書きの番号・記号等の後ろで切る。

【例】 | 報告の | 中では, | 1 | 文化多様性の | 保護は | 維持可能な | 発展の | た

めの | 原動力であり、 | 世界の | 平和と | 安全に | 寄与する | こと、 |
(注2)	利用時間 (全体平均) は	その	メディアの	利用率に
※	平日 8 ~十九時の	時間帯に、	1カ月あたり 1時間	使った
★	スリムな	デジカメ	カシオ計算機は	十月中旬、
◎	フィリピンの	エストラダ前大統領、	国家財産略奪罪初公判	
↓	これなんか	どうですか		

(◆ver. 1.4追加)

補則 10 web 誤脱の扱い

web 誤脱は、元の形式を想定可能な場合はそれに従って文節認定を行い、想定不可能な場合はweb 誤脱の前後で切る。

【例】 | 右股関節に | 違和感が | 時々 | 出るので、 | ゆっくり | 走。 |
| プレーンの | ベゼルが | セットに | なっていますので | 付... |
| 布団に | 入って | 即 | 寝 | 寝直しましたけどねー (笑) |

※ web 誤脱を含む形式を、複合辞・連語とみなして文節認定することはしない。

【例】 | 小泉元首相が | いう | 任期満了まで出 | なく、 |
| どう | 表記したら | 言いのでしょうか？ |

(◆ver. 1.3修正)

(◆ver. 1.4修正)

参考 文節の例

| 平成4年度に | 創設された | 定期借地権制度は、 | 借地契約の | 更新が | なく、 | 定められた | 契約期間で | 確定的に | 契約が | 終了する | 借地権制度である。 | 貸し主 (土地所有者) にとっては | 予定期間に | 土地の | 返還を | 受ける | ことが | 保証されるとともに、 | 一定期間の | 地代収入が | 安定的に | 得られ、 | また、 | 借り主にとっては | 土地を | 取得するよりも | 少ない | 負担で | 土地を | 利用できる | ことから、 | 双方にとって | メリットが | あり、 | 借地の | 供給拡大による | 土地の | 有効利用を | 促進する | ものとして | 期待されている。 | 定期借地権には、 | 一般定期借地権、 | 建物譲渡特約付借地権、 | 事業用借地権の | 3類型が | ある (図表1-5-4)。 |

| 定期借地権制度創設時に、 | 事業用借地権の | 対象として | 主に | 想定していたのは、 | 量販店、 | 飲食店等、 | 経済的な | 耐用年数が | 比較的 | 短い | ものであり、 | 事業用借地権の | 存続期間も | 10年以上20年以下と | されている。 | しかし、 | 近年、 | 物流拠点や | アウトレットモール等、 | 従来 | 想定されていなかった | 用途での | 活用も | 行われるようになって | いる (図表1-5-8)。 | 立地についても、 | 従来 | 想定されていた | ロードサイド等での | 活用に限らず、 | 多様化しており、 | 都心から | 数十km以上 | 離れた | 場所に | 立地する | 大規模アウトレットモールや | 臨海部に | 相次いで | 立地している | 大型の | 商業施設の | ような | ものも | ある。 | この | ような | 商業施設では、 | 土地取得費を | 削減する | ため、 | 借地による | 立地を | 進める | 場合も | 多く、 | 特に | 大規模アウトレットモールにおいては、 | 事業用借地権を | 用いている | 事例が | 目立っている (図表1-5-9)。 |

第2 複合辞・連語

BCCWJでは、CSJと同様に複合辞・連語を1長単位と認めた。ここでは、複合辞・連語の選定方針と選定の具体的な方法について述べる。

1 基本的な方針

複合辞・連語は、現代日本語の研究や日本語教育でよく取り上げられるものである。国立国語研究所（2001）では日本語研究の観点から、複合辞として助詞相当句83語、助動詞相当句42語を挙げている。またグループ・ジャマシイ（1998）は、日本語教師等の日本語教育に携わる者や日本語学習者を主な対象とし、重要とされる文型を中心に3,000項目の表現を収録したものである。ここでは大見出しとして1,087語を挙げており、そのうち、空見出し・活用語尾（例：かろう）・活用形（例：よかろう）・呼応の副詞（例：ぜんぜん…ない）・定型的な表現（例：をして…させる）・短単位に合致するもの（例：ばあい）等を除くと、複合辞・連語が約600語ある。この中に類似形態・異形態が多く含まれる（例：なきや・なくては・なくちゃ・なくてはいけない）としても、複合辞・連語が多く認定されていると言える。両者の立脚点による差異はあるものの、このような複合辞・連語を長単位においても採用することで、BCCWJの活用の幅がより広がると考えられる。

その一方で、国立国語研究所（2001:10）に「複合辞研究の根本問題は、どのようなものを「複合辞」としてとり上げていくのかの認定・正確な概念規定の問題である。（中略）現状では、具体例に基いた個別記述の蓄積はまだ必要であり、また、深化されなければならない。」とあるように、複合辞という概念にはいまだ明確な規定がなく、どのように複合辞を選定するかが問題となる。

以上のことを踏まえ、BCCWJでは複合辞・連語の選定に当たって、次に挙げる二つの方針を立てた。

方針1： ゆれが少なく認定できるものを選ぶ。

方針2： 自動解析で高い精度が維持できるものを選ぶ。

この二つの方針の下、先行研究と比べて複合辞・連語とするものの範囲を限定した。

2 複合辞の選定

はじめに本規程 Version 1.0では、複合辞として助詞相当句21語、助動詞相当句39語を認めた。しかし、範囲を限定しすぎたために、認定した複合辞の数が少なすぎるとの批判があった。また、本規程 Version 1.0で立てた選定基準によった結果、一般に重要と考えられる複合辞であっても、選定にもれたものが少なくなかった。例えば、「による」（「によると」、「によれば」は採用）や「としても」「にしては」（「としたら」「にしても」は採用）などである。そのため、今回の改定（Version 1.4）において、複合辞の追加を行うこととした。

以下、本規程 Version 1.0 及び今回の改定における複合辞の選定手順について述べる。

2.1 文節認定規定 Version 1.0

複合辞の選定は、グループ・ジャマシイ（1998）を基に複合辞の候補を抽出し、それら候補を対象にBCCWJでの頻度調査を実施した上で、複合辞として認定するものを選定した。

この際、CSJで認定された複合辞も加えた。

(1) 複合辞候補の選定

まず、グループ・ジャマシイ（1998）の大見出しについて、短単位に合致する見出し語を削除し、類似形態・異形態を整理した。次に、国語辞典等での採録状況を確認し、採録されていない語を削除し、残った語を複合辞候補とした。

(2) 複合辞の選定

複合辞候補について、BCCWJ・生産実態サブコーパスの入力済み書籍データ⁸（約500万語、2007年8月時点）を使って用法の調査を行い、頻度200以上で、しかも形式の面から複合辞としてゆれなく判定できるものを複合辞とした。これらにCSJで認定されていた複合辞を加えた。

ここで、頻度200以上という基準を儲けたのは、以下に述べるような技術的な理由による。長単位の自動解析において、複合辞を高い精度で自動解析するためには、複合辞1語につき学習用データとなるコアデータ100万語の中に最低50例（使用率0.005%）出現することが必要である。このことを踏まえて、書籍データ500万語で使用率0.005%に当たる250例よりも若干低く基準を設定し、200例とした。

以上のような選定の結果、文節認定規程 Version 1.0 で認定した複合辞は、助詞相当句21語、助動詞相当句39語であった。

2. 2 文節認定規定 Version 1.4

追加する複合辞の選定に当たって、特定領域研究『日本語コーパス』の日本語機能表現班及び日本語教育班より複合辞を含む機能表現に関する資料の提供を受けた。これらの資料から追加候補を絞り、先行研究での扱いやBCCWJでの頻度、機能的用法である割合等を確認した上で、追加する複合辞を選定した。この際、文節認定規程 Version 1.0 におけるグループ・ジャマシイ（1998）の大見出しからの選定時に、頻度不足により複合辞として認定しなかった語についても再度検討した。

(1) 複合辞候補の選定

複合辞候補の抽出に当たって、用いた各資料の概要、選定方法・基準を以下に示す。

a. 日本語機能表現班提供資料

①概要

これは、『つつじ：日本語機能表現辞書』⁹に収録された機能表現のうち、毎日新聞テキストデータ（1995年1年分）で延べ50回以上出現する機能表現について、機能的用法の割合を調査したリストである。

「機能的用法」とは、主に文の構成に関わる助詞や助動詞のような文法的働きを持つものを指す。「による」について機能的用法、非機能的用法の例を以下に示す。

機能的用法 : 肋間神経痛による症状

非機能的用法 : 機材によるところも大きい

また、このリストは、表記ごとに機能的用法である割合が示されている（例：「にあたって」…94.1%，「に当たって」…70%）。複合辞候補の絞り込みに当たって

8 人手修正済の形態素解析システム・長単位自動解析器等の学習用データ（コアデータ）が完成していないため、入力済みデータ量が多く、幅広い分野をカバーすると考えられた生産実態サブコーパスの調査を基に、複合辞・連語を選定した。生産実態サブコーパスについては、山崎誠（2007）を参照。なおコアデータの設計については、小椋秀樹ほか（2009）を参照。

9 『つつじ：日本語機能表現辞書』については、松吉俊・佐藤理史・宇津呂武仁（2007），松吉俊・佐藤理史（2008）を参照。

は、これら同形異表記の表現は一つの語としてまとめた。

②選定方法・基準

上記リストから、機能的用法である割合が80%以上の語を抽出した。この際、活用語尾・活用形・呼応の副詞・定型的な表現・短単位に合致するもの・付属語連続等は除外した。次に、これら絞り込んだ語について、調査時点で完成していた白書・書籍・新聞のコアデータ（約60万語）を使って用法の調査を行い、機能的用法の頻度が30以上のものを複合辞候補とした。

リストからの抽出に当たり、機能的用法の割合が80%以上という基準を設けたのは、「自動解析で高い精度が維持できるものを選ぶ」という方針による。例えば、「に応じ」は、日本語機能表現班から提供されたリストでは機能的用法が20.3%であった。コアデータで確認したところ、機能的用法が3例、非機能的用法が11例と、機能的用法の割合が低かった。このような機能的用法の割合の低い、曖昧性のあるものは、自動解析で正しく認定することは難しいと考え、選定候補から除外することとした。

また、白書・書籍・新聞のコアデータにおいて機能的用法の頻度が30という基準を設けたのは、先に述べた技術的な理由によるものである。本来であれば、自動解析に必要な頻度50（コアデータ100万語の0.005%）が基準となる。しかし、非コアデータからも学習データを追加できると考え、頻度50よりも若干低い頻度30を基準とした。

b. 日本語教育班提供資料

①概要

これは、「日本語能力試験」出題基準の「文法的な〈機能語〉の類」（1・2級）に掲げられた455項目を対象に、BCCWJ領域内公開データ（2010年2月から10月時点）を用い、機能的用法に限定して出現頻度を調査したリストである。このリストには、日本語教育班により、「文法的な〈機能語〉の類」（1・2級）には未採録だが、重要だとされる「機能語」が、新たに五つ（にあっては、にあっても、ようものなら、てしかたがない、～う（意向形）が～う（意向形）が）加えられている。

②選定方法・基準

上記リストより、頻度50以上の語を複合辞候補とした。この際、活用語尾・活用形・呼応の副詞・定型的な表現・短単位に合致するもの・付属語連続等は除外した。

ここで、頻度50を基準としたのは、用いたリストが調査時点のBCCWJ領域内公開データを調査対象としていたことによる。つまり、このリストで頻度50以下ということは、BCCWJでこれ以上の出現は見込めず、自動解析で高い精度を維持することが難しいことを示す。

（2）追加複合辞の選定

上記a, b二つのリストから抽出された複合辞候補は計343語となった。それぞれの語について、先行研究における扱い、BCCWJにおける頻度、機能的用法の割合の高低、判別の難易度等を基準に、総合的な判定を行った。

（3）選定基準

343語の複合辞候補から最終的に複合辞として認定するものを選定した基準を、以下、具体的に示しておく。

a. 先行研究における扱い

ここで参照した先行研究は、次の3点である。

- ①国立国語研究所（2001）『現代語複合辞用例集』
- ②グループ・ジャマシイ（1998）『日本語文型辞典』
- ③森田良行・松木正恵（1989）『日本語表現文型』

各複合辞候補が三つの先行研究でどのように扱われているかを確認する。見出しの有無、見出しのレベル（大見出し・小見出し・空見出し・用例のみ等）を基準とした。例えば、上記の研究書すべてに大見出しとして採録されていれば、複合辞としての重要度が高いと判断した。

b. BCCWJにおける頻度

複合辞候補の選定でも基準としたが、自動解析で高い精度を維持するのに必要な頻度50以上を基本的な基準とする。ただし、コアデータのみを対象として頻度調査を行った語については、頻度30以上を基準とした。

c. 機能的用法の割合

日本語機能表現班提供のリストを参考するとともに、BCCWJでの機能的用法の割合が、80%程度か否かを基準とした。

d. 判別の難易度

自動解析で高い精度が維持できるようにするために、複合辞前後の短単位情報から判別しやすいか否かを基準とした。例えば、直前直後の語の品詞が固定的なものの方が、高い精度を保つことができると考えられる。

以上、ここで認定した複合辞は助詞相当句54語、助動詞相当句18語である。なお、助動詞相当句のうち「かもしれない」「ざるを得ない」等、語末に助動詞「ない」を持つ複合辞（14語、付加情報付与基準の第1「語彙素読み・語彙素付与の基準」表2.4を参照）については、対応する文語的表現「かもしれない」「ざるを得ず」等、語末に助動詞「ず」を持つものについても複合辞と認めることとした。

一方、文節認定規程 Version 1.0で選定した複合辞から、本来「助動詞」とすべきではない名詞複合系の「つもりだ」「わけだ」「わけではない」の助動詞相当句3語を削除した。これは、いわゆる形容動詞型活用の助動詞を認めないというBCCWJの規定にそぐわなかったためである。

2. 3 品詞

複合辞の品詞は、次に挙げるものとする。

（1）助詞相当句

国立国語研究所（2001）、森田良行・松木正恵（1989）の分類を参考に、各語の文中における機能に応じて「助詞-格助詞」「助詞-接続助詞」「助詞-副助詞」「助詞-係助詞」を付与した。

複数の用法を持つものについては、一律に一方の品詞にまとめることとし、助詞相当句が用いられた文脈によって品詞の判別を行うことはしなかった。

（2）助動詞相当句

これらは一律に「助動詞」とした。

助詞相当句、助動詞相当句の品詞付与の詳細は、付加情報付与基準の第2「品詞付与基準」の7「複合辞・連語の扱い」を参照。

2. 4 CSJからの変更点

CSJでは、体系性を考慮し、文法的働き（連用修飾型・連体修飾型）と文体（普通形・丁寧形）の二つの観点から複合辞の異形態を認め、一覧表を作成した。その結果、頻度の極端に少ない異形態も認めることとなった。一方、BCCWJでは先に述べたように、先行研究で取り上げられている、重要とされる複合辞を候補とし、BCCWJでの頻度によって複合辞とするものを選定するという方針を取った。そのため、普通形は複合辞として認定されるが、丁寧形は複合辞として認定されない場合などがある。

具体例を挙げると、助詞相当句「に関して」の場合、CSJでは体系性を考慮して、連用形「に関し」、丁寧形「に関しまして」、連体修飾型の普通形「に関する」「に関した」、連体修飾型の丁寧形「に関します」「に関しました」も複合辞として認めていた。これに対してBCCWJでは、頻度の高い「に関して」「に関する」はそれぞれを複合辞としたが、「に関し」や「に関します」「に関した」¹⁰は、そもそも先行研究で扱われていないため、複合辞候補とならなかった。

BCCWJでは、丁寧形についても例外とはせず、普通形と同じ基準で選定を行った。その結果、頻度の高かった「かもしれません」「ではありません」については、それぞれを複合辞とした。

なお、「においちゃ」（「においては」の「て」と「は」とが融合したもの）等の融合形については、元の形が複合辞として認められるならば、融合形自体の頻度とは関係なく複合辞として認めることとした。

3 連語の選定

連語に関しては、CSJで認定されていた全体で1長単位とするもののリスト、グループ・ジャマシイ（1998）の大見出しを基に選定作業を行った。CSJで認定していた連語のうち、BCCWJで1短単位となっているもの、丁寧形を含むものは除外した。例えば、「彼の世」「今日は」「成る可く」「我が儘」「従いまして」「なものですから」などがこれに当たる。

グループ・ジャマシイ（1998）の大見出しについては、『岩波国語辞典』第6版、『日本国語大辞典』第2版を参照し、品詞が接続詞・副詞となっている語のうち、書籍データで頻度200以上のものを抽出し、追加した。そのほか、連濁している等、全体で1長単位にすることが妥当と考えられる語を人手修正作業で抽出し、連語として追加した。「今まで通り」「甘いもの嫌い」などがこれに当たる。

4 まとめ

以上、CSJでは助詞相当句79語、助動詞相当句57語、その他連語90語を複合辞・連語として認めていたが、BCCWJで最終的に選定した複合辞・連語は、助詞相当句75語、助動詞相当句55語、その他連語86語である。

¹⁰ 「に関し」「に関します」「に関した」についてBCCWJでの頻度を確認したところ、「に関し」は頻度50以上だったが、「に関します」は頻度1、「に関した」は頻度25と低かった。

細則1 複合辞「ことができる」「ことにする」「ことになる」「ことはない」の認定基準

複合辞「ことができる」「ことにする」「ことになる」「ことはない」の認定に当たって、特に注意を要するものを、次に挙げる。

1 格助詞「と」+動詞「言う」に直接続くものは、複合辞とする。

【例】 | これを | 「パラサイト型」と | いう | ことができるが、 |
| 「だから | 信号無視してもいい、と | いう | ことにならないのと |

2 構成要素の異なるものは、複合辞としない。

【例】 | 門の | まえで | 追い払われるという | ことは | ありません。 |
→ 構成要素の短単位「こと／は／あり／ませ／ん」

| かえって | W i n n y ユーザーを | 勢いづかせる | ことに | なりかねない
からです。 |

→ 構成要素の短単位「こと／に／なり／かね／ない」

※ 長単位認定規程の規定3.3(1)に従い、「なりかねない」を1長単位とする（「ことになる」を1長単位とすると、動詞的接尾辞「かねる」が切り出されることになり、規定に反する）。

細則2 複合辞「ていく」「てくる」の認定基準

複合辞「ていく」「てくる」に関する認定基準を以下に示す。

1 方針

原則として、「ていく」「てくる」は複合辞とする。ただし、話し手の方向へ接近する、もしくは離反するという空間的移動を表す動詞としての実質的意味機能を失っていないものは複合辞とせず、接続助詞「て」と動詞「いく」「くる」に分割する。この判定においては森田良行・松木正恵（1989）を参照し、方向性の有無をより重視した。

2 判定基準

2. 1 接続助詞「て」と動詞「いく」「くる」とに分割するもの 以下のいずれかに該当する場合は助詞と動詞に分割する。

（1）動作・行為の順次性を表す。

移動性がなく一地点においてなされる動作・行為を示す意志性の他動詞、移動性の自動詞を受け、「ある一地点で何かをして、それから行く、又は来る」ことを表す。

【例】 | 元八郎と | 数江は | 商売の | 話を | して | いくと | いう | 喜三郎と |
別れ、 | 倭館を | でた。 |
患者の	家に	防護服を	着て	いくのか？
要らない	薬を	置いて	いくてくれるよう	頼んだ。
あいにく	すべて	置いて	きてしまった。	
正樹は	カメラを	用意して	きていて、	
経営権を	奪い取って	きた人も	多い。	
後ろには	今	行って	きたばかりの	コンビニが

（2）平行して行うことを表す。

継続動作を示す意志性の他動詞を受けて、二つの行為が同時に行われることを表す。

「送る」「運ぶ」「抱く」「持つ」等の動詞を受ける。

【例】 | ぼくの | 前の | 空いた | 皿を | 重ねて | 流しに | 持つて | いく。 |
常に	おいしい	ところを	持つて	いかれることになる。			
いざれは	甲子園に	選手を	連れて	いきたいと	同校初の	甲子園出場を	誓った。
吹矢の	店から	送つて	来た	女はと、			
子どもは	夫婦の	愛情の	あかし。	コウノトリが	運んで	くる	
もの。							
しぶしぶ	おれに	ついて	きた。				
こんな	ところにまで	引っぱつて	きて頂いた	ことを、			

（3）移動する時の状態を表す。

継続動作の自動詞などを受け、行ったり来たりする動作がどのような手段や状態のもとに行われるかを表す。「泳ぐ」「歩く」「走る」「駆ける」等の移動動詞を受ければ移動の手段を表し、「座る」「眠る」「乗る」「おぶさる」等を受ければ移動時の状態を表す。

【例】 | 荷物ば | 大事そうに | 抱えて、 | 歩いて | いきよらした |

私は	ひどく	怖く	なって	廊下を	走って	行き、
太刀を	振りあげながら	総馬に	駆けて	いくのが	見えた。	
両袖で	口を	塞いで、	風の	中を	倦向いて	行く。
黒潮に	乗って	ひたむきに	泳いで	きた	カツオは、	ただ
きに	引くばかりである。					
ちょっと	間違った	ものを	作ると	ボーイさんが	飛んで	来て、
あの | 人は | あれが | 嫌いですよと | 教える |

(4) 複合して一つの動作・行為・作用を表す。

それ自身に方向性を持つ移動動詞を受けて、その移動が話し手側からの移動か話し手側への移動かを明らかにする。「戻る」「伝わる」「入る」「近寄る」等の動詞を受ける。

【例】 | 自分の | 気持が | ずんずん | 進んで | 行くのが | はっきり | 見えるのが |
嬉しくて |
| 伝統ある | 企業が | テクノロジーを | 手に | 入れて | 攻めて | いく。 |
| 出勤して | きた | 職員らが | バグダッドからの | テレビ中継に |

上記の例以外に、移動動詞ではないが方向性を持つ動詞を受けて、移動を表すものもこれに含む。

【例】 | ホームヘルパーの | 仕事を | 休んで | インドまで | やって | きたのだ。 |
| 新世紀最初の | バレンタインデーが | やって | くる。 |
| 日本に | 第二次ベンチャーブームが | やって | くる | 可能性 |

2. 2 複合辞とするもの

上記以外は、助動詞相当句とする。助動詞相当句とするもののうち、典型的なものを次に挙げる。

(1) 時間的継続を表す。

ある動作・状態が今まで継続したことや、これからも継続することを表す。

【例】 | わたしは、 | ここで、 | ひとりで | 暮らして=いく | ことに | いたしまし
よう。 |
数字を	2で	割って=いっても	絶対に	数は	なくならないから
今後とも	国際的な	協議に	参画して=いく	必要が	ある。
長く	日本の	農業を	支えつづけて=きた	世代が	高齢化し、
次々と	引退する	時期に	来ているのに、		
小学校時代に	合宿生活を	させるという	ことは、	あまり	
して=きませんでした。					
両国の	協力関係促進に	尽力して=きたが、	湾岸戦争時には	自ら	
の | 日本人社員が |

(2) 消滅と出現を表す。

「ていく」は「死ぬ」「消える」等の自動詞を受け、ある現象が自然に消滅することを表す。「てくる」はある現象が、自然発生的に出現・生起することを表す。

【例】 | 路上で | 生活し、 | 路上で | 死んで=いくのだろう。 |
やがて、	街からは	道路標識さえも	消えて=いった。	
近ごろでは	却って	気持ちが	委えて=いく。	
感動的な	人と	動物の	物語も	産まれて=きた。
涙が	出て=くるという	感じでした。		
七回まで	無失点に	抑えて、	完封が	見えて=きた

| 空は | 雲ひとつ | なく、 | 热を | 降らして=くる。 |

「てくる」には、「生まれる」「現れる」「出る」「起る」等、目に見える現象以外にも、心理的現象や感覚の生起にも用いられる。主に「(考が) 浮かぶ」「(思が) あふれる」「(頭に) こたえる」等、瞬間的な無意志性動詞を受ける。

【例】 | 故郷の | 帯広の | 光景が | 目に | 浮かんで=きました |
恐怖で	岸に	帰りたい	思いが	湧きあがって=きた。	
溫かい	ものが	胸に	満ちて=きた。		
精神状態は	平らかで、	時折、	襲って=くる	説明の	つかない
切なさも | また、 |

(3) ある状態から別の状態へと変化する過程を表す。

「ていく」は話し手の視点から見て、その変化が時間的・観念的に遠ざかっていく様を表して、変化の進行（傾向の増大）を意味し、逆に「てくる」は近づいていく様を表して、変化の開始または変化がある段階に至ったことを意味する。「落ち着く」「帶びる」「疲れる」「慣れる」「増える」「深まる」等の動詞を受ける。

【例】 | あの | 大噴火の | 記憶は | うすれて=いかない。 |
| 遼平にとって | あわただしい | 一年だったが、 | これから |
落ち着いて=いくのでは。 |
| 買ってもらえる | ことを | 当てに | しないまでも、 | 夢は |
膨らんで=いった。 |
| この | ころから | 食糧は | だんだんと | 欠乏して=きて、 | 牛肉など
の | ぜいたく品の | 入荷が | 減ってきた。 |
| 少少の | 収縮が | 発生したり、 | 繙ぎ目が | 目立って=くることもあり
ますが、 |
| 同居を | 始めてから | 少しづつ | 齒車が | 噙み合わなく | なって=きて
いた。 |

(4) 方向性を持つ移動動詞であるが、自然発生的な生起を表現するものは、特に注意を要する。これらは複合辞と認めた。以下に例を挙げる。

【例】 | その | 高さを | 意識すると | 再び | 恐怖が | もどって=きた。 |
| 「この | 試合の | 一番の | 満足は、 | 稲本の | 調子が | 戻って=きた |
ことだ」 |
| 十五年ぐらい | 前から | 「玄関先だけに | して」という | 家庭が |
でて=きた。 |
| 歳 | とると | 本人も | 分からない | 匂いって | でて=くる | もんなの
でしようか？ |

細則3 複合辞「という」の認定基準

複合辞「という」の認定に当たって、特に注意を要するものを、次に挙げる。

1 複合辞とするもの

(1) 「という」が名付けを示すもの

【例】 | 日本で | その | 様な | ブドウは | なんと言う | 名前で | 売ってますか？ |

(2) 「という {こと、の} {で、は、も}」で文を接続するもの

【例】 | 普通の | 診療の | 範囲では | 聞きようが | ないような | 内容

です。 | という | ことは、 |

| 母線が | 扇形の | 半径に | なる | ことは | 見れば | 分かります。 |
という | ことで、 | 「母線= | 扇形の | 半径」です。 |

2 複合辞としないもの

(1) 実際に発話等があると考えられるもの、発話の比喩的表現

【例】 | 漫画を | w e b 上で | 公開しています、 と | いう | 男性が |
「二十めんそくくん、	しばらくだったなあ」 と	いう	声が			
キーンと	いう	金属音が				
文字通り	無残、	非道と	いう	他	ない	もので、
辺りが	あつと	いう	間に	血の	池に	なる。

(2) 複合助動詞「ことができる」「ことにする」「ことになる」「ことはない」「のだ」「のである」「のです」「のではない」「わけにはいかない」に続くもの

【例】 | これを | 「パラサイト型」 と | いう ことができるが、 |
| T Vや | ラジオで | 余り | かからない | 曲は | すべて | マイナーと |
言うことになってしまうのは |

(3) 「～を…という」の形で格を支配しているもの

【例】 | 他人の | 娘を | オゴと | いう | ならわしが | あるが、 |

(4) 形状詞・副詞用法の名詞に係るもの

【例】 | タラッタータタッタッタと | いう | 風な | リズムで |

3 「という」に助詞・助動詞が挿入される形式の扱い

文節認定規程の規定3.1に従い、原則として助詞・助動詞が挿入される形式を、文節認定の上では全体で一つの複合辞と見なす。

ただし、以下のように「とか」の形で並列したものに「いう」が続く場合は、複合辞と見なさない。

【例】 | 爪とか | 息子とか | 孫とか | いう類の、 |

細則4 複合辞「といえども」「といった」「といつても」の認定基準

複合辞「といえども」「といった」「といつても」の認定に当たって、特に注意を要するものを、次に挙げる。

実際に発話等があると考えられるもの、発話の比喩的表現は複合辞としない。

【例】 | 科学者等の | アウトリーイチ活動と | 言った | 場合、 |
| 雑誌が | タダに | なったと | いっても | 言い過ぎでない。 |
| 現在の | 東京で | 人形店の | 集中地域と | いえば | 何と | いっても |
浅草橋であり、 |
| 事実上、 | 唯一と | いっても | 良い、 | わが | 国の | 自主開発原油が |
失われる |

細則5 複合辞「として」の認定基準

複合辞「として」と認定しないもののうち、特に注意を要するものを、次に挙げる。

(1) 「～を…として」の形式で、格を支配しているもの

【例】 | トップと | ナンバー2を | 男女ペアとして | 女性が | 責任の | 半分を |
担う。 |
| 基礎研究を | 中心として | 学術研究を | 推進すると | ともに、 |
| 足尾銅山の | 鉱毒事件を | 始めとして | 幾つかの | 著名な | 例が |
あつたが、 |
| 雇用の | 促進を | 図ることを | 目的として、 |

上記の例と形式は類似しているが、以下の例は、「として」が問題にする人・物事などの位置付けを示すものであるため、複合辞と認定する。

【例】 | 政策全体を | パッケージとして | 実施する。 |
| 土地の | 有効利用を | 促進する | ものとして | 期待されている。 |

(2) 「として」に前接する語と合わせて、副詞的に働くもの

【例】 | 蒋介石は | 頑として | 応じなかつた。 |
| ものづくりに対する | 意識が | 依然として | 低い | ことも | 課題で
ある。 |

II 長単位認定規程 Version 1.4

第1 長単位認定規程

長単位は、以下の規定に基づいて文節を分割する（又は分割しない）ことによって得られた要素を1単位とする言語単位である。

【句読点・空白・改行に関する規定】

句読点・空白・改行に関する規定は、2以下のすべての規定に優先して適用される。

(◆ver.1.2追加)

(◆ver.1.3修正)

1 句読点（句読点として用いられているカンマ・ピリオド・エクスクラメーションマーク・クエスチョンマーク、三点リーダー、並びにコロンを含む。）及び空白は1長単位とする。

【例】 | 機動的 | に | 商業施設 | として | 活用する | 例 | など | も | ある || 。
| 米 | は | 湾岸戦争後 || 、 | 英 | 、 | 仏 | など | と | とも | に |
| 悲願 | の | 名人位 | を | つかん | だ | 加藤 | に | 二十一歳 | の | 青年 || 。
| 谷川 | が | 挑み || 、 |
| 1カ月前 | から | 始まっ | た | B | 29 | の | 首都 || 、 | 東京空襲 | 。 |
| 実包 | 八百五十六個等 | を | 発見 || 、 | 押収する | とともに || 。
| こう | し | た | 動き | を | 、 | 名目 || 、 | 実質G N P | の | 構成要素 | と
して | の |
| 十五歳少女 | が | 最年少記録 | 「 | エベレスト登頂 | 」 | 三浦さん最高齢
記録 | その | 日 | に || … ||
供給実績資料		、	定期借地権普及促進協議会調べ							
備考		、	()	は	、	専攻科	を	設置する	学校	で
1		、	日本文化	の	発信	による	国際文化交流	の	推進	
注	2		、	過去	3年間	において	は	、	土砂災害	による
の	うち	約6割	が	災害弱者	と	なっ	ている	。		
無理やり	押し込ん	で	いい	んです	か		!		?	
韶き	が	いい	ね		。		。			
、	それ	は	、	現実	の	世界情勢	が			
第2部		、	森林	及び	林業	に関する	講じ	た	施策	
2		、	協力的自主国防推進		、	自主国防	と	米韓同盟	が	
(財)		、	自主流通米価格形成センター							
米国	、	イギリス	、	南アフリカ	、	アイルランド等	により	構		
成さ	れる	E n g i n e e r s		、	M o b i l i t y		、	F o r u m		
における	検討	に	参加し	ている	。					
「	えっ		?		あの	有名	な	モリハナエ		、

(◆ver.1.2追加)

(◆ver.1.4修正)

1. 1 次に挙げる読点・カンマ（以下、読点とする）は1長単位としない。

(◆ver.1.4修正（番号のみ）)

(1) それがないときに全体が1短単位となるものの中に現れるもの

【例】 | 小=、=中学生 | で | は | 内容的 | に | 早すぎる | もの | が | ある | から | だ | 。 |
| 銀行取引停止 | 避け | 自ら | 転=、=休=、=廃業選択 |
| 年 | に | 1=、=2日間 | の | 活動 | を | 義務付け | たり | 、 |

(◆ver. 1.4修正 (番号のみ))

(2) 読点の後ろで切ると、接頭辞のみで構成される長単位が認定されるもの

【例】 | 得意 | の | 短、=中距離 | に | 確か | な | 手ごたえ | を |

(◆ver. 1.2追加)

1. 2 その他、読点の後ろで切ると、問題のある場合は、適宜個別に判断する。

【例】 | 全道高校ラグビー大会南、=北選手権大会 |
| 小学校教師 | に | よる | 小学校中、=高学年 | の | 部 | と |
| 「町イヌ、=ネコ愛護条例」案 | を | 提出し | た | 。

(◆ver. 1.4追加)

1. 3 見出し等で改行がある場合、改行の箇所で切る。

【例】 | 最高裁 | 9裁判官 (改行) | 司法改革アンケート |

【記号に関する規定】

(◆ver. 1.3修正 (用例追加))

2 記号は 1 長単位とする。

【例】 | 「 」 ＝ ＝ 羨ましい | な 」 」
| 「 」 (」 システム | の | 導入 | により 」) 」 | 当面 | 三百億円程度 | の |
負債圧縮 | が | 見込める 」 」
| 与野党逆転 」 」 海部政権誕生 | と | の | 願望 |
| 円相場 | も | 一時 | 、 | 1 ドル 」 = 」 百三十五円台 | まで | 安く |
なっ | た | 。
| 【 】 G 大阪 - 】 市原 】 | 延長後半 | 4 分 | 、 |
| 「 | 僕 | も | 書くう 」 」 」 」 」 」 」 」 ! 」 |

(◆ver. 1.1修正)

(◆ver. 1.2修正)

(◆ver. 1.3追加)

(◆ver. 1.4修正 (用例追加))

2. 1 それがないときに全体が 1 長単位となるものの中に現れる記号は、1 長単位としない。

【例】 | 花粉 | の | 少ない | スギ品種 | の | 普及 | と | 採穂 (=種=) =園 | の | 造
成 | 及び | 早期供給体制 | の | 充実 |
| こ = ・ = だ = ・ = わ = ・ = る | ・ | 貴方 | に | こそ | 使っ | てほしい | 。 |
| 「 | びわこミレニアム = ・ = フレームワーク | 」 | で | は | , | 優先的行
動 | の | ため | の |
| 訪米し | た | 山崎拓 = ・ = 自民党幹事長 | に | こう | 説き |
| 大学院 | に | は | 約2万5 = 000人 | が | 在籍し | ている |

※ 長単位内に括弧開又は括弧閉、その他くくり記号が含まれる場合、対応する括弧類が長単位境界にあるものは、直前又は直後の長単位に含める。

【例】 | 夫 | の | ラルフさん | が || “=プレゼント=” =し || た | の | は |
|| 「 | 日本 | の | 学者 | ならびに | 教育界 | の | 指導者 | や | 政治家 | によ
る | 国語委員会 | が | 速やか | に | 結成さ | れる | よう | 提案=」 =し |

※ 類似の形式に、括弧等でくくられる注釈的な要素がある。この扱いは、補則8を参照。

【例】 | 内分泌かく乱化学物質 | (| 環境ホルモン |) | と | される |

(◆ver. 1.3修正 (用例追加))

2. 2 語と同じ働きをする記号・記号連続及びそれらを含む結合体は、全体で1長単位とする。

【例】 | A | が || B | に | 特定 | の | 法律行為 | を | 指図し | た | 場合 |
南青山	に	ある	敷地面積		2, 0 0 0 =m²		の	土地	は	、
	P K O =地域訓練ワークショップ		の	開催	や					
	E = - =ジャパン重点計画									
	() =内	は	,	総数	に対する	種別	及び	処遇区分別	の	構成
比	である	。								
一般会計	の	(= =) =内	は	0 3 年度当初予算						
	(財) =河川情報センター		において	河川情報	の	収集	,	处理	,	
加工	を	行い	,							
子育て	について	の	Q & A		も	掲載さ	れ			
これ	ぞ	R & B ボーカル		と	呼び	たい	傑作	を	生み出し	
た	。									
ファイル	の	コピー&貼り付け	を	行う	とき	に				

(◆ver. 1.4追加)

2. 3 記号を含む結合体のうち、小数を表すものは、一まとまりとする。

【例】 | 大都市 | (| 政令指定都市 |) | は | 1 7 = . = 3 % | である | が、 |

(◆ver. 1.4追加)

2. 4 記号を含む結合体のうち、日時・郵便番号・電話番号を表すものは、一まとまりとする。

【例】 | 明日 | 6 / 9 | 観 | に | 行く | 予定 | に | し | てい | ます | 。 |
発売日	:	九	九	十	一	十	二	一
〒	1 0 0 - 8 0 5 1	(住所不要)				
☎	0 3 - 5 2 1 0 - 7 5 1 2							
F A X	0 3 (3 2 1 7) 8 9 8 5							

※ 日時の範囲を表す記号を含む場合、その記号を1長単位とする。

【例】 | 射手座 | 十一 | 二十三 | ~ | 十二 | 二十一 |
●	十二	二十八	~	三	十	=	北九州芸術劇場中劇場		
営		十一	0 0	~	十九	0 0			
平成	十三年	十一月	9 日	~	十三日	に	かけ	て	,

ただし、日時等を受ける体言・接辞がある場合は、全体で1長単位とする。

【例】 | 平日 | 8 = ~ = 十九 = 時 | の | 時間帯 | に | 、 |
| 八十七年 | 七月 | 八日 | 午後 | 十 = - = 十一 = 時ごろ | 、 |

※ 郵便番号・電話番号が空白で区切られている場合は、空白を1長単位とする(規

定1参照)。

【例】 | 〒 | 4 6 7 | | 0 8 2 5 |

※ 時刻と同様の記号であっても、文脈から時刻ではないと判断できるものは記号を1長単位とする(規定2参照)。

【例】 | 9 | ' | 8 1 | の | タイム | は | まずい |

(◆ver.1.4修正(番号のみ))

2. 5 中点の扱いは、補則1に示す。

【付属語に関する規定】

(◆ver.1.3修正(用例追加))

3 付属語(上巻・資料「複合辞・連語」に挙げた複合辞を含む。)は1長単位とする。

【例】 | 公害紛争処理法 | における | 公害紛争処理 | の | 手続 | は | , | 原則 | と
して | 紛争当事者 | から | の | 申請 | によって | 開始 | さ | れ | る | 。 |
その	目的	が	個人	に	絞ら	れ	過ぎ	て	いる	傾向	が	ある
研究開発	を	行わ	ない	等	の	合意	に	より	,			
「	やむ	を	得	ず	型	」	の	親同居未婚者				
応能負担	か	、	応益負担	か	等	、	論する	余裕	も	無い		
湧水	や	井戸等	の	水源	を	形成	し	た	り	等	と	、

3. 1 複合辞の中に助詞が挿入されている場合、複合辞と見なさず、各構成要素に分割する。

【例】 | お友達 | に | は | からかわ | れ | て | ばかり | い | いる | 三枚目 | でもあり |
まし | た | 。 |

3. 2 一般に助動詞とされる「ようだ」「そうだ」「みたいだ」(その丁寧形も含む。)の活用語尾は単独で一つの助動詞とする。また語幹部分は単独で1長単位とする。

【例】 | 誰 | か | の | 帰り | を | 待つ | て | いる | よう | でし | た | 。 |
| 大学 | の | キャンパス | に | 間違え | られ | そ | う | な | 雰囲気 |
| ハリスさん | は | 、 | 今日 | は | 忙しく | ない | み | た | い | だ | な | 。

3. 3 次に挙げる付属語は1長単位としない。

(◆ver.1.1修正)

(◆ver.1.3修正)

(◆ver.1.4修正)

(1) それを1長単位とすると、単独の動詞的・形容詞的・形状詞的接尾辞及び用言・助動詞の終止形・連体形以外に続く名詞的接尾辞が切り出されることになる場合の付属語

【例】 | 地域住民 | による | ネットワーク | が | 形成 | さ | れ | に | く | い | 状況 | が | 生
じ | て | おり | , |
| ど | な | 使 | わ | い | 方 | を | し | た | ん | だ | ろ | う | 。

(2) 上巻・資料「複合辞・連語」の「連語」、下巻・資料「要注意語」の「一が～」「一の～」及び短単位認定規程の補則5(3)の中に現れる付属語

【例】 | 万 | が | 一 | 事故 | が | 発生 | し | た | 場合 | において | も | 乗員 | , | 歩行

者等 | の | 保護 | を | 行う | ため | の |
| 輪郭線 | の | 上 | まで | 絵=の=具 | を | 置い | ていき | ます | 。 |
| 企業 | にとって | は | 単=なる | コスト | の | 増加 | と | も | 捉え | ら
れ | ます | が | 、 |

※ 上巻・資料「複合辞・連語」の「連語」、下巻・資料「要注意語」の「一が～」
「一の～」に掲げた語の扱いについては補則2を参照。

(3) 「お(ご)～する・できる・くださる・いただく・なさる・いたす・ねがう・もう
しあげる・あそばす・になる」という形式の敬語表現の中に現れる付属語

【例】 | いかが | お過ごし | でし | た | か | 、 | お聞か=せ=ください | 。 |
| 民事訴訟 | の | ご専門 | として | の | ご意見 | を | お聞か=せ=願い |
たい | と | 思い | ます | 。 |
| お待た=せ=いたし | まし | た |

(4) 分数の読み上げの中に現れる助詞「の」

【例】 | 今度 | の | 試験 | は | 志願者 | が | 平年 | の | 五分=の=一 | と | 極端 |
に | 少なく | 、 |

公式の読み上げに現れる「一分の～」も同様に扱う。

【例】 | 後続単語種類数分=の=先行単語頻度 | (D んな) | の | 関数 | に |

(5) 固有名・動植物名の中に現れる付属語

【例】 | この | よう | に | ヒ=ノ=キ | の | 生産量 | が | スギ | の | それ | より | 多
く | なつ | た | の | は |
| 東京・霞=が=関 | の | 同省周辺 | に | 集まり | 、 | 方針撤回 | を | 求め |
た | 。 |

※ 固有名の扱いは補則3・補則4を、動植物名の扱いは補則5を参照。

4 付属語を伴わない文節、及び規定3によって付属語を切り出した後に残った形式（おおよそ文節の自立語部分に相当する形式）に以下の規定を適用する。それによって得られた各形式を1長単位とする。

【意味情報による規定】

(◆ver.1.3修正(用例追加))

4. 1 擬音語・擬態語の類は一続きにする。

【例】 | わいわい=がやがや | キリッ=キリッ=キリッ |

4. 2 同じ要素及び類似の要素の繰り返しは切り離す。

【例】 | はい | はい | え | はい | はい | (F あ) | 分かり | まし | た |
| 感謝 | 感謝 |

ただし、次に挙げるものは切り離さない。

あとあと ごくごく さてさて ただただ どうこう なおなお
ますます またまた まだまだ よくよく

【例】 | ごく=ごく | 簡単 | に | 申し | ます | と |
| まず=まず | の | 着順 | を | 受け | て | 、 |

【単位の内部構造による規定】

(◆ver. 1.4追加)

4. 3 主語・主題の後ろで切る。

【例】 | 緑 | あふれる | 風景 | の | 中に、 |
心	洗われる	よう	な	ステージ	に				
気持ち	悪い	から	、						
源泉徵収	だけ	で	確定申告	は	原則	必要	ない	が	、
緑	豊か	な	生活						
優秀	な	人材	は	引く	手	あまた。			
親しみやすさ	隨所	に							

※ 漢語形状詞の述部を持つ場合は、全体で1長単位とする。

【例】 | 持続=可能 | な | 発展 | の | ため |
| センス=抜群 | の | クリエーター | だっ | た | んだ | な |

(◆ver. 1.4修正 (番号のみ))

4. 4 体言に形式的な意味の「する」「できる」「なさる」「いたす」が直接続く場合、
体言と「する」「できる」「なさる」「いたす」とを切り離さない。

【例】 | まるで | 1つ | の | 光点 | が | 往復運動=し | ている | よう | に |
| 私 | は | この | 予選 | を | 1位 | で | 通過=できる | と |
| 久保田藩内 | を | 巡回=なさっ | ている | わけ | です | な |

国語辞典でサ变动詞語幹としての用法が示されていないものについても、形式的な意
味の「する」「できる」「なさる」「いたす」が直接続く場合は、「する」「できる」「な
さる」「いたす」を切り離さない。

【例】 | 青空 | に | 桜 | の | 花 | が | 満開=し | てる | 様子 | は |
| ふらふら | と | (F あのー) | ウインドーショッピング=する |

(◆ver. 1.4修正)

4. 5 「お (ご) ~する・できる・くださる・いただく・なさる・いたす・ねがう・も
うしあげる・あそばす・になる」という形式の敬語表現は、全体を一続きのものとする。

【例】 | ご理解 | と | ご協力 | の | ほど | よろしく | お=願い=申し上げ | ます |
いかが	お過ごし	でし	た	か	、	お=聞か=せ=ください	。
民事訴訟	の	ご専門	として	の	ご意見	を	お=聞か=せ=願い
たい	と	思い	ます	。			
気	が	向い	た	とき	、	お=返事=ください	ね
その	感覚	が	お=わかり=になる	と	思い	ます	。
法廷	に	も	全身ピンクずくめ	で	お=出まし=になる	。	
以下	の	サイト	を	ご=覧=下さい	。		

(◆ver. 1.4修正 (番号のみ))

4. 6 体言+用言という形式のうち、『岩波国語辞典』第6版、『日本国語大辞典』第
2版のいずれか一方で見出し語（連語としての見出し語は除く。）になっているものは、
体言と用言とを切り離さない。

【例】 | 運転手 | は | さり気=なく | 答え | て | アクセル | を | ゆるめ | た | 。

(◆ver. 1.4修正 (番号のみ))

4. 7 副詞に形式的な意味の「する」「できる」「なさる」「いたす」が直接続く場合、副詞と用言とを切り離さない。

【例】 | 「 | 何 | が | 始まる | の | か | な | 」 | と | 目 | を | きらきら=さ | せ | た |

(◆ver. 1.1追加)

4. 7. 1 副詞に「する」「できる」「なさる」「いたす」が直接続く場合のうち、「する」「できる」「なさる」「いたす」が「行う・やる」又は「行える・やれる」に置き換えることができる場合は、副詞との間を切り離す。

【例】 | 準備 | は | 十分 | し | てい | ます |

(◆ver. 1.1追加)

4. 7. 2 「こう」「そう」「ああ」「どう」に「する」「できる」「なさる」「いたす」が直接続く場合は、切り離す。

【例】 | こう | し | た | サークル活動 | が | 盛ん | に | なる | 背景 |
| どう | し | たらいい | です | か | ? |
| そうこう | し | ている | うち | に | だんだん | 犬 | と | 仲良く | なっ |
てき | て |

(◆ver. 1.1修正)

(◆ver. 1.2修正)

(◆ver. 1.4修正)

4. 8 同格の関係にある体言連続は切り離さない。

【例】 | 機関誌=計量国語学 | が | 発刊さ | れ |
機関誌=計量国語学-発行	の	年	に				
大江健三郎さん	の	長男=光さん					
東海汽船	の	支店長=・=重久さん	は	、	運転手全員	に	深々
と	頭	を	下げ	た	。		
古里=・=香港	の	「	移植	」			
中国語日刊新聞=「=星島日報=」							
若き	天才=羽生	へ	の	関心			

※ 同格の関係にある体言の間に読点がある場合は本規定を適用しない。

【例】 | 悲願 | の | 名人位 | を | つかん | だ | 加藤 | に | 二十一歳 | の | 青年 |
| 谷川 | が | 挑み | 、 |
| 1カ月前 | から | 始まつ | た | B | 29 | の | 首都 | 東京空襲 | 。

(◆ver. 1.2修正)

(◆ver. 1.4修正)

4. 9 並列された語は切り離さない。

【例】 | 公正=妥当 | な | 実務慣行 | を | 集約し | た | もの | という |
あなた	の	診療=治療	に	最適	の	専門医	は
その	見事さ=美しさ	に	驚嘆し	た	。		
もてもて=ウハウハ	の	人生	だっ	た			
山あり=谷あり	の	たいへん	な	トコ	でし	た	
麦=・=大豆=・=飼料作物	の	生産振興	に	資する	水田	の	

最も	先進的	な	青森=・=岩手=・=秋田	の	北東北	三県	は	、		
その	前=後	の	年齢階層	に	農業外	から	の			
東京	の	郊外	の	市=町=村	と	言う	か			
あち=こち	連れ歩い	て	よく	遊ん	だ	もの	である	。		
他	に	何	が	ある	だろう	という	こと	を	あれ=これ	と
思い	まし	た								
とても	頭	が	ちっさく	て	長身	で	手=足	が	凄く	長く
一国=一城	の	主	である	。						
「	女	の	人生	七転び=八起き	」					

(◆ver. 1.2追加修正)

(◆ver. 1.4追加修正)

4. 9. 1 並列された語のうち、次に挙げるものは切り離す。

(1) 並列の関係にある語の間に読点がある場合

【例】 | 国民健康保険 | の | 保険者 | は | 原則 | として | 市 | 、 | 町 | 、 | 村 | で
ある |
| 頭 | が | ちっさく | て | 長身 | で | 手 | 、 | 足 | が | 凄く | 長く |
| 下草 | や | 低木等 | の | 下層植生 | が | 減少 | 、 | 消失 | 、 |

(2) 並列された用言を中点でつなげている場合

【例】 | 「 | はじめる | 、 | はじまる | 」 | は | 「 | 初 | 」 | でなく | 、 | 「 | 始
める | 、 | 始まる | 」 | と | 書き | ます | 。

(3) 文相当の表現の並列

【例】 | 暖房 | は | 如何 | され | て | ます | か | ? | コタツ派 | ヒーター派 |

(◆ver. 1.2修正)

(◆ver. 1.4修正)

4. 9. 2 並列の関係にある体言の間に読点がある場合、その体言連続全体に係る、又はそれら全体を受ける体言的な形式や接辞があっても、読点の後ろで切り離す。

【例】 | 昭和 | 55年 | 、 | 56年 | に | 全国平均 | で |
| アメリカズカップ | に | 勝て | ば | 、 | 米国 | 、 | 豪州以外 | の | 国 |
に | 初めて | ザ・カップ | が | 持ち込ま | れる | ことになる | 。

※ 並列の関係にある体言連続全体に係る、又はそれら全体を受ける体言的な形式や接辞、並列された体言全体を受ける形式的な意味の「する」「できる」「なさる」「いたす」があり、並列の関係にある体言の間に読点がない場合は切らない。

【例】 | 英語=日本語-間 | の | 会話文 | の | 翻訳 | を |
学習データー=入力データー-共	マスク値	で	置き換え	た					
優優=・=美美ペア	から	五羽	の	ヒナ	が	誕生	、		
各語	の	状況	って	いう	もの	を	観察=整理-し	まし	た
職業能力開発大学校	に	在学=・=在校-する	場合	で	,				

(◆ver. 1.3追加)

(◆ver. 1.4修正)

4. 10 次に挙げる接尾辞は切り離す。

(1) 用言の終止形・連体形に続く場合

【例】 | 職権 | で | 証拠調べ | や | 事実 | の | 調査 | を | 行える | 等 | の | 特色 |
| 曲 | が | 終わる | ごと | に | バンド | に | 話しかける | 。

(2) 改行に続く場合

【例】 | 多く | 放送する | よう | に | し | なければならない | こと | と | する | こと (改行) | 等 | を | 規定し | てい | ます | ।

(◆ver. 1.3修正(番号, 用例追加削除))

(◆ver. 1.4修正)

4. 1 1 数を表す要素を含む自立語は, 以下の規定に基づき長単位を認定する。

4. 1 1. 1 数を表す要素は, 単位の変わり目の後ろで切る。

【例】 | 平成 | 15年 | 9月 | 15日 | 午後 | 7時 | 33分 |
| 1m | 80cm |

(◆ver. 1.2追加)

ただし, 数を表す要素に体言・接辞が続く例のうち, 体言・接辞が数を表す要素全体を受けている場合は, 単位の変わり目の後ろでは切らない。

【例】 | 一メートル=三十センチ-以上 |
| 1年=3か月-ぶり | に | 政界復帰し | た | 田中真紀子元外相 | は | *

※ 単位の内部構造は「1年+3か月ぶり」ではなく, 「(1年+3か月)+ぶり」と解釈されるため, 単位の変わり目で切ることはしない。

※ 以下の例のように, 数を表す要素に体言・接辞が続いている場合, 単位の変わり目で分割して特に問題がないと考えられる場合は, 単位の変わり目の後ろで切る。(規定4. 1 1. 3参照)

【例】 | 本年 | 4月末-現在 | 、 | 国連平和維持活動 | の | 要員 | は |
| 96年 | 3月 | 31日=以前 | に | 設立さ | れ | た | 企業 | の | 場合 |

4. 1 1. 2 数を表す要素の前で切る。

【例】 | 地域向け放送延べ | 23時間 | 30分 |, | 一般向け放送 | 13時間 | 30分 | である |。
| 残業時間 | が | 月 | 80時間以上 | の | 者 | は | 心筋梗塞発症 | の | リスク | が | 高まる | と | する | 研究 | が | ある |。
| 南青山 | に | ある | 敷地面積 | 2,000m² | の | 土地 | は | 、 |
| 平成 | 15年 | 9月 | 15日 | 午後 | 7時 | 33分 |
| 日銀政策委員 | の | 見通し | は | 、 | 前年比マイナス | 0.3%程度 | と | 小幅 | だ |。
だいたい	四、五年	も	し	ない	うち	に	、					
心身	に	著しい	故障	の	ない	おおむね	十六歳以上	二十歳未満	の	者	を	収容
ショウゆ	各=小さじ	1杯										
日米韓	三国	の	対応									
捜査	一課											
アメリカ	一国主義	の	偏狭	な	ナショナリズム							
図表	1	、	2									
(BAYFM	=	後	0 · 00)							
公害等調整委員会設置法	第2条	,	第3条									
公害等調整委員会設置法	第6条	~	第9条	,	第十八条							
公害紛争処理法	第二十条	,	第二十二条	,	第二十七条	第4項						

| F | - || 十六 | を | 含む |

※ 次の例のように一つの数を表す要素に対して、本規定を複数回適用する場合もある。

【例】 | 火 | を | 弱め | て | 油 || 大さじ || 二分一杯 | を | 足し | 、 |
| 卵 || 六個入り || 一パック |

(◆ver. 1.0追加)

(◆ver. 1.1修正)

ただし、次に挙げるものは、数を表す要素と前の要素とを切り離さない。

(1) 接頭辞は切り離さない。

【例】 | 約=3 時間 |
| 翌=平成=8 年 |

(2) 数を表す要素と直前の要素とに係る、又はそれら全体を受ける体言・接辞がある場合

【例】 | 学校=5 日制-導入 | で | 授業時間 | が | 少なく | なっ | た |
平成=十五年度-調査結果	について	は							
パンフレット	は	A=4-判	四ページ	で	一万部	を	作成	。	
衆院-東京=4 区	に	立候補する	こと	を					
ゆとり教育	の	名	の	下	に	完全-週休=二日制	に	し	たり

4. 1 1. 3 数を表す要素とそれに続く体言・接辞とは切り離さない。

【例】 | 最後 | の | 著書 | は | 前年 | 四月=刊行 | の |
| 残業時間 | が | 月 | 80 時間=以上 | の | 者 | は | 心筋梗塞発症 | の |
リスク | が | 高まる | と | する | 研究 | が | ある | 。 |
全国	二十一～三十四=歳	の	学生	を	除く	男女	で
「	パソコンリテラシー	」	(0 ~ 3 =点)		
いずれ	も	昭和-五十五年-以降=最多	と	なっ	た		
ジャスト-3 プライス-メガネ=販売							
4 大=金融グループ	の	不良債権比率	の	推移			
売れ筋	1 アイテム=当たり	の	陳列量	を	増やす	。	
3 年-連続-全種目=制覇	を	遂げ	た	。			
自家発電	が	すぐ	に	作動せ	ず	、	約 1 時間=停電
5 年=連続=優勝	を	駒沢大	が	来年	、	達成できる	か

※ 数字を表す要素とそれに続く体言・接辞との連続体が、①連用修飾成分になっている、②格助詞で受けられている、③新聞の見出し等で一文になっている、④文末に用いられているといった場合には、原則として全体で1長単位とする。

※ 次に示すように、数を表す要素とそれに続く体言・接辞の連続体の後ろに、これを受ける形式的な意味の「する」「できる」「なさる」「いたす」がある場合は、数を表す要素の後ろで切り離す。

【例】 | 約 1 時間 || 停電した | 。 |
| 箱根駅伝 | で | 4 年連続 || 優勝し | た | の | は | 5 校目 | 。 |
| 最大 | 三十時間 || 録音できる |

(◆ver. 1.3追加)

(◆ver. 1.4修正)

4. 1 1. 4 組織・肩書き・建物等の名称等に用いられた数字には、規定4. 1 1. 2を適用せず、前の要素等とつなげて、全体で1長単位とする。

【例】 | 日大=三 | の | 左腕 | 、 | 矢羽多 | の | 立ち上がり | を | 攻め | て |
| 船橋市 | 本町=三丁目ビル |

(◆ver. 1.2追加)

(◆ver. 1.3修正)

(◆ver. 1.4修正)

補則1 中点の扱い

中点は、長単位認定に当たって、以下のように扱う。

(1) 原則として、中点は切り出さない。

【例】 | 平成 | 3 年度 | から | コンピュータ=・=ネットワーク | を | 利用し | , |
| 政府 | の | 経済財政諮問会議 | (| 議長=・=小泉純一郎首相 |) | が | 九
日 | 開か | れ | 、 |
豪商=・=山崎屋	の	与五郎	と	遊女=・=吾妻	と	の	恋	を
首都=・=東京	は	新世紀最初	の	年明け	から	、		
麦=・=大豆=・=飼料作物	の	生産振興	に	資する	水田	の		
最も	先進的	な	青森=・=岩手=・=秋田	の	北東北	三県	は	、
ホームセキュリティガイド	を	作成=・=配布する	等	の	活動	を		
福岡	米国領事館	に	着任し	た	ウー=・=C=・=リー首席領事	も		
問い合わせ	は	同社	(0 1 2 0 =・=7 6 =・=8 1 5 0)			
D=・=N=・=A	(A B C	=	深夜	3 =・=二十二)		
十二／二十七=・=二十八	=	P A R C O 劇場						
午後	五時	から	、	大阪=・=フェスティバルホール	で	、		
公営地下鉄黒字決算	札幌=・=南北線	など	全国	4 路線	だけ			
○	神戸=・=三浦知							
V ゴール	を	決め	喜ぶ	G 大阪=・=中山				

(2) 以下に挙げる中点は切り出し、1長単位とする。

①中点の前後の要素の両方又は一方が2長単位以上から成るもの

【例】 | 寺園慎一著 | 現実化する | クローン人間 | 評者 | 、 | 山元 | 、 | 大輔 |
| マイケル・リチャードソン | (| シンガポール | 、 | 東南アジア研究所 |
上級客員研究員 |) |
| 医薬品卸売業 | 「 | 鍋林勝田 | 」 | (| 本社 | 、 | 長野県 | 松本市 |) |
の |
| ダッタンそば早食い競争 | など | 。 | 千円 | (| そば食券 | 2 枚 | 、 | 抽
選券付 |) |

②中点の前後の要素が用言であるもの

【例】 | 安く | 、 | 軽く | なっ | て | 電動自転車快走中 |
| 「 | はじめる | 、 | はじまる | 」 | は | 「 | 初 | 」 | でなく | 、 |
「 | 始める | 、 | 始まる | 」 | と | 書き | ます | 。

③中点の前又は後に数を表す要素があるもの（ただし、日付・時刻・電話番号・郵便

番号等は除く。)

【例】 | 個人毎 | の | ニーズ | に | 合わせ | て | , | 二十四時間 | · | 三百六十五
日リアルタイム | に |
| 牙を | むく | 都会 | 逢坂剛著 | (| 中央公論新社 | · | 二千円 |) |
| 白 | 七十八 | · | 八十 | の | 手筋 | で | コウ | に | 持ち込み | 、 |

④担当職務と担当者名との間に用いられたもの

【例】 | 撮影 | · | 寺河内美奈 |
(文	·	川上	健		写真	·	上田幸一)
原作	·	ヘミングウェイ。							
(v o & g	·	イノヒロキ)					

(◆ver. 1.2修正)

(◆ver. 1.4修正)

補則2 一覧の語等の扱い

上巻・資料「複合辞・連語」の「連語」、下巻・資料「要注意語」の「一が～」「一の～」に挙げられている語、短単位認定規程の補則5に挙げた語、及びそれらを含む結合体は、全体で1長単位とする。

【例】 | 身の代=金目的略取等 | , | 国外移送目的略取等 | , |
| 同じ | マンション | で | わがまま=親子 | が | い | ます | 。 |
| 家庭観 | も | いつ=か | 変わっ | てい | た | のだ |

(◆ver. 1.3修正 (用例追加削除))

補則3 固有名

固有名及びそれを含む体言句は、その内部が規定3で切ることになっていても切らない。(全体で1長単位とする。)

【例】
〔人名 (芸名・しこ名・あだ名などをふくむ)〕
| 源 みなもとの = 賴朝 | | 千代=の=富士 |

〔国名〕
| グレートブリテン=及び=北アイルランド連合王国 |

〔行政区画名〕
| 北区 | の | 西=が=丘 | に | こう | やっ | て | 研究所 | という | もの | を |
| お茶=の=水 | の | 私 | あんまり | お店 | の | 名前 | と | か |

〔地形名〕
| 場所 | は | 丹沢 | の | 塔=の=岳 | が | 使わ | れ | ます |

〔場所名〕
| 更に | 丸=の=内線 | も | 乗り入れ | てい | ます |
| 虎=の=門交差点 | を | 先頭 | に | 二キロ | の | 滞留 | です |

〔建造物名〕
| 浅草寺 | の | 境内 | に | ある | 五重=の=塔 | な | んです | けれど | も |
| 十六日 | 十八時 | 、 | 府中=の=森芸術劇場 | (| 京王線東府中駅 |) | 。

〔組織の名称〕

| 日本野鳥=の=会 |
| 独立行政法人=国立国語研究所 |

※ (財) (社) (株) (独) (有) 等は「財団法人」「社団法人」「株式会社」と書かれているものと同様に扱う。
| (財) 気象業務支援センター |

(◆ver. 1.1修正)

(◆ver. 1.4修正 (用例追加))

補則4 行政区画名・組織の名称等の扱い

より上位のものから下位のものへと順を追って並んでいる、意味的に段階性のある自立語のうち、次に挙げるものは、各自立語を切り離し、それぞれ1長単位とする。

【例】

〔行政区画名〕

米国		サンフランシスコ	から	送ら	れ	て	き	た
十四日	、	イラク南部		ナシリヤ	で	、		
東京都		北区		西が丘	三丁目	九番	十四号	
札幌市		中央区		北	5		西	2
間	も	なく	大阪府		和泉市	の	プロジェクト	が
うるま市		石川インター出口付近						

〔組織の名称及びそれに関連する肩書〕

国立国語研究所		研究開発部門		言語資源グループ				
衆議院		予算委員会		香港政庁		移民局		
新進党		党首		韓国		国防部		長官
自民党		長崎県連	の					
有名大学		医学部		教授				

※ 人名の前にある所属と人名とは切り離す。

| 国立国語研究所 | 研究開発部門 | 言語資源グループ || 前川喜久雄 |

※ 人名とその後に続く組織の名称・肩書きとは切り離さない。

| 安倍晋三・=自民党幹事長代理 |
| シラク=仏=大統領 |

※ 人名の前にある肩書きと人名とは切り離さない。(同格に当たる。)

| 国立国語研究所 | 研究開発部門 | 言語資源グループ長=前川喜久雄 |

〔建造物・施設名〕

| 東京国立博物館 || 平成館 | で | 開催さ | れる |
| 法隆寺 || 五重塔 | の | 内部構造 | 。 |

補則5 動植物名

動植物名及びそれを含む体言句は1長単位とする。

【例】 | ツキノワグマ | | ワレモコウ | | ヒカゲノカズラ科 |

| 総ひのき造り | の | 淀川邸 | は | 、 |

(◆ver. 1.2追加)

(◆ver. 1.4追加修正)

補則6 意味的に問題のあるものの扱い

次に挙げるものは、長単位認定に当たって、それぞれ以下のように扱う。

(1) 同格の関係にある要素の両方又は一方が2長単位以上から成り、長単位認定規程に従って長単位を認定すると、意味的に問題のある体言連続を長単位として認定することになるもの

【例】 | ムシャラフ大統領 | は | 、 | A. Q. カーン博士ら | 一部 | の | 科学者 | が |
| 実質的首謀者 | と | 見ら | れる | 真木大将 | 、 | 荒木大将ら | 皇族 | 、 |
将軍 | は | すべて | 免罪 |
| ◇ | シンポジウム | 「 | 男女共同参画時代 | の | 地域・市民活動 | を | 考
える | 」 |
| 前作 | | 『 | 子ども | が | 育つ | 魔法 | の | 言葉 | 』 |
| チョコレートソース | を | 使つ | た | メキシコ料理 | 「 | チキン | の |
モレソース添え | 」 | (| 九百五十円 |) | ほか | 。 |

※ 長単位認定規程を単純に適用すれば、「A. Q. カーン博士ら一部」「荒木大将ら皇族」等を長単位とすることになるが、意味的に問題があるため、切り離す。

(2) 並列の関係にある要素のうち一つ以上の要素が2長単位以上から成り、長単位認定規程に従って長単位を認定すると、意味的に問題のある体言連続を長単位として認定することになるもの

【例】 | また | 、 | その | 他 | ・ | 無回答 | が | 十五% | あり | 、 |
| 種類 | 豊か | に | 個性的 | に |

※ 長単位認定規程を単純に適用すれば、「他・無回答」等を長単位とすることになるが、意味的に問題があるため、切り離す。

(3) 連体修飾関係にある要素を長単位認定規程に従って長単位を認定すると、意味的に問題のある体言連続を長単位として認定することになるもの

【例】 | 毎日新聞 | 「 | 記者 | の | 目 | 」 | 係 | へ | 。 |
「	日本	の	明日	を	創る	会	」	メンバー	。
この	あたり	独特	の	商売					
我が	国	社会	が	二十世紀後半	に	形成し	た		

※ 長単位認定規程を単純に適用すれば、「目」係」等を長単位とすることになるが、意味的に問題があるため、切り離す。

(◆ver. 1.2追加)

(◆ver. 1.3修正(用例追加))

(◆ver. 1.4修正)

補則7 「対」の扱い

「対」及びこれに類する語を含む形式は、「対」等が結び付けている形式によって、次のように長単位を認定する。

(1) 「対」等が結び付けている形式が共に1長単位である場合は、「対」等の前後で切らない。

【例】 | 阪神=対=巨人 | の | 試合 | を | 見る |
| 星野監督 | 率いる | 阪神=対=巨人 |
| 地域用水環境整備事業 | の | 採択 | に当たり | 費用=対=効果分析 | を |
試行的 | に | 実施し | た |。
| 1 = : = 4 | で | 5 倍 | に | 薄める | と | どう | も | 薄すぎる |
| 財務省=V S=総務省 | | “省益”争い | 妥協 | の | 産物 |

(2) 「対」等が結び付けている形式のうち、一方が2長単位以上である場合、「対」等の前後で切る。

【例】 | 星野監督 | 率いる | 阪神 | 対 | 昨年 | の | 霸者巨人 |
| 2大メーカーの | 「 | 赤 | 」 | 対 | 「 | 緑 | 」 | の | 対決 |
| アジソン夫人 | (| 青帯 |) | 対 | ルヴァニエ夫人 | (| 茶帯 |) | と |
の | 間で |
| (| 本因坊戦 |) | | 小林光一 | | 九段 | | V S | | 加藤正夫 |
九段 |

(◆ver. 1.0修正)

(◆ver. 1.2修正)

(◆ver. 1.3修正)

(◆ver. 1.4修正)

補則8 括弧・その他記号でくくられた語句・文等の扱い

(1) 文中にある括弧等でくくられた要素は、原則として長単位認定規程を順次適用し、長単位を認定する。括弧等でくくられた注釈的な要素、括弧等でくくられた要素が文脈を補っている場合や文脈から独立している場合についても同様に扱う。

【例】 | 背番号 | 「 | 五十五 | 」 | の | 執念 | が | こめ | られ | てい | た。 |
| 約九十六万人 | (| 厚生労働省推定 |) | が |
| 販売高 | 七十八億四千六百万円 | (| 二千一年度末 |) | と | なる |。
| 懲役 | 三年 | 、 | 執行猶予 | 五年 | (| 求刑 | 懲役 | 五年 |) | を | 言い
渡し | た |。
| 二千二年 | (| 平成 | 十四年 |) | 1月 |
| 原子力供給国グループ | (| N S G N u c l e a r | | S u p p l i e
r s | | G r o u p |) | I |) | により | 、 |
| 村岡さん | に | 打開できる | と | は | 思え | ない | 」 | (| 建設業者 |)
| という | 冷ややか | な | 声 | が | 聞か | れ | た |。
| 医薬品卸売業 | 「 | 鍋林勝田 | 」 | (| 本社 | • | 長野県 | 松本市 |) |
の | 飯田営業所 |
| 次姉 | の | 病院長夫人 | (| 岡江久美子 |) | は | 売却 | を | 勧める | が
| 、 | 宇宙 | は | 応じ | ない | 。

| 風間杜夫 | の | 「 | ひとり芝居 | 三部作 | 」 | (| 水谷龍二作 |) | で |
は | 、 | 記憶 | を | 失い | 、 | 旅役者 | と | なっ | た | 主人公 | が | 、 |
| 牛海綿状脳症 | (| B S E | 、 | いわゆる | 狂牛病 |) | 問題 | で |
| 第一次試験 | (| 技術士補 | と | なる | 資格取得 |) | について | は |
| 「 | (| 神父 | が | 妻帯でき | ない |) | 禁欲主義 | に | 欠陥 | が | ある
| 」 | と | 語る | 。 |
| 「 | (| その | 再稼働 | は |) | 憂慮す | べき | 事態 | だ |
| 国連 | 平和維持活動局 | (| 国連 | P K O 局 |) | の | 人員増強 | II |)
| など | が | 含ま | れ | て | い | た | 。 |
| なぞ | を | 解く | かぎ | と | なる | 「 | C P 対称性 | の | 破れ | 」 | 現象
| 。 |

(2) 本文中に括弧書きで付された読み仮名のうち、それがないときに1長単位となるものの中に現れるものは、その長単位の中に含める。

【例】 | 岐阜県 | 根尾村生まれ | の | 淡墨= (=うすずみ) =桜 | が |
| 膠着= (=こうちやく) =し | た | 展開 | 。 |

ただし、1長単位となるものの直後にあるものは、長単位認定規程に従って長単位を認定する。

【例】 | 「 | 鉢建て | 」 | と | 「 | 神輿洗 | (| みこしあらい |) | 」 |

(3) 括弧・その他記号でくくられた接辞は1長単位とする。

【例】 | 密輸さ | れる | 動物 | は | 每月 | 数千匹 | (| 頭 |) | に | も | 及ぶ |

(4) 括弧・その他記号でくくられた注釈的な要素に接辞が続く場合は切り離す。

【例】 | 保護環境 | (| 家族関係 | , | 交友関係等 |) | 上 | の | 問題 |
| 杉本孝幸さん | = | 当時 | (| 四十一 |) | = | ら | 一家 |

(◆ver. 1.2追加)

(◆ver. 1.4修正)

補則9 題名等の扱い

題名中に長単位認定規程で定めた長単位の切れ目がある場合、そこで長単位を切る。
編著者・歌手名等と題名、主題と副題は分割する。

【例】 | 彼 | は | 論文 | 「 | マルクス | と | バクーニン | 一 | 社会主義 | と | 無政
府主義 | 」 | の | なか | で | 書い | ている | 。 |
鷹羽狩行・片山由美子著	『	添削例	に	学ぶ	・	俳句上達法	』
T B S 系	「	爆烈	!	異種格闘技 T V	」		
氷川きよし	「	番場	の	忠太郎	」	ジャケット	
川口松太郎原作	「	新吾十番勝負	」	(吉村忠矩脚本・演出)	
と | 竜小太郎 | の | 世界 | 艶くらべ | 」 | の | 2 部構成 | で | 、 |

(◆ver. 1.2追加)

(◆ver. 1.3修正)

補則10 法律の条文番号の扱い

法律の条文番号は、次のように長単位を認定する。

【例】 | 公害紛争処理法 | 第二十七条 | の | 2 |
| 公害紛争処理法 | 第四十二条 | の | 十二 | , | 第四十二条 | の | 十四 |

～ | 第四十二条 | の | 十六 | , | 第四十二条 | の | 十八 | , | 第四十二条 | の | 二十 | , | 第四十二条 | の | 二十六 |
| 公害紛争処理法 | 第四十二条 | の | 2 | , | 第四十二条 | の | 二十七 | ,
| 第四十二条 | の | 十八 | 第1項 | , | 第四十二条 | の | 三十二 |
第1項 | , | 第四十二条 | の | 三十三 |
公害紛争処理法	第二十七条	第1項	～	第3項		
公害紛争処理法	第二十七条	第4項	,	第5項		
公害紛争処理法	第二十七条	の	2	第1項	及び	第3項

「ただし書」については、直前の条文番号とつなげて、全体で1長単位とする。

【例】 | 独占禁止法 | 第十八条 | の | 2 | 第1項=ただし書 |

(◆ver.1.2追加)

(◆ver.1.3修正 (番号のみ))

(◆ver.1.4修正)

補則11 章・節の番号、箇条書きの番号・記号等の扱い

章・節の番号、箇条書きの番号・記号等の後ろで切る。

【例】 | 報告 | の | 中 | で | は | , | 1 | 文化多様性 | の | 保護 | は | 維持可能 |
な | 発展 | の | ため | の | 原動力 | で | あり | , | 世界 | の | 平和 | と | 安全 |
に | 寄与する | こと | , |
| (| 注 | 2 |) | 利用時間 | (| 全体平均 |) | は | その | メディア | の |
利用率 | に |
| ※ | 平日 | 8～十九時 | の | 時間帯 | に | 、 | 1カ月あたり | 1時間 | 使
つ | た |
★	スリム	な	デジカメ		カシオ計算機	は	十月中旬	、
◎	フィリピン	の	エストラダ前大統領	、				
↓	これ	なんか	どう	です	か			

(◆ver.1.4追加)

補則12 w e b誤脱の扱い

w e b誤脱は原則として1長単位とする。

【例】 | 違和感 | が | 時々 | 出る | ので | 、 | ゆっくり | 走 | 。 |
| プレーン | の | ベゼル | が | セット | に | なっ | てい | ます | の
で | 付 | . | . | . |
| 布団 | に | 入っ | て | 即 | 寢 | 寝直し | まし | た | けど | ねー |
| ドッグラン | は | 大型 | 兼 | 用 | と | 小型 | 兼 | 用 | に | 分かれ |
てい | ます | 。 |

(◆ver.1.3修正)

(◆ver.1.4修正)

参考 長単位の例

| 平成 | 4年度 | に | 創設さ | れ | た | 定期借地権制度 | は | 、 | 借地契約 | の | 更新 |
が | なく | 、 | 定め | られ | た | 契約期間 | で | 確定的 | に | 契約 | が | 終了する | 借地

権制度である。貸し主（土地所有者）にとっては予定時期に土地の返還を受けることが保証されるとともに、一定期間の地代収入が安定的に得られ、また、借り主にとっては土地を取得するよりも少ない負担で土地を利用できることから、双方にとってメリットがある。借地の供給拡大による土地の有効利用を促進するものとして期待されている。定期借地権には、一般定期借地権、建物譲渡特約付借地権、事業用借地権の3類型がある（図表1-5-4）。

定期借地権制度創設時に、事業用借地権の対象として主に想定していたのは、量販店、飲食店等、経済的な耐用年数が比較的短いものであり、事業用借地権の存続期間も10年以上20年以下とされている。しかし、近年、物流拠点やアウトレットモール等、従来想定されていなかつた用途での活用も行われるようになっている（図表1-5-8）。立地についても、従来想定されていったロードサイド等での活用に限らず、多様化しており、都心から数十km以上離れた場所に立地する大規模アウトレットモールや臨海部に相次いで立地している大型の商業施設のようなものもある。このような商業施設では、土地取得費を削減するため、借地による立地を進める場合も多く、特に大規模アウトレットモールにおいては、事業用借地権を用いている事例が目立っている（図表1-5-9）。

III 付加情報 Version 1.0

第1 付加情報の概要

長単位認定規程によって認定された各単位に、次に挙げる付加情報を付与する。

1 語彙素読み

自立語の語彙素読みは、同一語の活用変化・表記のゆれ（補助記号の有無を含む。）をグループ化するための情報である。表記以外のゆれ、省略・融合等によって生じた異形態はグループ化しない。

付属語の語彙素は、同一語の活用変化・ゆれ・省略・融合等によって生じた異形態をグループ化するための情報である。

語彙素読みは、原則としてコーパスに出現したすべての長単位に付与する。

2 語彙素

語彙素は、代表形に対する国語の表記である。原則としてコーパスに出現したすべての長単位に付与する。

※ 語彙素読み・語彙素という名称は、形態素解析用辞書UniDicで使われているものを、BCCWJにおける長単位・短単位の見出しの名称として用いたものである。ただし、UniDicの語彙素が語彙素読み・語彙素表記等の4属性から成る見出しに与えられた名称であるのに対し、BCCWJの語彙素はUniDicで言うところ語彙素表記を指すという違いがある。

また、語彙素読み・語彙素を与えるに当たり同一語と見なす範囲については、UniDic・短単位と長単位との間で違いがある。UniDic・短単位では、語形・表記のゆれを考慮せず、同一語と見なせるものに同一の語彙素読み・語彙素を与えるのに対し、長単位では、特に自立語について、上記のように省略・融合等によって生じた異形態は同一語と見なさず、別の語彙素読み・語彙素を与える。

長単位の語彙素読み・語彙素については、上巻・付加情報付与基準の第1「語彙素読み・語彙素付与の基準」を参照。短単位の語彙素読み・語彙素については、下巻・同語異語判別規程を参照。

3 品詞等の情報

各単位に対して、品詞等の情報（以下、品詞情報）として、次に挙げる情報を付与する。

- (1) 品詞
- (2) 活用型
- (3) 活用形

第2 品詞情報の概要

1 品詞

品詞は、次に挙げるものとする。

1. 1 名詞

(1) 名詞-普通名詞-一般

【例】 母親 国語施策 運動 安全 エアコン アクセス
アクティブ 今日 ため

(2) 名詞-固有名詞-一般

(3) から (7) 以外の固有名詞。組織の名称や元号・ペットの名など。名詞-固有名詞-一般の詳細は、付加情報付与基準の第2「品詞付与基準」の4「固有名の扱い」を参照。

【例】 (財) 河川情報センター J R 西日本 W T O 英 B B C 放送
東京弁護士会 文部科学省 自民党 旧社会党 ミッキー
バーバリー アルフィー 平成

(3) 名詞-固有名詞-人名-一般

日本・中国・韓国以外の人名、(4) (5) に分類できない人名、あだ名やしこ名等、及びそれらに肩書き・敬称等がついたもの。

人名 ((3) から (5)) についての詳細は、付加情報付与基準の第2「品詞付与基準」の2「人名の扱い」を参照。

【例】 オバマ ジョン キリスト 星野仙一 林威助 金本知憲選手
演出家鴻上尚史さん 橋龍 たむけん 朝青龍

(4) 名詞-固有名詞-人名-姓

日本・中国・韓国の人名のうち姓に当たるもの、及びそれに肩書き・敬称等がついたもの。落語家の亭号なども含む。

【例】 星野 林 金本選手 田尾監督 三遊亭 明石家

(5) 名詞-固有名詞-人名-名

日本・中国・韓国の人名のうち名に当たるもの、及びそれに肩書き・敬称等がついたもの。

【例】 仙一 威助 イチロー選手 妹美紗ちゃん 将軍家光

(6) 名詞-固有名詞-地名-一般

国名以外の地名 (行政区画名・地域地方名・地形名)。

地名 ((6) (7)) についての詳細は、付加情報付与基準の第2「品詞付与基準」の3「地名の扱い」を参照。

【例】 大阪 豊中 待兼山町 東北 カリフォルニア
京都・錦小路 桜島 富士山
関空 竹下通り 関西国際空港 諏訪インター 東京・三宅坂
野中温泉

地名を略した一字漢語を結合したもののうち、地名として広く普及しているもののみ、「名詞-固有名詞-地名-一般」とする。それ以外 (「日米」「阪奈」など) は

「名詞-普通名詞-一般」とする。

【例】 阪神 京阪

(7) 名詞-固有名詞-地名-国

地名のうち国名。ローマ字で略記した国名を含む。

【例】 日本 アメリカ J P N U S A
アラブ首長国連邦 議長国メキシコ 李朝朝鮮

(8) 名詞-数詞

数詞の範囲は、付加情報付与基準の第2「品詞付与基準」の5「数詞の扱い」を参考。

【例】 一 幾人 何百 数千 二十機

(9) 名詞-助動詞語幹

一般に伝聞の助動詞とされる「そうだ」の語幹

1. 2 代名詞

【例】 私 それ 彼女達 此れ等

1. 3 形状詞

(1) 形状詞-一般

(2) (3) 以外の、いわゆる形容動詞の語幹に当たるもの

【例】 静か 健やか 特別 シンプル 涼し気 積極的
大規模 持続可能 迅速・的確 お気に入り

(2) 形状詞-タリ型

いわゆるタリ活用の形容動詞の語幹に当たるもの

【例】 釈然 錚々 興味津々

(3) 形状詞-助動詞語幹

一般に助動詞とされる「そうだ」(様態)及び「ようだ」「みたいだ」の語幹に当たるもの

1. 4 連体詞

【例】 あの 大きな 同じ そ知らぬ

1. 5 副詞

擬音語・擬態語を含む。

【例】 しっかり 決して がらんがらん そっと 良い加減 毎年度

1. 6 接続詞

【例】 しかし じゃ そして 其れでも 要するに

1. 7 感動詞

(1) 感動詞-一般

フィラー以外の感動詞。

【例】 いいえ おや はい 有り難う 済みません

(2) 感動詞-フィラー

【例】あのえーとえーっと

1. 8 動詞

(1) 動詞-一般

【例】聞く　　来たる　　置く　　愛する　　押し付け合う　　御支払い頂く
発表する　　オーバーライドする　　解決出来る　　依存し過ぎる

1. 9 形容詞

(1) 形容詞-一般

【例】明るい　　無い　　美しい　　良い　　破れ難い　　格好良い
女の子らしい　　面倒臭い　　御嬢様っぽい　　揺さぶられ易い

1. 10 助動詞

資料「複合辞・連語」の「助動詞相当句」に挙げたものを含む。

【例】です　　とく　　べし　　ていく　　ことになる

1. 11 助詞

資料「複合辞・連語」の「助詞相当句」に挙げたものを含む。

(1) 助詞-格助詞

【例】が　　から　　で　　に　　の　　として　　について　　により

(2) 助詞-副助詞

【例】か　　きり　　しか　　たって　　のみならず　　に限らず

(3) 助詞-係助詞

【例】こそ　　は　　も　　といつても　　に至っては

(4) 助詞-接続助詞

【例】けれど　　つつ　　と　　なり　　ば　　ために　　とともに

(5) 助詞-終助詞

【例】い　　か　　ね　　よ　　わ

(6) 助詞-準体助詞

【例】の

1. 12 接頭辞

長単位では、通常、接頭辞が単独で1単位となることはないが、文に係る接頭辞など、例外的に1単位となるものがある。

【例】新(・男はつらいよ)

1. 13 接尾辞

長単位では、通常、接尾辞が単独で1単位となることはないが、活用語に直接する接尾辞など、例外的に1単位となるものがある。

(1) 接尾辞-名詞的-一般

【例】 (目指す) 等 (事ある) 每 (唐 (十郎)) さん

(2) 接尾辞-名詞的-助数詞

【例】 頭

(3) 接尾辞-形容詞的

【例】 (なきやいけない) っぽい

1. 1 4 記号

(1) 記号-一般

(2) 以外の記号。箇条書きの項目名に使われた1文字の片仮名、地名以外の固有名を略した1文字の片仮名を含む。新聞記事の署名等で姓又は名を略した1文字の漢字を含む。

【例】 ブ マ セ

(2) 記号-文字

アルファベットやギリシャ文字

【例】 A α Σ M I S O M A

1. 1 5 補助記号

(1) 補助記号-一般

【例】 ・ △ ※ — ,

(2) 補助記号-句点

【例】 。 . !

(3) 補助記号-読点

【例】 、 ,

(4) 補助記号-括弧開

【例】 (《 「

(5) 補助記号-括弧閉

【例】) 》 」

(6) 補助記号-A A-一般

【例】 o r z ミ田 ε =

(6) 補助記号-A A-顔文字

【例】 (^ o ^) m (. __.) m (=° ω °) ノ

1. 1 6 空白

行頭の字下げなどの空白

表 2. 1 品 詞 一 覧

品 詞	品 詞
名詞-普通名詞-一般	助詞-格助詞
名詞-固有名詞-一般	助詞-副助詞
名詞-固有名詞-人名-一般	助詞-係助詞
名詞-固有名詞-人名-姓	助詞-接続助詞
名詞-固有名詞-人名-名	助詞-終助詞
名詞-固有名詞-地名-一般	助詞-準体助詞
名詞-固有名詞-地名-国	接頭辭
名詞-数詞	接尾辭-名詞的一般
名詞-助動詞語幹	接尾辭-名詞的-助数詞
代名詞	接尾辭-形状詞的
形状詞-一般	接尾辭-動詞的
形状詞-タリ	接尾辭-形容詞的
形状詞-助動詞語幹	記号-一般
連体詞	記号-文字
副詞	補助記号-一般
接続詞	補助記号-句点
感動詞-一般	補助記号-読点
感動詞-フィラー	補助記号-括弧開
動詞-一般	補助記号-括弧閉
形容詞-一般	補助記号-A A-一般
助動詞	補助記号-A A-顔文字
	空白

2 活用型

長単位に付与する活用型のうち、主なものを次に挙げる。

2. 1 動詞

2. 1. 1 五段活用

(1) 五段-カ行-一般

(2) (3) 以外のカ行五段活用動詞

【例】 空く 頂く 位置付く 御聞かせ頂く

(2) 五段-カ行-イク

語形が「イク」及び「～イク」のもの。連用形の音便形が促音便となる。

【例】 行く 逝く 吊り行く

(3) 五段-カ行-ユク

語形が「ユク」及び「～ユク」のもの。連用形に音便形がない。

【例】 行く 逝く 去り行く

(4) 五段-ガ行

【例】 泳ぐ 注ぐ 相次ぐ

(5) 五段-サ行

【例】 致す 話す 冗談めかす 笑い出す

(6) 五段-タ行

【例】 明け放つ 育つ 浮き足立つ

(7) 五段-ナ行

【例】 死ぬ

(8) 五段-バ行

【例】 遊ぶ 学ぶ 立ち並ぶ

(9) 五段-マ行

【例】 濟む 進む 御馴染む 引っ張り込む

(10) 五段-ラ行

【例】 煽る いらっしゃる 下さる 有る 御取り為さる 有り難がる

(11) 五段-ワア行-一般

【例】 争う 合う 飲み損なう

(12) 五段-ワア行-イウ

動詞「言う」及び動詞「言う」を末尾に持つ複合動詞。連用形が「ユウ」と発音されることがある。

2. 1. 2 上一段活用

(1) 上一段-ア行

【例】 居る 射る 年老いる

(2) 上一段-カ行

【例】 飽きる 出来る アクセス出来る

(3) 上一段-ガ行

【例】 過ぎる 食べ過ぎる

(4) 上一段-ザ行

【例】 甘んじる 信じる 相通じる

(5) 上一段-タ行

【例】 落ちる 満ちる

(6) 上一段-ナ行

【例】 似る 煮る

(7) 上一段-ハ行

【例】 干る

(8) 上一段-バ行

【例】 浴びる 滅びる 生き延びる

(9) 上一段-マ行

【例】 試みる 見る 営業染みる

(10) 上一段-ラ行

【例】 下りる 足りる 事足りる

2. 1. 3 下一段活用

(1) 下一段-ア行

【例】 会える 得る 支払える

(2) 下一段-カ行

【例】 赤茶ける 行ける 浴び続ける 位置付ける

(3) 下一段-ガ行

【例】 上げる 告げる 御祈り申し上げる

(4) 下一段-サ行

【例】 伏せる 見せる 思い出せる 事寄せる

(5) 下一段-ザ行

【例】 搔き混ぜる はぜる

(6) 下一段-タ行

【例】 当てる 捨てる 申し立てる

(7) 下一段-ダ行

【例】 出る 茄である 名乗り出る

(8) 下一段-ナ行

【例】 重ねる 寝る 書きあぐねる 破り兼ねる

(9) 下一段-ハ行

【例】 経る

(10) 下一段-バ行

【例】 遊べる 食べる 差し伸べる

(11) 下一段-マ行

【例】 止める 誉める 繋ぎ止める 動き始める

(12) 下一段-ラ行-一般

(13) 以外のラ行下一段活用動詞

【例】 上がれる 遅れる 置き忘れる 掲載し切れる

(13) 下一段-ラ行-呉レル

動詞「呉れる」及び動詞「呉れる」を末尾に持つ複合動詞。命令形に「～よ」「～ろ」の形がなく、「くれ」である。

2. 1. 4 変格活用（口語）

(1) カ行変格

【例】 来る 引っ張り出し来る

(2) サ行変格

【例】 愛する 称する 甘んずる 信ずる 家庭訪問する

2. 1. 5 文語四段活用

(1) 文語四段-カ行

【例】 行く 置く

(2) 文語四段-ガ行

【例】 仰ぐ 凌ぐ

(3) 文語四段-サ行

【例】 明かす 致す

(4) 文語四段-タ行

【例】 うがつ 放つ

(5) 文語四段-ハ行-一般

【例】 争ふ 追ふ 会ふ 買ふ 相休申候ふ

(6) 文語四段-バ行

【例】 遊ぶ 滅ぶ

(7) 文語四段-マ行

【例】 当て込む 読む

(8) 文語四段-ラ行

【例】 煙る 散る 思い切る

2. 1. 6 文語上二段活用

(1) 文語上二段-ア行

【例】 与え得 有り得る

(2) 文語上二段-カ行

【例】 起く 生く

(3) 文語上二段-ガ行

【例】 過ぐ

(4) 文語上二段-タ行

【例】 落つ 満つ

(5) 文語上二段-ダ行

【例】 閉づ 懈づ

(6) 文語上二段-ハ行

【例】 豊ふ

(7) 文語上二段-バ行

【例】 浴ぶ 滅ぶ

(8) 文語上二段-マ行

【例】 試む

(9) 文語上二段-ヤ行

【例】 飢ゆ 報ゆ

(10) 文語上二段-ラ行

【例】 降る 懲る

2. 1. 7 文語下二段活用

(1) 文語下二段-ア行

【例】 得る 心得る

(2) 文語下二段-カ行

【例】 避く 溶く

(3) 文語下二段-ガ行

【例】 上ぐ 告ぐ

(4) 文語下二段-サ行

【例】 乗す 見す

(5) 文語下二段-ザ行

【例】 交す 爆す

(6) 文語下二段-タ行

【例】 当つ 捨つ

(7) 文語下二段-ダ行

【例】 出づ 撫づ 萌え出づ

(8) 文語下二段-ナ行

【例】 ぬ (寝)

(9) 文語下二段-ハ行

【例】 和ふ 終ふ ふ (経)

(10) 文語下二段-バ行

【例】 比ぶ 並ぶ

(11) 文語下二段-マ行

【例】 留む 止む

(12) 文語下二段-ヤ行

【例】 消ゆ 燃ゆ

(13) 文語下二段-ラ行

【例】 暮る 忘る

(14) 文語下二段-ワ行

【例】 植う

2. 1. 8 変格活用 (文語)

(1) 文語カ行変格

【例】 来 疲れ来

(2) 文語サ行変格

【例】 す 接す 信す 甘んず 強化す

(3) 文語ナ行変格

【例】 死ぬ

(4) 文語ラ行変格

【例】 あり 居り

2. 2 形容詞

2. 2. 1 口語活用

(1) 形容詞

【例】 良い 無い 高い 分かり易い 面倒臭い

2. 2. 2 文語活用

(1) 文語形容詞-ク

ク活用の形容詞。

【例】 白し 高し 有り難し

(2) 文語形容詞-シク

【例】 美し 楽し いみじ

2. 3 助動詞

次に挙げる助動詞の活用は、動詞・形容詞の活用と比べて個別的であるため、例に示したように助動詞ごとに活用型を立てる。

じゃ	た	だ	たい	です	ない	なんだ	のだ	へん
まい	ます	や	やす	らしい	られる	れる		
き	けむ	けり	こす	ごとし	ざます	ざんす	じ	ず
たり	(完了)	たり	(断定)	つ	なり	(断定)	なり	(伝聞)
ぬ	べし	まじ	む	むず	めり	らし	らむ	り んす

【例】 だ 活用型：助動詞-ダ
たい 活用型：助動詞-タイ
ず 活用型：文語助動詞-ズ
なり (断定) 活用型：文語助動詞-ナリ-断定

上記以外の助動詞には、動詞・形容詞と同じ活用型を付与する。

【例】 たがる 活用型：五段-ラ行
てる 活用型：下一段-タ行
てくる 活用型：カ行変格
のではない 活用型：形容詞

2. 4 接尾辞

「接尾辞-動詞的」は動詞の活用型を、「接尾辞-形容詞的」は形容詞の活用型を付与する。

【例】 難い 活用型：形容詞-ア段
ばむ 活用型：五段-マ行

表 2. 2 活用型一覧

五段-○行	文語四段-○行
五段-カ行-一般	文語上一段-○行
五段-カ行-イク	文語上二段-○行
五段-カ行-ユク	文語下一段-○行
五段-ワア行-一般	文語下二段-○行
五段-ワア行-イウ	文語カ行変格
上一段-○行	文語サ行変格
下一段-○行	文語ナ行変格
下一段-ラ行-一般	文語ラ行変格
下一段-ラ行-呉レル	文語形容詞-ク
カ行変格	文語形容詞-シク
サ行変格	文語助動詞-キ
形容詞	文語助動詞-ケム
助動詞-ジャ	文語助動詞-ケリ
助動詞-タ	文語助動詞-コス
助動詞-タイ	文語助動詞-ゴトシ
助動詞-ダ	文語助動詞-ザマス
助動詞-デス	文語助動詞-ザンス
助動詞-ドス	文語助動詞-ジ
助動詞-ナイ	文語助動詞-ズ
助動詞-ナンダ	文語助動詞-タリ-完了
助動詞-ヌ	文語助動詞-タリ-断定
助動詞-ヘン	文語助動詞-ツ
助動詞-マイ	文語助動詞-ナリ-伝聞
助動詞-マス	文語助動詞-ナリ-断定
助動詞-ヤ	文語助動詞-ヌ
助動詞-ヤス	文語助動詞-ベシ
助動詞-ラシイ	文語助動詞-マシ
助動詞-レル	文語助動詞-マジ
無変化型	文語助動詞-ム
	文語助動詞-ムズ
	文語助動詞-メリ
	文語助動詞-ラシ
	文語助動詞-ラム
	文語助動詞-リ
	文語助動詞-ンス

3 活用形

長単位に付与する活用形のうち、主なものを以下に挙げる。

3. 1 語幹

(1) 語幹-一般

下記以外の活用語の語幹

(2) 語幹-サ

いわゆる様態の助動詞「そうだ」が接続する場合の形容詞「ない」の語幹「なさ」と形容詞「よい」の語幹「よさ」

3. 2 未然形

(1) 未然形-一般

下記以外の未然形

(2) 未然形-サ

助動詞「せる」が接続する場合のサ変動詞「する」の未然形「さ」

(3) 未然形-セ

助動詞「ず」が接続する場合のサ変動詞「する」の未然形「せ」

(4) 未然形-撥音便

活用語尾がラ行音の動詞で、未然形が撥音便になったもの

【例】 分かん (ない) 知ん (ない)

(5) 未然形-補助

文語形容詞の補助活用

3. 3 意志推量形

【例】 歩こう 食べよっ (と) 行こ (か) 寝よ

3. 4 連用形

(1) 連用形-一般

下記以外の連用形。助動詞「ます」が接続する一般的な形

(2) 連用形-○音便

助動詞「た」や助詞「て」が接続する場合の一般的な音便形

(3) 連用形-融合

連用形と係助詞「は」とが融合したもの

【例】 ありや (しない) じや (ない) (そんなこつ) ちや (だめだ)

(4) 連用形-省略

連用形の活用語尾が省略されたもの

【例】 ほし (ないわ)

(5) 連用形-ト

文語助動詞「たり」の連用形「と」

(6) 連用形-ニ

文語助動詞「なり」の連用形「に」

(7) 連用形-補助

文語形容詞の補助活用

3. 5 終止形

(1) 終止形-一般

下記以外の終止形

(2) 終止形-ウ音便

文語ハ行四段動詞「給う」の終止形「たもう」

(3) 終止形-促音便

形容詞の終止形末尾が促音便になったもの

【例】 うまっ 高っ

(4) 終止形-撥音便

動詞・助動詞の終止形末尾が撥音便になったもの

【例】 見ん(なよ) (ありませ)ん

(5) 終止形-融合

【例】 (知って)まさあ (そういうこつ)ちや

(6) 終止形-補助

文語形容詞「多し」の終止形「多かり」

3. 6 連体形

(1) 連体形-一般

下記以外の連体形

(2) 連体形-撥音便

【例】 集めん(のが) (知ら)ん(顔)

(3) 連体形-補助

文語形容詞の補助活用

3. 7 仮定形

(1) 仮定形-一般

下記以外の仮定形

(2) 仮定形-融合

形容詞及び形容詞型活用の助動詞・接尾辞の仮定形の活用語尾が接続助詞「ば」と融合したもの

【例】 面白けりや (し)にくきや (頑張ら)にや

3. 8 已然形

(1) 已然形-一般

下記以外の已然形

(2) 已然形-補助

文語形容詞の補助活用

3. 9 命令形

【例】 ください 食べろ 来 (文語動詞「来」) まし (助動詞「ます」)

表 2. 3 活用形一覧

語幹-サ	終止形-一般
語幹-一般	終止形-○音便
未然形-一般	終止形-融合
未然形-サ	終止形-補助
未然形-セ	連体形-一般
未然形-撥音便	連体形-○音便
未然形-補助	連体形-省略
意志推量形	連体形-補助
連用形-一般	仮定形-一般
連用形-○音便	仮定形-融合
連用形-融合	已然形-一般
連用形-省略	已然形-補助
連用形-ト	命令形
連用形-ニ	ク語法
連用形-補助	

IV 付加情報付与基準 Version 1.0

ここでは、語彙素読み・語彙素、品詞の付与基準について述べる。

以下、説明の中で短単位の語彙素読み・語彙素、品詞について言及することがあるが、それらの詳細については、本書下巻を参照。

第1 語彙素読み・語彙素付与の基準

長単位の解析は、短単位解析結果を基に長単位を自動構成する解析器を用いて行う。この長単位の自動構成では、例えば「|自然|言語|」という二つの短単位から「自然言語」という長単位を自動構成する（長単位境界を自動認定する）だけでなく、語彙素（「自然言語」）・語彙素読み（「シゼンゲンゴ」）・品詞（名詞-普通名詞-一般）等、長単位の付加情報も短単位が持つ語彙素読み・語彙素、品詞等の付加情報から自動構成する。

語彙素読み・語彙素の自動構成については、例えば「自然言語」のように構成要素となる短単位が非活用語で、それらが結合する際に連濁等の語形変化を伴わないのであれば、図2.1に示すように短単位の語彙素読み・語彙素を単純に結合させることによって、長単位の語彙素読み・語彙素を得ることができる。

短単位 語彙素読み	短単位 語彙素	長単位語彙素読み	長単位語彙素
シゼン	自然	シゼンゲンゴ	自然言語
ゲンゴ	言語		

図2.1 長単位「自然言語」の構成

しかし、単純に短単位の語彙素読み・語彙素を結合させるという方法では、長単位の語彙素読み・語彙素を正しく構成できない場合がある。その例を図2.2に挙げる。

短単位 語彙素	短単位 語彙素読み	長単位語彙素読み	長単位語彙素
① ウィンドウズXP			
ウインドー	ウインドー	ウインドーエックスピー	ウンドーXP
エックスピー	XP		
② 振り込め詐欺			
フリコム	振り込む	フリコムサギ	振り込む詐欺
サギ	詐欺		
③ 欧州連合			
オウシュウ	オウシュウ	オウシュウレンゴウ	オウシュウ連合
レンゴウ	連合		

図2.2 問題のある長単位語彙素読み・語彙素みの構成例

①は、長単位の語彙素読み・語彙素としては、「ウンドー【ウンドー】エックスピー【ウンドウズXP】」¹¹となるのが正しい。しかし、短単位「ウンドー【ウンドー】」の語彙素読み・語彙素が「ウンドー【ウンドー】」であるため、短単位の語彙素読み・語彙素を結合させても正しい長単位の語彙素読み・語彙素は構成されない。このような問題は、「チュウイブカイ【注意深い】」のように、短単位どうしが結合する際に連濁を生じるものでも起こる。

11 語彙素・語彙素読みを併記する場合は、語彙素に【】を付ける。

②は、長単位の語彙素読み・語彙素を正しく構成するためには、終止形の形を取っている語彙素読み・語彙素ではなく、命令形の語形「フリコメ」と表記「振り込め」を自動構成に用いる必要がある。

③は、短単位では地名の語彙素が片仮名となっていることに起因するものである。「欧洲」は書字形として登録されているので、長単位の語彙素の構成には書字形を用いる必要がある。

このような問題を解決するために、長単位の語彙素読み・語彙素の構成に当たって、短単位の語彙素読み・語彙素ではなく、UniDicで言うところの「語形」「書字形」の層の情報を利用することとした。

我々は、BCCWJの形態論情報付与作業を効率的に行うために、形態素解析用辞書UniDicの基となる階層化された辞書見出しとコーパスを格納する「形態論情報データベース」を構築し、運用している¹²。コーパス（短単位解析結果）は、このデータベース内で辞書見出しを活用展開させたテーブル「語彙表」と関連付けられている。長単位の語彙素読み・語彙素の構成に当たっては、この「語彙表」の以下に挙げる情報を利用することとした。

- 語形 : 語形の語頭・語末変化及び活用展開後の形式
 語形基本形 : 語形の終止形（活用語のみ）
 語形代表表記 : 語形の語頭・語末変化後の形式の代表表記。活用語の場合、語形基本形の代表表記（終止形）
 語形代表表記出現形 : 活用語における語形代表表記の活用展開後の形式

形容詞「深い」を例に概略を説明する。形容詞「深い」は、次の図2.3のように語形や書字形が展開される。

語彙素	語形	語頭変化形	語末変化形	活用形	出現書字形
フカイ 【深い】	フカイ	フカイ	フカイ	フカク（連用形）	深く
				ふかく	
		ブカイ	ブカイ	フカイ（終止形）	深い
				ふかい	
	ブカイ	ブカイ	ブカイ	：	：
				ブカク（連用形）	深く
				ぶかく	
				ブカイ（終止形）	深い
				ぶかい	
				：	：

図2.3 形容詞「深い」の語形・書字形の展開例

長単位の語彙素読みを構成する際には、語形「フカイ」と語頭変化形「ブカイ」を連用形等の各活用形に展開させたものを利用することとした。

また、UniDicでは「語形」の下に登録された各書字形に対して、「代表表記」という属性を付与している。この属性が付与されるのは、基本的に語彙素と表記が同じ書字形である。「深い」の語形「フカイ」「ブカイ」の代表表記は、どちらも「深い」である。長単位の語彙素を構成する際には、この代表表記「深い」の終止形や各活用形に展開させたものを利用することとした。

語形・語形代表表記等を利用して長単位の語彙素読み・語彙素を構成するための、基本的な方針を整理して示すと、次のようになる。

12 「形態論情報データベース」については、小木曾智信・中村壮範（2011）を参照。

方針 1 語彙素読み・語彙素は短単位の語形とその代表表記を基に構成する。

先に挙げた「注意深い」について言えば、語形「ブカイ」を用いることで、連濁形の「チュウイブカイ」という語彙素読みが構成される。また語彙素は、「ブカイ」の代表表記「深い」を基に「注意深い」となる。

方針 2 語の末尾以外の活用語は出現した活用形を基に語彙素読み・語彙素を構成する。

命令形「フリコメ（振り込め）」を長単位の語彙素読み・語彙素の構成に用いることができるようになるため、「フリコメサギ【振り込め詐欺】」という正しい語彙素読み・語彙素が得られる。

方針 3 固有名詞- {人名、地名} は出現書字形を基に語彙素を構成する。

出現書字形「欧洲」を長単位の語彙素の構成に用いることができるようになるため、「欧洲連合」という正しい語彙素が得られる。

以上のような方針を取ることで、図2.2に挙げた「ウインドウズXP」「振り込め詐欺」「欧洲連合」の語彙素読み・語彙素が正しく構成されるようになる。しかしその一方で、次のような問題が生じることとなる。

本来、語形や表記が異なっても同じ語であれば、同じ語彙素読み・語彙素が与えられる。短単位を例に取ると、「あんまり」と「あまり」には「アマリ【余り】」という語彙素読み・語彙素が、「コンピューター」と「コンピュータ」には「コンピューター【コンピューター】」という語彙素読み・語彙素が与えられる。これにより、「あんまり」と「あまり」、「コンピューター」と「コンピュータ」はそれぞれ同じ語の異語形として扱われる。

しかし、長単位の語彙素読み・語彙素を構成するに当たって、上記の方針に示したように短単位の語形を利用すると、短単位では同じ語の異語形として扱わっていたものが、長単位では別語として扱われることになる。（図2.4参照）

短単位 語彙素読み・語彙素	短単位語形	長単位語彙素読み・語彙素
①余り		
アマリ【余り】	アマリ	アマリ【余り】
	アンマリ	アンマリ【余り】
②コンピューター		
コンピューター 【コンピューター】	コンピューター	コンピューター 【コンピューター】
	コンピュータ	コンピュータ 【コンピュータ】

図2.4 短単位語形に基づく長単位語彙素の構成例

なお、「スイート」と「スィート」、「アドバイス」と「アドバイス」のように書字形は異なるが語形が同一の場合は、短単位の語形に基づき「スイート」「アドバイス」を語彙素読みとするため、同じ語彙素の下にまとめられる。

また、複数の短単位から構成される長単位についても、構成要素となる短単位が複数の語形を持つ場合、その語形の違いが語彙素読み・語彙素に反映されるため、別語として扱われるものが出てくる。図2.5に挙げた「コンピューターシステム」がその例である。元々の語彙素の設計方針から言えば、「コンピューターシステム」と「コンピューターシステム」は、同じ語の異語形として扱われるべきものである。それが別語として扱われることになる。

短単位と長単位とで、同語としてまとめ上げる範囲に違いが生じることは、望ましいこととは言えない。しかし、短単位を基に長単位を自動構成するという手法を取る以上、現時点では、長単位では上記のような語彙素読み・語彙素とせざるを得ないのも、また事実である。長単位において短単位と同様の語彙素読み・語彙素を実現するのは、今後の課題としたい。

短単位 語彙素読み・語彙素	短単位語形	長単位語彙素読み・語彙素
コンピューター 【コンピューター】	コンピューター	コンピューターシステム 【コンピューターシステム】
システム 【システム】	システム	
コンピューター 【コンピューター】	コンピュータ	コンピュータシステム 【コンピュータシステム】
システム 【システム】	システム	

図 2. 5 短単位語形に基づく「コンピューターシステム」の語彙素の構成例

なお、長単位の語彙素については、短単位の補助記号・記号もその構成要素となる。しかし、補助記号・記号は語彙素読みを持たないため、長単位の語彙素読みに補助記号・記号が反映されることはない。

このようなことから、同じ語彙素読みであっても、補助記号・記号の有無や種類の違いによって語彙素が異なる、つまり別語として扱われるものがある。(図 2. 6 参照)

出現形	長単位語彙素読み	長単位語彙素
維持向上	イジコウジョウ	維持向上
維持・向上	イジコウジョウ	維持・向上
十一十二月期	ジュウジュウニガツキ	十一十二月期
十～十二月期	ジュウジュウニガツキ	十～十二月期

図 2. 6 補助記号・記号を含む長単位語彙素の構成例

以下、短単位の語彙素読み・語彙素から長単位の語彙素読み・語彙素を構成するための規定を示す。

《 凡 例 》

- 長単位の語彙素読み・語彙素の構成に用いる短単位の情報を示す場合、冒頭に「短」を付す。
- 長単位の語彙素読み・語彙素とそれを構成するのに用いる短単位の各種情報を以下のように示す。

【例】	出現書字形	やっぱり
	短) 語彙素	矢張り
	短) 語彙素読み	ヤハリ
	短) 語形	ヤッパリ
	短) 語形代表表記	矢っ張り

出現書字形	時間貸し駐車場
短) 語彙素	貸す
短) 語彙素読み	カス
短) 語形	ガシ
短) 語形代表表記	貸し

出現書字形 男っぽく
短) 語彙素 ぽい
短) 語彙素読み ポイ
短) 語形 ッポク
短) 語形基本形 ッポイ
短) 語形代表表記 っぽい

3. 品詞名について、「形状詞」「普通名詞-副詞可能」「固有名詞-一般」「人名-一般」「人名-姓」のように適宜略称を用いる

1 語彙素読み

語彙素読みの構成に関する規定を以下に示す。

1. 1 長単位の語彙素読みは、構成要素となる短単位の語形を基に構成する。

【例】 言葉 語彙素読み：コトバ
短) 言葉 語形：コトバ

ヴァラエティ 語彙素読み：バラエティ
短) ヴァラエティ 語形：バラエティ

日経 N E T W O R K 語彙素読み：ニッケイネットワーク
短) 日経 語形：ニッケイ
N E T W O R K 語形：ネットワーク

風土記 語彙素読み：フドキ
短) 風土 語形：フド
記 語形：キ

聖路加国際病院 語彙素読み：セイロカコクサイビョウイン
短) 聖 語形：セイ
路加 語形：ロカ
国際 語形：コクサイ
病院 語形：ビョウイン

安倍晴明 語彙素読み：アベノセイメイ
短) 安倍 語形：アベノ
晴明 語形：セイメイ

1. 2 活用する短単位を構成要素に含む場合、その長単位内の位置によって次のように語彙素読みを構成する。

(1) 長単位の末尾にある場合は語形基本形を基に語彙素読みを構成する。

【例】 お会いし 語彙素読み：オアイスル
短) お 語形：オ
会い 語形：アイ
し 語形基本形：スル

(2) 長単位の末尾以外にある場合は語形を基に語彙素読みを構成する。

【例】 時間貸し駐車場 語彙素読み：ジカンガシチュウシャジョウ
短) 時間 語形：ジカン
貸し 語形：ガシ
駐車 語形：チュウシャ
場 語形：ジョウ

1. 3 語形がない短単位を構成要素に含む場合、原則として、その短単位を無視して語彙素読みを構成する。

【例】 M/T 語彙素読み：エムティー
短) M 語形：エム
/ 語形：(なし)
T 語形：ティー

九州・沖縄各県 語彙素読み：キュウシュウオキナワカクエン
短) 九州 語形：キュウシュウ
・ 語形：(なし)
沖縄 語形：オキナワ
各県 語形：カクエン

(財) 家計経済研究所 語彙素読み：カケイケイザイケンキュウショ
短) (財) 語形：(なし)
家計 語形：カケイ
経済 語形：ケイザイ
研究 語形：ケンキュウ
所 語形：ショ

※ web誤脱は、語形がない短単位として扱う。

※ 補助記号-{括弧開、括弧閉}を構成要素に含む場合の例外規定を補則1に示す。

※ 固有名の名を表す部分が伏せ字化されているものについての例外規定を補則2に示す。

2 語彙素

語彙素の構成に関する規定を以下に示す。

2. 1 長単位の語彙素は、構成要素となる短単位の語形代表表記を基に構成する。

【例】 言葉 語彙素：言葉
短) 言葉 語形代表表記：言葉

やっぱり 語彙素：矢張り
短) やっぱり 語形代表表記：矢張り

真っ暗闇 語彙素：真っ暗闇
短) 真っ 語形代表表記：真っ
暗闇 語形代表表記：暗闇

シックスシグマ	語彙素：シックス σ
短) シックス	語形代表表記：シックス
シグマ	語形代表表記：σ

2. 2 活用する短単位を構成要素に含む場合、その長単位内の位置によって次のように語彙素を構成する。

(1) 長単位の末尾にある場合は語形代表表記を基に語彙素を構成する。

【例】 お勧めでき	語彙素：御勧め出来る
短) お	語形代表表記：御
勧め	語形代表表記出現形：勧め
でき	語形代表表記：出来る

(2) 長単位の末尾以外にある場合は語形代表表記出現形を基に語彙素を構成する。

【例】 時間貸し駐車場	語彙素：時間貸し駐車場
短) 時間	語形代表表記：時間
貸し	語形代表表記出現形：貸し
駐車	語形代表表記：駐車
場	語形代表表記：場

2. 3 補助記号を構成要素に含む場合、原則として補助記号を含めて語彙素を構成する。

【例】 巨人一阪神戦	語彙素：巨人一阪神戦
サッカー・キリンチャレンジカップ	語彙素：サッカー・キリンチャレンジカップ
劇団☆新感線	語彙素：劇団☆新感線

※ 補助記号- {括弧開、括弧閉} を構成要素に含む場合の例外に関する規定を補則1に示す。

2. 4 固有名詞-地名、固有名詞-人名を構成要素に含む場合、当該部分は出現書字形を基に語彙素を組み上げる。

【例】 東京都	語彙素：東京都
短) 東京	出現書字形：東京
都	語形代表表記：都
あいち防災カレッジ	語彙素：あいち防災カレッジ
短) あいち	出現書字形：あいち
防災	語形代表表記：防災
カレッジ	語形代表表記：カレッジ
欧洲連合	語彙素：欧洲連合
短) 欧州	出現書字形：欧洲
連合	語形代表表記：連合
聖路加国際病院	語彙素：聖路加国際病院
短) 聖	語形代表表記：聖
路加	出現書字形：路加
国際	語形代表表記：国際
病院	語形代表表記：病院

バナード・リーチ	語彙素：バナード・リーチ
短) バナード	出現書字形：バナード
・	語形代表表記：・
リーチ	出現書字形：リーチ
さつまいもパイ	語彙素：さつま芋パイ
短) さつま	出現書字形：さつま
いも	語形代表表記：芋
パイ	語形代表表記：パイ
アカエゾマツ	語彙素：赤エゾ松
短) アカ	語形代表表記：赤
エゾ	出現書字形：エゾ
マツ	語形代表表記：松
あきたこまち	語彙素：あきた小町
短) あきた	出現書字形：あきた
こまち	語形代表表記：小町
神戸入りし	語彙素：神戸入りする
短) 神戸	出現書字形：神戸
入り	語形代表表記：入り
し	語形代表表記：する

2.5 固有名詞-一般が構成要素に含まれる場合は、規定2.1を適用し、構成要素となる短単位の語形代表表記を基に語彙素を構成する。

【例】 Y a h o o 揭示板	語彙素：ヤフー掲示板
短) Y a h o o	語形代表表記：ヤフー
掲示	語形代表表記：掲示
板	語形代表表記：板

2.6 サ変動詞「する」、文語サ変動詞「す」の語形代表表記「為る」「為」は「する」「す」に置き換える。これを含む複合動詞も同様に扱う。

【例】 活動する	語彙素：活動する
短) 活動	語形代表表記：活動
する	語形代表表記：する

補則1 補助記号- {括弧開, 括弧閉} を構成要素に含む場合の扱い

補助記号- {括弧開, 括弧閉} を構成要素に含む場合は、括弧でくくられた語句の内容に従い、以下のように長単位の語彙素読み・語彙素を付与する。

1 語彙素読み

(1) 文中に括弧がある場合及び括弧でくくられた語句が文脈を補う場合は、括弧を除いた形を長単位の語彙素読みとする。

【例】	「告白」する	語彙素読み：コクハクスル
短)	「	<u>語形：(なし)</u>
	告白	語形：コクハク
	」	<u>語形：(なし)</u>
	する	語形基本形：スル

(2) 括弧でくくられている語句がその前の部分と並列関係にある場合は、括弧を除いた形を長単位の語彙素読みとする。

【例】	肉ばさみ (重ね) パン	語彙素読み：ニクバサミガサネパン
短)	肉ばさみ	語形：ニクバサミ
	(<u>語形：(なし)</u>
	重ね	語形：ガサネ
)	<u>語形：(なし)</u>
	パン	語形：パン

(3) 注釈的要素が括弧でくくられている場合は、括弧を除いた形を長単位の語彙素読みとする。

【例】	列車集中制御装置 (C T C) 化等	語彙素読み：レッシャシュウチュウセイギョソウチシーティーシーカトウ
短)	列車	語形：レッシャ
	集中	語形：シュウチュウ
	制御	語形：セイギョ
	装置	語形：ソウチ
	(<u>語形：(なし)</u>
	C T C	語形：シーティーシー
)	<u>語形：(なし)</u>
	化	語形：カ
	等	語形：トウ

(4) 読み仮名が括弧でくくられている場合は、括弧及び括弧にくくられた読み仮名を除いた形を長単位の語彙素読みとする。

【例】	萎縮 (いしゅく) する	語彙素読み：イシュクスル
短)	萎縮	語形：イシュク
	(<u>語形：(なし)</u>
	いしゅく	<u>語形：イシュク</u>
)	<u>語形：(なし)</u>
	する	語形基本形：スル

(5) 以下のようなものは語として扱い、語彙素読みを「カッコナイ」とする。

【例】 () 内 [] 内 () 内

2 語彙素

(1) 文中に括弧がある場合及び括弧でくくられた語句が文脈を補う場合は、括弧を除いた形に基づいて、長単位の語彙素を付与する。

【例】 「時間稼ぎ」できる → 語彙素：時間稼ぎ出来る

(2) 括弧でくくられている語句がその前の部分と並列関係にある場合は、括弧を除いた

形に基づいて、長単位の語彙素を付与する。

【例】 肉ばさみ（重ね）パン → 語彙素：肉挟み重ねパン

(3) 注釈的要素が括弧でくくられている場合は、括弧を除いた形に基づいて、長単位の語彙素を付与する。

【例】 列車集中制御装置（C T C）化等
→ 語彙素：列車集中制御装置 C T C 化等

(4) 読み仮名が括弧でくくられている場合は、括弧及び括弧にくくられた読み仮名を除いた形に基づいて、長単位の語彙素を付与する。

【例】 萎縮（いしゅく）する → 語彙素：萎縮する

(5) 以下のようなものは語として扱い、語彙素を「括弧内」とする。

【例】 () 内 [] 内 () 内

補則2 伏せ字を含む固有名の扱い

固有名の名を表す部分が補助記号で伏せ字化されている場合、語彙素読みに補助記号を補う。

【例】 ○○ちゃん 語彙素読み：○○チャン
短) ○ 語形：(なし)
○ 語形：(なし)
ちゃん 語形：チャン

補則3 複合辞・連語の語彙素読み・語彙素

(1) 語彙素読み

複合辞・連語の語彙素読みは、付属語と同様に、同一語の活用変化・ゆれ・省略・融合・補助記号の有無等によって生じた異なる形態をグループ化するものとする。

グループ化の範囲には短単位で同語彙素別語形とされる可能形を含む。

【例】 | わかりにくく | て | すいません | 。 | 語彙素読み：スミマセン
| そん | で | 、 | 帰っ | て | 来 | て | から | 語彙素読み：ソレデ
| だけ | ど | 全然 | 大丈夫 | ^ ^ | 語彙素読み：ダケレド
| 次 | の | 世代 | に | 引き継い | でいける | 語彙素読み：テイク
| 別 | の | 葛藤 | が | 起こる | んじやない | か | 語彙素読み：ノデハナイ
| 文部科学省 | においちや | 語彙素読み：ニオイテ
| 替え | なければならず | 、 | 語彙素読み：ナケレバナラナイ

(2) 語彙素

複合辞の語彙素は原則として語彙素読みの平仮名表記とする。ただし、日本語能力試験1・2級の〈機能語〉の類のリスト等を参考に、短単位の語彙素に基づき、語彙素を付与することがある。

連語については、構成要素となる短単位の語形代表表記を基に組み上げる。

(3) 異形態

「かもしれない」「ざるを得ない」等に対応する文語的表現「かもしれない」「ざるを得ず」等は、「かもしれない」等の異形態として扱う。また、連語のうち「何と」については、「何て」を異形態として認めた。(表2.4参照)

表 2. 4 複合辞・連語の異形態とその語彙素読み・語彙素

語彙素	語彙素読み	異形態	品詞
かもしれない	カモシレナイ	カモシレズ	助動詞
ざるを得ない	ザルヲエナイ	ザルヲエズ	助動詞
ずにはいられない	ズニハイラレナイ	ズニハイラレズ	助動詞
てたまらない	テタマラナイ	テタマラズ	助動詞
てならない	テナラナイ	テナラズ	助動詞
てはいけない	テハイケナイ	テハイケズ	助動詞
てはならない	テハナラナイ	テナラズ	助動詞
ないではいられない	ナイデハイラレナイ	テイデハイラレズ	助動詞
なくてはならない	ナクテハナラナイ	ナクテハナラズ	助動詞
なければならない	ナケレバナラナイ	ナケレバナラズ	助動詞
に過ぎない	ニスギナイ	ニスギズ	助動詞
にほかならない	ニホカナラナイ	ニホカナラズ	助動詞
ねばならない	ネバナラナイ	ネバナラズ	助動詞
わけにはいかない	ワケニハイカナイ	ワケニハイカズ	助動詞
何と	ナント	ナンテ	副詞

第2 品詞付与基準

長単位のうち短単位と境界が一致しているものの品詞は、原則として短単位の品詞と同じ品詞とする。また、長単位が複数短単位から構成される場合は、原則として構成要素の末尾に位置する短単位の品詞に基づいて長単位の品詞を付与する。以下に例を示す。

【例】 第1章 (名詞-普通名詞-一般)

短) 第 接頭辞
1 名詞-数詞
章 名詞-普通名詞-一般

相反する (動詞-一般)

短) 相 接頭辞
反する 動詞-一般

しかし、単独の短単位から成る長単位であっても、短単位の品詞をそのまま長単位の品詞にできない場合がある。また、複数の短単位から成る長単位においても、単純に構成要素末尾にある短単位に基づいて品詞等の情報を付与できないものがある。以下、それらについて品詞付与の基準を示す。なお、品詞名について、「形状詞」「普通名詞-副詞可能」「固有名詞-一般」「人名-一般」「人名-姓」のように適宜略称を用いることがある。

1 「名詞-普通名詞-○○可能」を構成要素末尾等に持つ長単位の品詞

短単位の普通名詞のうち、形状詞や副詞等としても使われ得る語には、「名詞-普通名詞-形状詞可能」「名詞-普通名詞-副詞可能」という曖昧性を持たせた品詞を与えていた。これに対して、長単位では「名詞-普通名詞-○○可能」といった曖昧性を持たせた品詞は設けず、実際の文脈において名詞として使われているのか、形状詞として使われているのかなどを判断し、それに基づいて品詞を付与することとした。

そのため、「名詞-普通名詞-○○可能」の短単位1語から成る長単位や、「名詞-普通名詞-○○可能」の短単位を構成要素末尾に持つ長単位について、どのような基準によって品詞を判定するのかが問題となる。そこで、品詞の判定基準を以下のとおり定めた。

なお、「名詞-普通名詞-助数詞可能」については、規定5.2を参照。

1.1 短単位1語から成る長単位

短単位1語から成る長単位については、短単位に付与された「用法」に従って、名詞・副詞・形状詞のいずれかを付与する。短単位の用法については、下巻・Ⅲ「付加情報」の第4「用法に関する情報の概要」を参照。

1.2 複数の短単位から成る長単位

複数の短単位から成る長単位のうち、その末尾に「名詞-普通名詞-○○可能」が位置するものは、次に示す基準により品詞の判定を行う。

1.2.1 名詞-普通名詞-サ変 (形状詞) 可能

サ変動詞「する」が直接していないものは名詞とする。以下、名詞とするもののうち、特に注意を要するものを以下に挙げる。

(1) サ行変格活用動詞の構成要素と同格関係にあるが、文節を超えているもの

【例】 産業技術は時代とともに高度化、システム化、総合化し続ける。

(2) 特に名詞と認め得るもの

【例】 2回を投げて1安打 2三振 1四球。

なお、名詞-普通名詞-サ変形状詞可能を構成要素の末尾に持つ長単位は、規定1.2.3によって名詞か形状詞かの判定を行う。

1. 2. 2 名詞-普通名詞-副詞可能

名詞-普通名詞-副詞可能を構成要素の末尾に持つ長単位の品詞（名詞・副詞）の判定基準は、以下のとおりとする。

1. 2. 2. 1 副詞

以下のいずれかに該当する場合は副詞とする。

(1) 単独で連用修飾成分になっているもの

【例】 C O P 3 以降開催された

十一月初め、機材の一部を撤収させようとしたK E D Oの動きを北朝鮮が阻止、

しかしこれは事実上不可能であった。

青さゆえ空もポプラの場所忘れ

※ ただし、文節の一部のみが連用修飾成分になっている場合（記号が長単位冒頭にある場合等を除く。）は名詞とする。

【例】 同日午前0時ごろ「もう寝よう」と真奈美さんを寝室に連れて行き、

一千九百九十五（平成7）年以降、都市部を中心に増加に転じており、

(2) 副助詞・係助詞・接続助詞が後接して、連用修飾成分になっているもの（「まで」は除く。）

【例】 テープが一時間ぶんくらい残ってる

(3) 他の副詞や連体詞を修飾しているもの

【例】 カンヌ史上初めて公式審査員の会見が開かれ

(4) 述語となる名詞を修飾しているもの

【例】 前回は、前々回九十三年の五十一.四三%から一気に十ポイント以上低下。

各年とも5月1日現在の値。

藤瀬さんは事件当日夜、松江被告も出入りしていた武雄市のスナックで飲食。

(5) 副詞と認め得るもの

【例】 いくら一生懸命働いても給料は同じ、チップもない。

前年同様、アジア地域が6割を超え、

1. 2. 2. 2 名詞

上記1.2.2.1に該当しないものは名詞とする。名詞とするもののうち、特に注意を要するものを、以下に挙げる。

(1) 文末に用いられているもの。単独で文・見出し・箇条書き等になっているもの

【例】 パキスタン当局が墜落原因を調査中。

（黒野-本揖斐間）

①通信速度は光ファイバー以上②回線の使用料金が不要

(2) 連体修飾を受けているもの

【例】 着るもの、学ぶ知識、学校の登校と下校時間、そして学校や家庭生活のすみずみにいたるまで、

※ ただし、連体修飾を受けていても、長単位全体で運用修飾句として働いている場合は副詞とする。

【例】 昭和三十八年のO E C D 加盟以来、その活動に参加してきている。

(3) 数を表す要素に直接係っているもの

【例】 金利引き下げは今年三回目で、下げ幅は三ヵ月間で計一. 五%。

一日に一キロ当たり一万七千人以上の輸送があり

延長前半2分

アルコール分0. 1%未満

(4) 格助詞が後接しているもの。当該の長単位と並列の関係にある語句（文節を越えるものを含む）に格助詞が後接しているもの

【例】 災害時における企業活動の重要性が再認識された。

平常時・災害時を通じて土砂災害関連情報を住民と行政機関が相互通報するシステム

仲間うち、価値観の同じ人とは話せても、

(5) 助動詞が後接しているもの

【例】 介護中なので料理から目を離せて助かる

天才性はもしかしたら手塚治虫さん以上かもしれません

(6) 前後の体言と同格関係にあるもの（読点をはさんでいる等、対応するものが複数文節であっても同格関係を認める。）

【例】 岩田慶治氏ほか民俗研究者が

噴火から一週間後、十一月二十一日。

(7) 名詞と認め得るもの

【例】 F I F A臨時総会 W杯直前ソウルで

1. 2. 3. 名詞-普通名詞-（サ変）形状詞可能

名詞-普通名詞-（サ変）形状詞可能を構成要素の末尾に持つ長単位の品詞（名詞・形状詞）の判定基準は、以下のとおりとする。

1. 2. 3. 1 形状詞

以下のいずれかに該当する場合は形状詞とする。

(1) 助動詞「だ」の連体形「な」を伴って連体修飾しているもの

【例】 インクルーシブでバリアフリーな、かつ権利に基づく社会に向けた行動安全かつ円滑・快適な道路交通環境の整備を図るため、

(2) 助動詞「だ」の連用形「に」「で」を伴って連用修飾しているもの

【例】 魚は魚として一生懸命に生きているのだから、
仕事や家事、学業などに精一杯で時間のゆとりがありませんか。

(3) 助動詞「だ」の連用形「で」を伴い、前後の語の連体形と並列する形で連体修飾しているもの

【例】 バリアフリーで快適な歩行空間の整備

合理的で選択の自由を感じられるサービスの提供に取り組む動きがでてきて
いる。

(4) 形状詞の構成要素と並列・同格関係にあるもの

【例】 目標に対して迅速・正確かつ柔軟に攻撃力を指向することが可能となる。
国内の森林所有構造が小規模、分散的であり、

(5) 形状詞と認め得るもの

【例】 君も、ずいぶんわからずやの、意地っ張りであったね。

高効率な発電ができるブレード形状を開発し、
皆さんがあなたが一番良くご存知なものは、

1. 2. 3. 2 名詞

上記1. 2. 3. 1に該当しないものは名詞とする。名詞とするもののうち、特に注意を要するものを、次に挙げる。

(1) 文末に用いられているもの。単独で文・見出し・箇条書き等になっているもの

【例】 質を評価するシステム必要

税・サービス料別。

(北朝鮮事情通)

二十日の消印有効。

(2) 主格・対格・与格に立っているもの。副助詞・係助詞が後接しているもの

【例】 電力危機においては送電網の未整備などインフラ不安に要因を求め、
核心不明も…経緯把握裏付け「世紀のナゾ」解明に期待
ドラマ低調続く

※ 長単位の末尾となる短単位の品詞が接尾辞-形状詞的、形状詞-一般の場合も、
主格・対格・与格に立っている場合は名詞とする。

【例】 通常の住宅会社は売りっぱなし、造りっぱなしが目立ちますし、
カジュアルベースの宝石付き時計プチゴージャスが人気

(3) 格助詞「と」が後接しているもの

【例】 負債総額は約二十六. 一兆円と過去最高となった。
集客ソフトとしての効果を期待した商業施設

(4) 数を表す要素が後接しているもの

【例】 3連体の水難事故死者・不明三十三人に

(5) 名詞と認め得るもの

【例】 B S デジタル

日曜ビッグ (T V Q = 後 7 · 0)

『ギランの記事イコール日本研究の貴重な資料』

〒810-8721 (住所不要) 西日本新聞社地域報道センター「都市探究」
係。

大型デジタルディスプレイ用のスーパークリーンのファシリティ等
人間の壮健・根気よさ・まじめの意にも使われる
強制わいせつの疑いで

1. 2. 3. 3 意味に余り差がなく、形状詞、名詞のどちらでもよい以下の例については、形状詞、名詞の優先順位で品詞を付与する。

(1) 助動詞「だ」「です」「である」「でない」「ではありません」「ではない」「でもある」が後接しているもの

【例】負担は公平公正（形状詞）でないと
在宅が二十二%に過ぎず、全国最低（形状詞）でした。
それがダブル・スタンダード（普通名詞-一般）ではなく、

(2) 助動詞「だ」「である」「でない」「ではない」「でもある」及びその派生形の連体形を伴って連体修飾しているもの

【例】国籍（地域）別では、韓国が、過去最高（形状詞）であった前年を

(3) 格助詞「の」が後接し、助動詞「だ」の連体形「な」に言い換え可能であるもの

【例】意味不明（形状詞）の問い合わせが担当者から入った。
絶好調（形状詞）のカブレラが打線をけん引。

※ 以下の例のように、「な」に言い換え不可能な場合は名詞とする。

【例】労働安全の観点からチェーンソー等の振動機械の性能測定を行う事業を実施した。

企業規模別の特性が現れている

1. 2. 4 その他

品詞の判定に当たって、次に該当する場合はそれぞれ以下のように扱う。

(1) 文脈を補う括弧等でくくられた要素（文節認定対象）は、括弧がない状態で品詞を判定する。

【例】（民主派が政権を握って以後）01, 02年と順調に改革が進んだが
→ 副詞

(2) 注釈を示す番号・記号を含む場合、番号・記号がない状態で品詞を判定する。

【例】六十六（同四十一）年以前に核爆発を行った国2以外の国の核兵器保有が禁じられるとともに → 「国以外」が名詞なので「国2以外」は名詞。

2 人名の扱い

人名に関わるものについては、以下の基準に従って品詞を付与する。

2. 1 特定の個人の名前（姓、名、姓名、通称等）を指し示しているものは人名とし、以下のように品詞を付与する。

(1) 構成要素に人名- {姓、名、一般} を含むもの

【例】
[人名-姓] 田中外相 伊佐坂先生

〔人名-名〕 たけしくん 将軍家光

〔人名-一般〕 さっちゃん ウッチャン ほりえもん 橋龍
サマランチ名誉会長 昭和天皇 ガツツ石松
魔法つかいサウード 笑福亭鶴笑氏 張学良
ロベルトカルロス イッセー尾形さん
高橋チンチージャ慶子さん アウン・サン・スー・チー女史
S・K・ホ 玉ノ海梅吉
神戸・三浦知

※ 複数の人名を並列したものは普通名詞とする。規定2. 2. 2を参照。

※ 人名由来のペット名も人名として扱い、人名-一般とする。

(2) 構成要素に人名- {姓, 名, 一般} を含まないもの

【例】

〔人名-一般〕 織姫 s (人名-一般) 积妙偉信女 (人名-一般)

2. 1. 1 神仏名のうち、日本神話、仏教、ギリシャ・ローマ神話関連の神、キリスト教関連の天使、人間由来の神・仏・聖人の名は人名-一般とする。

【例】 伊弊諾尊 観音菩薩 雷神ゼウス イエス様

※ 日本神話、仏教、ギリシャ・ローマ神話、キリスト教以外の神仏名は固有名詞-一般とする。規定4. 1. 4を参照。

2. 1. 2 グループ名のうち、構成員の名前のみで構成され、「姓+姓」「名+名」「姓+名+名」等の形式を取るものは人名-一般とする。

【例】 おぎやはぎ 宮川大助花子

※ グループ名のうち、構成員の愛称の並列の形式をとるものは、人名の並列として扱い、普通名詞-一般とする。規定2. 2. 2を参照。

【例】 ウッチャンナンチャン

2. 2 構成要素に人名- {姓, 名, 一般} を含んでいても、長単位全体が特定の個人の名前(姓、名、姓名、通称等)を指し示していない場合は、人名として扱わない。

【例】 ノーベル賞 (名詞-普通名詞-一般)

長谷寺式十一面觀音 (名詞-普通名詞-一般)

シーガイア (名詞-有名詞-一般) トロワグロ風 (形状詞-一般)

武双山らしい (形容詞-一般)

2. 2. 1 役職名等は、個人が特定できたとしても普通名詞-一般とする。

【例】 江戸幕府第三代將軍

2. 2. 2 指し示す人物が明確でない場合や人名の並列は普通名詞-一般とする。

【例】 鈴木さんたち サザエさん一家 鷹司家 阿部一族 イギリス王室
大久保兄弟 三遊亭圓歌一門 鈴木・山田 ○○ちゃん
○○容疑者

3 地名の扱い

地名に関わるものについては、以下の基準に従って品詞を付与する。

3. 1 特定の国、行政区画及び地形等の名を表すものは地名とし、以下のように品詞を付与する。

【例】

〔地名-国〕 エジプト　モナコ公国　オーストリア　旧ソ連　統一ドイツ
古代ギリシア

〔地名-一般〕 東京都　現津島市　豊後竹田　スーダン西部　西日本
日本橋檜物町　ソルトレークシティ　イラク・サマワ
新疆ウイグル自治区　朝鮮半島　中国大陸　パラオ諸島
東シナ海　ヨルダン川西岸　オセアニア地域　北朝鮮地域
東北地方　尾張地方　シャルル・ドゴール空港　五日市街道
金日成広場

※ 歴史上の国家（都市国家を含む）、日本の旧国名、創作の国名は地名-一般とする。

【例】 アテナイ　インカ帝国　奥豊後

3. 2 構成要素に地名- {国、一般} を含んでいても、長単位全体として特定の国、行政区画及び地形等を指し示していない場合は、地名として扱わない。

【例】 上野市内（普通名詞-一般）　浦和レッズ（普通名詞-一般）
山陽新幹線（普通名詞-一般）　エジンバラ公（普通名詞-一般）
青山学院大（固有名詞-一般）
水戸黄門（人名-一般）　アジア的（形状詞-一般）
下北沢ぼい（形容詞-一般）　清水買いする（動詞-一般）

3. 2. 1 路線・航路・海路名、道路などの一部を構成する建造物、公園・競技場・動物園・牧場・寺社・古墳・遺跡・基地は地名としない。普通名詞-一般とする。

【例】 J R 山陽線　スエズ運河　徳山ダム　清水トンネル　本四連絡橋
コロール・バベルダオブ橋　駒沢球場　キトラ古墳　倉梯岡陵
岡城跡

3. 2. 2 指し示す国や場所等が明確でないものや地名の並列は、普通名詞-一般とする。

【例】 関東一帯　石見諸郡　バグダッド中心部　ロンドン郊外　道北全域
コソボ全土　アフガン周辺地域　シルクロード地域　全米各地域
近畿圏　九州地区　三陸沖　稲葉川沿い　揖斐川上流
木曽川流域　隅田川堤　神戸旧居留地　参院茨城選挙区
上野山・飛鳥山・御殿山　市川・浦安・船橋あたり　アジア太平洋地域

4 固有名の扱い

人名・地名以外の固有名の扱いについて述べる。

4. 1 以下の a ~ g の条件を満たす組織の名称は、固有名詞-一般とする。

a. 一定の目的（事業・サービスなど）の達成のために設立された集団

b. 恒常に設置された組織

【例】 日本銀行 極地研究所 早稲田大学 文部科学省 航空宇宙局

※ 以下のような、後から名付けられた名称で、会期制であるもの、「委員会」「審議会」「競技会」「会議」「大会」などは普通名詞-一般とする。

【例】 郵政族 カロリング朝 国会 衆議院 東京都議会

c. 制度や予算、目的等の観点から、上位組織からの独立性が強いもの。行政機関のうち府省庁院レベル、地方行政組織のうち都道府県庁レベル、公立学校を含む学校組織。明らかに法人格を伴う独立した組織。

【例】 国文学研究資料館 文化庁 日本学士院 立川市立第一小学校
都立三鷹高校 都清瀬 東北大学 NTTドコモ JR東日本
日本システムズ

※ 市区町村レベルの役所（場）は普通名詞-一般とする。

【例】 立川市役所 神田区役所 藤岡町役場

※ 官庁の建物、大使館の類は普通名詞-一般とする。

【例】 在ソウル大使館

※ ～部・～課・～学部・～学科などは普通名詞-一般とする。

【例】 河川局 砂防部 もったいない課 生活科学部 精密素材工学科
医学研究院

※ 全国に展開されるサービスを行う公共施設（裁判所、警察署、交番、消防署、公共職業安定所、郵便局、保険センター、保健所）は普通名詞-一般とする。

【例】 東京高裁 家裁八王子支部 佐賀地検 福岡県警 町見駐在所
市立函館保健所

※ 歴史上の行政機関及びそれに類するものは普通名詞-一般とする。

【例】 江戸幕府 南町奉行所 京都所司代

d. 入社することや加わることが可能な実態を持った組織。「連合」「連合会」「連盟」「組合」など。

【例】 国際連合 自由民主党

※ 「同盟」「共同体」「派閥」「政府」「暴力団（～会、～組）」などは普通名詞-一般とする。

【例】 コソボ民主同盟 欧州共同体 社青同解放派 イスラム過激派
アメリカ合衆国政府 明治政府 山口組五菱会

e. 施設としての性格が強くないもの。娯楽施設、宗教的施設・建造物、物や人を収容する施設、工場や発電所など何かを生産する場のいずれにも該当しないもの。

※ 「美術館」「図書館」「児童館」「裁判所」「神社」「寺」「教会」「墓地」「ホテル」「公園」「動物園」「植物園」「競技場」「劇場」「天文台」「ホール」「ドーム」「会議場」「式場」などの施設・設備は、普通名詞-一般とする。

【例】 東京国立博物館 未来情報産業研究館 近松記念館
東部コミュニティー図書館 桑名宗社 寛永寺 回向院

ノートルダム大聖堂 サンマルコ寺院 谷中墓地 福四万館
フォーシーズンズホテル椿山荘東京 ヨセミテ国立公園 大森八景園
信大自然教育園 オンネトー国設野営場 鳥羽水族館
富士急ハイランド 鈴木演芸場 東京文化会館
さいたまスーパーアリーナ つくば国際会議場 大垣市斎場
柏崎刈羽原発

f. 政治・公共・法人・国際組織など、公に広く知られた組織。「病院」、規模と知名度のある「百貨店」「スーパー・マーケット」など。略称、グループ名を含む。

【例】 (財) ベターリビング 医療法人恒進会

N P O 法人風連まちづくり観光 関西棋院 カカクコム
イーバンク銀行 イエローハット 伊藤園 木村屋総本店 テレ朝
東京大学出版会 銀座テーラー 国立がんセンター中央病院 伊勢丹
ウォルマート・ストアーズ 現代グループ 豪商・山崎屋

※ 「医院」「診療所」「クリニック」は普通名詞-一般とする。

【例】 用賀アーバンクリニック

※ 「事務所（建築・法律・会計等）」「工務店」「研究会」「調査会」などは、極めて有名で法人格のあるもの以外は普通名詞-一般とする。

【例】 岡部建築事務所 エコハウス研究会 金融調査会 日本脳外傷友の会
[参照] ジャニーズ事務所（固有名詞-一般）

※ サービス業の店舗名、支店名の付くものは普通名詞-一般とする。

【例】 ホーマックスーパー・デポ 伊勢丹新宿店 横浜高島屋

g. 個人や組織の集合としての性格が強くないもの。「学会」「党（政党）」「協会」「財団」「機関・機構・事業団・振興会」「組合」など。

【例】 カナモジカイ 旧社会党 コソボ作家協会 英国ウェルカム財団
核燃機構 金属鉱業事業団 国民健康保険中央会
在日本朝鮮人総連合会 日本労働弁護団 日本ペンクラブ
福岡県醤 油醸造協同組合

※ パフォーマンス（公演や競技など）を行うことを主体とした団体、「～隊」で表現されるグループ、「軍隊」「武装集団」「テロリスト集団」、スポーツ関連のリーグなどは普通名詞-一般とする。

【例】 阪神タイガース ダイエー球団 劇団M. O. P.
大阪センチュリー交響楽団 ボリショイサークス ジャニーズJ r.
アメリカK2登山隊 海兵隊 山岳警備隊 ロシア太平洋艦隊
アル・カイダ アルバニア系武装組織「民族解放軍」
アルアクサ殉教者団 ア・リーグ

※ 「委員会」「審議会」「協議会」「会議」「大会」「支援団」「基金」「族」「派」「集団」などは、極めて有名で法人格のあるもの以外は普通名詞-一般とする。

【例】 公害等調整委員会 国語審議会 高知県社会福祉協議会
アジア太平洋経済協力会議 高校総合体育大会 海軍輸送支援団
[参照] 社団法人情報通信技術委員会（固有名詞-一般）

※ 「センター」は原則として普通名詞-一般とする。ただし、aからgの条件に該

当する「センター」は、固有名詞-一般とする。

【例】

- | | | |
|--------|--------------|-----------------------|
| 〔普通名詞〕 | I モードメールセンター | 地域子育て支援センター |
| | 国民生活センター | 静岡県地震防災センター |
| | 柏原市女性センター | 室蘭文化センター |
| 〔固有名詞〕 | 大学入試センター | 農事組合法人「香川県鬼無植木盆栽センター」 |
| | 国立がんセンター | |

4. 1. 1 組織名とそれに関連する商品名が同じ場合は、固有名詞-一般とする。

【例】朝日新聞

4. 1. 2 人名・地名を含む組織名の略称には人名・地名と一致するものが多い。規定

4. 1 の a から g の条件を満たす組織の略称であることが文脈から判断できる場合は、固有名詞-一般とする。

【例】時事（時事通信） フジ（フジテレビ）

4. 1. 3 人名に由来しない動物・キャラクター等の名は固有名詞-一般とする。

【例】怪獣ゴジラ グラスワールド 二十めんそう

4. 1. 4 神仏名のうち、日本神話、仏教、ギリシャ・ローマ神話関連の神、キリスト教関連の天使、人間由来の神・仏・聖人の人としての名以外のものは、固有名詞-一般とする。

【例】笠山三宝荒神 邪靈アニト（フィリピン神話）
守護神・オシリス（エジプト神話）

4. 1. 5 船・飛行機名は固有名詞-一般とする。人名・地名に由来するものも同様に扱う。

【例】えひめ丸 戦艦大和 キティホーク ジョージ・ワシントン（空母）
よど号

4. 2 構成要素に固有名詞-一般を含んでいても、長単位全体として固有名を表さない場合は、固有名詞-一般としない。

【例】アルフィーグッズ（名詞-普通名詞-一般）
N T T 以外（名詞-普通名詞-一般） ループル中（名詞-普通名詞-一般）
N W 嫌い（形状詞-一般） 国連設立後（副詞）

4. 2. 1 民族・国民名、商品・ブランド名、芸術作品・新聞雑誌・番組名、言語名、王朝・時代名、流派・宗派・家系名、文明・文化名は、原則として普通名詞-一般とする。

【例】日本人 ヤミ族 クラウンマジェスタ ニコン F A
R I M プラックベリー シカゴ・トリビューン紙 週刊文春
日曜ビッグ 日本語 C 言語 高麗朝 平安時代 明治末期
二天一流 赤松家 京文化

ただし、短単位と境界が一致している長単位で、民族・国民名、商品・ブランド名、芸術作品・新聞雑誌・番組名、言語名、王朝・時代名、流派・宗派・家系名、文明・文化名を表す場合は、短単位の品詞を長単位の品詞とする。

【例】レクサス（固有名詞-一般） C a n C a m （固有名詞-一般）
エルメス（固有名詞-人名-一般） J a v a （普通名詞-一般）

4. 2. 2 指し示す対象が明確でない場合や固有名の並列は普通名詞-一般とする。
【例】 ○○病院 A F P 時事 松屋・松坂屋

4. 2. 3 構成要素に固有名詞-一般を含んでいても、規定4. 1から4. 2. 2により長単位全体として固有名詞-一般として扱われないものは、普通名詞-一般とする。

【例】 法隆寺

※ 短単位「法隆」は固有名詞-一般だが、寺社名なので規定4. 1のeにより普通名詞-一般とする。

※ 組織名とそれに関連する商品名が同じ場合の扱いについては、規定4. 1. 2を参照。

5 数詞の扱い

5. 1 数詞の範囲

(1) 次に示す短単位から構成されている長単位を数詞とする。

以下、「助数詞」とあるのは、普通名詞-助数詞可能のうち助数詞という用法を付与されたものである。

① 1個以上の数詞（位取りの読点・カンマ、小数点、分数の読み上げ類を含む）

【例】 一 五十五 四分（の）一 一. ○五

② 1個以上の数詞+助数詞

【例】 八期 十年 百メートル 数年 三十一日 六十一八十分

③ 1個以上の数詞+助数詞+接尾辞-名詞的-一般（目、振り、生）

【例】 三回目 二十一年振り 三年生

④ 接頭辞+1個以上の数詞

【例】 約四千 計二百 第二

⑤ 接頭辞+1個以上の数詞+助数詞

【例】 計三回 第一箇月 第一步 約二千通 翌四十九年

⑥ 接頭辞+1個以上の数詞+助数詞+接尾辞-名詞的-一般（目、振り、生）

【例】 第三回目

(2) 上記(1)以外の構成要素から成るものは、数詞としない。特に注意が必要なもの

を次に挙げる。

① 1個以上の数詞+接尾辞-名詞的-一般 → 名詞-普通名詞-一般

【例】 2位 3冠 5館

② 1個以上の数詞+名詞-普通名詞-一般 → 名詞-普通名詞-一般

【例】 十四年度 8拍 1箱

③ 1 個以上の数詞 + {名詞-普通名詞, 接尾辞-名詞的} - {副詞可能, 形状詞可能, サ変可能, サ変形状詞可能}

→ 規定 1. 2 に従い, 名詞・副詞・形状詞・動詞の判別を行う。

5. 2 名詞-普通名詞-助数詞可能の扱い

長単位では, 名詞-普通名詞-助数詞可能を設けない。名詞-普通名詞-助数詞可能のうち助数詞用法ではないものは, 名詞-普通名詞-一般を付与する。

※ 規定 5. 1 に示したように, 名詞-普通名詞-助数詞可能のうち助数詞用法のものは, 原則として数詞の構成要素となる。ただし, 空白・括弧等の挿入によって助数詞用法の名詞が単独で長単位となった場合は普通名詞-一般とする。

6 動詞・形容詞の扱い

長単位では, 動詞-非自立可能, 形容詞-非自立可能という品詞を設けない。

動詞-非自立可能, 形容詞-非自立可能の短単位が単独で長単位となる場合, 及び長単位の末尾に位置する場合, その長単位の品詞は, 動詞-一般, 形容詞-一般とする。

7 複合辞・連語の扱い

複合辞・連語は以下のように品詞を付与する。

7. 1 複合辞

複合辞の品詞については, コーパスでの用法のほか, 森田良行・松木正恵 (1989), 国立国語研究所 (2001) を参考にした。

助詞に関しては, 「という」のように格助詞と副助詞の働きをするものや, 「としても」のように接続助詞と係助詞の働きをするものがある。このように複数の用法がある場合, 格助詞とその他の働きを持つものは格助詞, 接続助詞とその他の働きを持つものは接続助詞とした。用法による品詞の判別は行わなかった。

7. 2 連語

連語の品詞付与に当たっては, コーパスでの用法のほか, 『岩波国語辞典』第6版 (岩波書店), 『日本国語大辞典』第2版 (小学館) を参考にした。連語を構成する末尾の短単位の品詞が {名詞-普通名詞, 接尾辞-名詞的} - {副詞可能, 形状詞可能, サ変可能, サ変形状詞可能} の場合は名詞・副詞・形状詞・動詞の判別を行う。(規定 1. 2 参照)

8 接尾辞の扱い

(1) 接尾辞-○○的

接尾辞- {形状詞的, 形容詞的, 動詞的} が長単位の末尾に位置する場合, その長単位の品詞は, 形状詞-一般, 形容詞-一般, 動詞-一般とする。長単位認定規程の規定 4. 10 によってこれらの接尾辞が切り離された場合には, 短単位の品詞を付与する。

(2) 接尾辞-名詞的-○○可能

長単位では, 接尾辞-名詞的- {副詞可能, 形状詞可能, サ変可能, サ変形状詞可能} を設けない。接尾辞-名詞的- {副詞可能, 形状詞可能, サ変可能, サ変形状詞可能} が長単位の末尾に位置する場合, その長単位の品詞は規定 1 に従い, 名詞・形状詞

・副詞・動詞の判別を行う。長単位認定規程の規定4.10によってこれらの接尾辞が切り離された場合には、接尾辞-名詞的-一般を付与する。

9 その他

構成要素の末尾となる短単位の品詞に基づくことなく、文脈に応じて例外的に長単位の品詞を決定する場合がある。代表的な例を以下に挙げる。

(1) 副詞

【例】 手術後の経過は比較的、順調だった。
その仕事をコツコツと一生懸命とりくんできました。
日本人同様、ブランド物が好きなイタリア人さえ、
苦痛にアッと顔をしかめた志津は、それなり右腕がまるで上がらなくなっているのに気付いた。
宇宙に長期間滞在するという、人類にとって未知の経験を想像し、
入れ替わり立ち替わりやってくる人達と仕事の話をしていく
精いっぱい貢献したいという人にとっては

(2) 形状詞

【例】 “これぞめちゃ♥モテ”なワンピは、
旧態依然なビジネスモデルに安住するソフト流通業者を
引っ込み思案な子だったが、
生意気な奴が入ってきて
うちの愛犬なんですが、ちょっと太り気味だったので、
頼んでもいい事実をわざわざ告げてくれたような、おせっかいで親切な他人がいなければ。
一方的な思い込みから発する無意味なアジテーションであり、
概念の未分化な状態であることは言うまでもない。
患者にとっては不用意な告知となりかねない
大規模かつ多機能なPKOを運営している。
緩傾斜な堤防の整備等のバリアフリー化を推進している。
超贅沢なインフォームドコンセントです。
ハイグレードな標準仕様が人気の人と地球上にやさしい高性能住宅

資料 複合辭・連語

《 凡 例 》

「複合辞・助詞相当句」「複合辞・助動詞相当句」の「接続」欄、「意味・用法」欄で使用した記号及びその意味は、以下のとおりである。

① N 以外のアルファベット :

当該複合辞に前接又は後接する語句等、又は当該複合辞が用いられる文内の語句等。動詞であることを示す際には、「Aスル」「Aシタ」と表記する。

【例】 Aからすると AスルためのN
AガXスルノをはじめBガ (Xシ, Cガ) Xスル

② N : 当該複合辞に前接又は後接する語句のうち名詞（体言）

【例】 Aに対するN Nにしたって

③ ／ : 「又は」の意

【例】 Aが (／を／に)
→ 「Aが」又は「Aを」又は「Aに」
Aスル／シタ際に
→ 「Aスル際に」又は「Aシタ際に」

複合辞・助詞相当句

語彙素説み	語彙素	品詞	接続	意味・用法	用例
カラシテ からして	からして 助詞-格助詞	名詞 (名詞節を含む。) に付 <。	(1) 「Aからして」の形で、「Aに基づいて考えれば」という意味を表す。判断の手掛かりを示し、以下に判断内容としての叙述を導く。 (2) 「Aからして」の形で、「ます何よりAが(／を/に)といった強調的な意味で使われる。	(1) 「Aに基づいてモタモタしていると危険。時価総額／からして／買収の可能性は高い。戦略提携等を加速しないと生き残りは難しい。 ○小○館出版の少女漫画のタイトル／からして／ちょっと怖い・・・、	○手をこまねいてモタモタしていると危険。時価総額／からして／買収の可能性は高い。戦略提携等を加速しないと生き残りは難しい。 ○小○館出版の少女漫画のタイトル／からして／ちょっと怖い・・・、
カラスルト からすると	からすると 助詞-格助詞	名詞 (名詞節を含む。) に付 <。	「Aからすると」の形で、「Aに基づいて考えれば」という意味を表す。判断の手掛かりを示し、以下に判断内容としての叙述を導く。	「Aからすると」の形で、「Aに基づいて考えれば」という意味を表す。判断の手掛かりを示し、以下に判断内容としての叙述を導く。	○「選挙前の極めて厳しい予想／からすると、次に展望の開ける戦いだった」と苦し紛れのコメントを出した。 ○「経営の観点／からすると、それは困る」と強調する。
カラスレバ からすれば	からすれば 助詞-格助詞	名詞 (名詞節を含む。) に付 <。	「Aからすれば」の形で、「Aに基づいて考えれば」という意味を表す。判断の手掛かりを示し、以下に判断内容としての叙述を導く。	「Aからすれば」の形で、「Aに基づいて考えれば」という意味を表す。判断の手掛かりを示し、以下に判断内容としての叙述を導く。	○ハードウェアのIBMもわれわれ／からすれば／、エコシステムの関係にある。その人／からすれば／、ちょっと親しくした程度だったのですが、気持ち悪がられたようです。
サイニ 際に	際に 助詞-格助詞	用言のスル形・シタ形に付 <。	「Aスル／シタ際に」の形で、他と区別された時・機会・場合を表す。	「Aスル／シタ際に」の形で、他と区別された時・機会・場合を表す。	○電気通信事業者が事業を休業止する／際に／、利用者に周知させる義務を設けた。 ○また、ユーザーが登録していないプログラムが活動した／際に／警告・阻止する
タメノ ための	ための 助詞-格助詞	動詞のスル形に付く。	「AスルためのN」と連体修飾に用いられ、目的・原因・理由を表す。	「AスルためのN」と連体修飾に用いられ、目的・原因・理由を表す。	○加害者からの報復を防止する／ための／法的措置も必要である。 ○おおかたインテリアショップで安く買物する／ための／肩書だったんだろう。

(2)

トイウ	という	1. 文あるいは文相当の語句 に付く。 2. 単語（主に名詞句）に付く。	助詞-格助詞	「AというN」と連体修飾に用いられ、Nの具体的な内実を唯一それだけとするのではなくて、幅を持たせて示す関係を形成する。AはNの例として複数挙げられることがある。	○クレイグは自分の言葉にいま一つ自信 が持てない／といった／表情をしてい る。 ○被害は本所や深川、京橋、小石川、神 田／といった／あたりが特にひどく、現 在の新宿辺は比較的軽微とされていた が、仙太郎の養家は見事につぶれてい た。
トイッタ	といった	1. 文あるいは文相当の語句 に付く。 2. 単語（主に名詞句）に付 く。	助詞-格助詞	問題にする人・物事などの位置付けを示す。どのような位置付けかで、資格・立場・部類・行為の意義付け（名目）などを表すものに下位区分される。	○太陽を、太陽そのもの／として／あが めるることと、太陽を多色化して多彩な輝 きを装飾するることと、東西の宗教には大 きな違いがあるよう／に思われる。 ○ここにいた全員合はれて消防士の経験 は一〇〇年ぶん以上になるが、これまで 誰一人／として／この救助信号を送った ことはなかつた。
ニアタッテ	として	名詞（名詞節を含む。）に付く。	助詞-格助詞	「A（する）にあたつてB」の形で、 (1) 「A／という／ことを行う／場面に当面 して」／という意味を表す。 (2) 「特に自ら何を行ふと具体的には言 わないが」／「ある意義の認められる時・機 会が来た（来る）／のに当面して」という意 味を表す。	○仕事をする／に当たつて／は法令、社 内ルールに従つて行動します。 ○その達成のため、総団員数の確保／に あたつて／具体的な目標数値を設定する こと、サラリーマン団員の活動環境の整 備のため地域の実情に応じて消防団員の 任務を強力化すること

<p>ニアタリ にあたり</p> <p>名詞（名詞節を含む。）に付 く。また、動詞のスル形に付 く。</p> <p>助詞-格助詞</p>	<p>「A (する) にあたりB」の形で、 「A」ということを表す。</p> <p>(1) 「Aと」の意味を表す。</p> <p>(2) 「特に自ら何を行ふと具体的には言 わながが」 「ある意義の認められる時・機 会が来た（来る）のに当面して」という意 味を表す。</p> <p>名詞（名詞節を含む。）に付 く。</p> <p>助词-格助詞</p>	<p>「A (する) にあたりB」の形で、当面し て」という意味を表す。</p> <p>(1) 「Aと」の意味を表す。</p> <p>(2) 「特に自ら何を行ふと具体的には言 わながが」 「ある意義の認められる時・機 会が来た（来る）のに当面して」という意 味を表す。</p> <p>名詞（名詞節を含む。）に付 く。</p> <p>助词-格助詞</p>	<p>○抽象的思考能力を鍛える／にあたり ／、挿し絵などは邪魔以外の何者でもあ りません。</p> <p>○大関では、この没後特別な年／にあた り／、限定愛蔵版「美空ひばり記念ボト ル」を発売している。</p> <p>○遠く天竺（インド）から三韓／にい たるまで／、仏法を尊ひ敬わない国はあ りません。</p> <p>○インテリアは細部／に至るまで／本物 志向。</p> <p>○写真がまだジャーナリズムに登場しな い、幕末から明治前半期／において／、 事件の模様を伝えるメディアは錦絵で あった。</p> <p>○顧客満足度のよううに数値測定できない ものをコントロールしたり、改善するこ とは非常に難しいし、マネジメントの分 野／において／は、日本が欧米に学ぶべ きことはまだある。</p> <p>○現在は、少子化と地域コミュニティ一 の崩壊により、幼少期／における／、家 族や地域での人間関係構築の体験的学習 も著しく困難になっている。</p> <p>○通常の状況では、ボートをこぐ能力 も、捕鯨船／における／各人の価値をは かる指標のひとつだった。</p> <p>○この娘は、美しさ／にかけて／も、心 身の麗質／にかけて／も、全くのところ そなたに劣らぬものと思う。</p> <p>○名探偵といわれたジッシャン—金田一 耕助の名／にかけて／！</p>
<p>ニオイテ において</p> <p>名詞（名詞節を含む。）に付 く。</p> <p>助词-格助詞</p>	<p>「AにおいてB」という形で、動作・作用 の行われる場所、あるいは状態が存在する 場面、若しくは、時を示す。また、意味が 一段抽象化すると、「～という点で」と いふたような意味で、事柄が云々される 元・範囲などを規定しても用いられる。</p> <p>名詞（名詞節を含む。）に付 く。</p> <p>助词-格助詞</p>	<p>「AにおいてB」という形で、動作・作用 の行われる場所、あるいは状態が存在する 場面、若しくは、時を示す。また、意味が 一段抽象化すると、「～という点で」と いふたような意味で、事柄が云々される 元・範囲などを規定しても用いられる。</p> <p>名詞（名詞節を含む。）に付 く。</p> <p>助词-格助詞</p>	<p>○写真がまだジャーナリズムに登場しな い、幕末から明治前半期／において／、 事件の模様を伝えるメディアは錦絵で あった。</p> <p>○顧客満足度のよううに数値測定できない ものをコントロールしたり、改善するこ とは非常に難しいし、マネジメントの分 野／において／は、日本が欧米に学ぶべ きことはまだある。</p> <p>○現在は、少子化と地域コミュニティ一 の崩壊により、幼少期／における／、家 族や地域での人間関係構築の体験的学習 も著しく困難になっている。</p> <p>○通常の状況では、ボートをこぐ能力 も、捕鯨船／における／各人の価値をは かる指標のひとつだった。</p> <p>○この娘は、美しさ／にかけて／も、心 身の麗質／にかけて／も、全くのところ そなたに劣らぬものと思う。</p> <p>○名探偵といわれたジッシャン—金田一 耕助の名／にかけて／！</p>
<p>ニオケル における</p> <p>名詞（名詞節を含む。）に付 く。</p> <p>助词-格助詞</p>	<p>「AにおけるN」と連体修飾に用いられ、 ある出来事が起こったり、状態が存在した りするときの背景となる場所・時間・状況 などを表す。</p> <p>名詞（名詞節を含む。）に付 く。</p> <p>助词-格助詞</p>	<p>「AにおけるN」と連体修飾に用いられ、 ある出来事が起こったり、状態が存在した りするときの背景となる場所・時間・状況 などを表す。</p> <p>名詞（名詞節を含む。）に付 く。</p> <p>助词-格助詞</p>	<p>○現在は、少子化と地域コミュニティ一 の崩壊により、幼少期／における／、家 族や地域での人間関係構築の体験的学習 も著しく困難になっている。</p> <p>○通常の状況では、ボートをこぐ能力 も、捕鯨船／における／各人の価値をは かる指標のひとつだった。</p> <p>○この娘は、美しさ／にかけて／も、心 身の麗質／にかけて／も、全くのところ そなたに劣らぬものと思う。</p> <p>○名探偵といわれたジッシャン—金田一 耕助の名／にかけて／！</p>
<p>ニカケテ にかけて</p> <p>名詞（名詞節を含む。）に付 く。</p> <p>助词-格助詞</p>	<p>「Aにかけて（も）」の形で、以下のこ との実現が譲れない根拠として意識される のを取り上げて表す。</p> <p>名詞（名詞節を含む。）に付 く。</p> <p>助词-格助詞</p>	<p>「Aにかけて（も）」の形で、以下のこ との実現が譲れない根拠として意識される のを取り上げて表す。</p> <p>名詞（名詞節を含む。）に付 く。</p> <p>助词-格助詞</p>	<p>○この娘は、美しさ／にかけて／も、心 身の麗質／にかけて／も、全くのところ そなたに劣らぬものと思う。</p> <p>○名探偵といわれたジッシャン—金田一 耕助の名／にかけて／！</p>

ニカシシテ に關して	名詞（名詞節を含む。）に付 く。	助詞-格助詞	○これらのは「知的財産」の用語に係る用語／に關して／、法令・条約等で使用されている「知的財産権」という用語を可能な限り「知的財産」「知的財産権」の用語に統一することとしています。 ○子どものいびきや睡眠時無呼吸症候群を治していく場合、親は治療／に關して／最終的な選択権を持つています。
ニカシスル に關する	名詞（名詞節を含む。）に付 く。	助詞-格助詞	○「Aに関するN」と連体修飾に用いられ、言語・思考行動の対象・内容や、検討・評価がなされる基準を示す。
ニサイシ に際して	名詞（名詞節を含む。）に付 く。また、動詞のスル形に付 く。	助詞-格助詞	○「Aに際し」という形で、「A」ということが行われる「Aという時に」という意味を表す。格助詞「で」には置き換えられない。
ニサイシテ に際して	名詞（名詞節を含む。）に付 く。また、動詞のスル形に付 く。	助詞-格助詞	○「Aに際して」という形で、「A」ということが行われる「Aという時に」という意味を表す。格助詞「で」には置き換えられない。
ニシテ にして	1. 2. 名詞（名詞節を含 む。）に付く。 3. 名詞、副詞に付く。	助詞-格助詞	○悔しさをばねにして、小林宏がプロ入り9年目／にして／初の完封勝利を挙げた。 ○事に敏／にして／言に慎むとは、言葉よりは実行に励む意味である。 (1) ある段階に到達して初めて何かが起 こったことを表す。 (2) 「AにしてB」の形で、前件Aとい う状況の下で、さらに別の状況が加わるこ と、又はある面と同時に他の面も併せ持つ ことを意味する。 (3) ある状況を強調する。

<p>ニタイシ に対し</p>	<p>名詞（名詞節を含む。）に付 く。</p>	<p>助詞-格助詞</p>	<p>（1）述語句の動作・行為の向けられる対象を取り上げて示す。 （2）ある事物が割り当てられたり、代価・お返し等として与えられることになる対象を取り上げて示す。 （3）ある事物と対照される事物を取り上げて示す。</p>	<p>○私の身勝手な相談／に対する／、親身になってアドバイスを与えてくれた友人・知人たちにまず感謝します。 ○しかし、そのことに気づけば、受けている膨大な恩恵／に対する／なんとか報いていかなければ、と考える筈です。</p>
<p>ニタイシテ に対して</p>	<p>名詞（名詞節を含む。）に付 く。</p>	<p>助詞-格助詞</p>	<p>（1）述語句の動作・行為の向けられる対象を取り上げて示す。 （2）ある事物が割り当てられたり、代価・お返し等として与えられることになる対象を取り上げて示す。 （3）ある事物と対照される事物を取り上げて示す。</p>	<p>○この借知は家臣の給与の削減を意味するから、家臣の権利／に対する／明確な侵害といふことになる。 ○金融所得／に対する／課税は現在、商品ごとに税率や課税方式が異なる。</p>
<p>ニタイスル に対する</p>	<p>名詞（名詞節を含む。）に付 く。</p>	<p>助詞-格助詞</p>	<p>（1）述語句の動作・行為の向けられる対象を取り上げて示す。 （2）ある事物が割り当てられたり、代価・お返し等として与えられることになる対象を取り上げて示す。 （3）ある事物と対照される事物を取り上げて示す。</p>	<p>○洋平、彰也、謙三などがインターネットで肝移植／にについて／調べたところによると、ドナーの危険率が少ないといふことなので、その方向で進むことを延々に説得しなければならなかつた。○まず、少年非行をどのようにとらえるか／について／言及しておこう。</p>
<p>ニツイテ について</p>	<p>名詞（名詞節を含む。）に付 く。</p>	<p>助詞-格助詞</p>	<p>（1）述語句の動作・行為の対象・内容や、検討・判断・評価がなされる観点・指標を示す。割合を示す。</p>	<p>○また、地域の主体的な防除を支援するため、防除技術地域住民の参加による防除体制の整備など／につき／助成する。 ○同通信によると、麻薬の「運び屋」は1回／につき／最高4万ドル（約四百三十六万円）程度を受け取っていたと見られる。</p>

<p>ニトッテ にとつて</p> <p>名詞（名詞節を含む。）に付 く。</p> <p>助詞-格助詞</p>	<p>名詞（名詞節を含む。）に付 く。</p> <p>助詞-格助詞</p>	<p>「AにとつてB」の形で文の内容・評価を規定する形で用いられ、「AにとつてB」が係つていく文の内容・評価として述べられる個別的な判断・捉え方をする主体を表す。</p> <p>○家庭といいうものが、子どもたち／にとつて／大きいに心休まる場であつてほしいと、私は願っています。</p> <p>○ルーヴル最大の財産を鑑賞しながら脚を休められるので、多くの入場者／にとつて／ありがたい憩いの場だ。</p>
<p>ニヨッテ によつて</p> <p>名詞（名詞節を含む。）に付 く。</p> <p>助詞-格助詞</p>	<p>名詞（名詞節を含む。）に付 く。</p> <p>助詞-格助詞</p>	<p>(1) 物事を引き起したり行つたりする事物や 契機・より所・手段・ゆえんとなる事物や 人を表す。</p> <p>(2) 物事の有り様を区別する基準・尺度 となるものを示す。</p> <p>○一九一九年にソ連はレー寧／に よつて／、プロレタリア一党独裁によ る計画経済の社会主义路線を歩むことと なつた。</p> <p>○食べる物、飲む物も、それを受け入れ た人／によつて／活かされもすれば、無 駄にもされる。</p>
<p>ニヨリ により</p> <p>名詞（名詞節を含む。）に付 く。</p> <p>助詞-格助詞</p>	<p>名詞（名詞節を含む。）に付 く。</p> <p>助詞-格助詞</p>	<p>(1) 物事を引き起したり行つたりする事物や 契機・より所・手段・ゆえんとなる事物や 人を表す。</p> <p>(2) 物事の有り様を区別する基準・尺度 となるものを示す。</p> <p>○一九四五年八月十五日、日本のボッダ ム宣言受諾／により／、第二次世界大戦 が終結した。</p> <p>○インスリンの吸収の早さは注射した部 位／により／少しづつ違います。</p>
<p>ニヨル による</p> <p>名詞（名詞節を含む。）に付 く。</p> <p>助詞-格助詞</p>	<p>名詞（名詞節を含む。）に付 く。</p> <p>助詞-格助詞</p>	<p>(1) 物事を引き起したり行つたりする事物や 契機・より所・手段・ゆえんとなる事物や 人を表す。</p> <p>(2) 物事の有り様を区別する基準・尺度 となるものを示す。</p> <p>○テキストは五十年代の女優たち／によ る／映像コレクション。</p> <p>○「右腕」の年齢／による／違いを見る と、年齢が若いほど「代表者の代理」、 「代表者の相談役」、「代表者の諫言 役」の割合は低くなり、「新しい取組の 担当」の割合が高くなっている。</p>

ニヨレバ によれば	名詞（名詞節を含む。）に付 く。	助詞-格助詞	○ある新聞記事／によれば／、オサマ・ビンラディン氏も、夜間に場所を移動するときにはGPSを利用しているのではないかと言われています。 ○彼自身の表現／によれば／、人びとの生活や歴史や社会に豊富な理解を有している、柳田のような人は「達識者」といいうのであった。
ニワタッテ にわたって	名詞（名詞節を含む。）に付 く。	助詞-格助詞	○地理的には全地球／にわたって／、分野／にわたって／、テーマ／にわたって／、テマな分野／にわたって／、この問題を考えなければなりません。 ○ロッドの地元であるギリスでは、一度／にわたって／ヒットを記録。
ニワタリ にわたり	名詞（名詞節を含む。）に付 く。	助詞-格助詞	○ただ、注目されているのは、同日午後に約一時間／にわたり／交渉／行われた米朝協議と北朝鮮側の交渉／ンバード。 ○また、ベリアフリー化された賃貸住宅に高齢者が終身／にわたり／安心して居住できる終身建物賃貸制度が創設された。
ニワタル にわたる	名詞（名詞節を含む。）に付 く。	助詞-格助詞	○戦前のことはあえて触れないが、戦後も長時間／にわたる／「拘束」を告発した元党員もいる。 ○十二歳の誕生日を迎える今月、シンシアは約9年半／にわたる／介助犬としての仕事を引退。
ヲツウジテ を通じて	名詞（名詞節を含む。）に付 く。	助詞-格助詞	○胃潰瘍で手術なんて…と悩み、知人友人／を通じて／、信頼できる医者はいなかと探しはじめます。 ○まだシーズンの途中ではあるが、「日本／を通じて／の首位打者」という快挙も夢でなくなつた。

ヲハジメ をはじめ	名詞（名詞節を含む。）に付 く。	助詞-格助詞	(1) 「AをはじめB, C (...)」といつた形で、Aを代表例とする並列接続の名詞句を形成する。 (2) 「AがXスルノをはじめBガ(Xシ, Cガ) Xスル」といった形で、「AがXスル」ことを記述の最初として類似的な事態を列記する複文を形成する。	○江戸ノをはじめ／、京都・大坂の大都市では、整然たる自治制が布かれていった。 ○朝日新聞がトップで記事で報じたの／を始め／、世間から「配慮不足、無責任、軽率」と、待つてましたとばかり、袋叩きにされた。
ヲメグル をめぐる	名詞（名詞節を含む。）に付 く。	助詞-格助詞	「AをめぐるB」の形で、やり取り・対立がなされる懸案事項・問題点・争点となる事柄を示す。中心の物事を取り巻く周辺の諸事を取り上げる意味。	○医療現場での薬剤師／をめぐる／論議には堂々巡りのところがあつた。 ○この事例を通して、周波数／をめぐる／FCCの迷走ぶりを見てみよう。
ヲモッテ をもって	名詞（名詞節を含む。）に付 く。	助詞-格助詞	「AをもってB」の形で、 (1) Bのことをするために用いる手段・方法・概念を示す。 (2) Bのことがなされる基準となる時点・段階を示す。	○それは簡単な仕事ではなく、当のベテラン職人によれば、二十年間の経験／をもって／しても特殊な綿菓子の粘りを出すのは難しいと言うのだった。 ○不良債権としての処理は、個人が債務保証をすることでまとまり、平成13年／をもって／幕を閉じることになるのである。
ダケデナク だけでなく	名詞に付く。また、用言のスル形・シタ形（シティル形・シティタ形を含む。）に付く。	助詞-副助詞	「AだけではなくB」の形で、あるものだけに限定せずほかにまで及ぶことを表す。	○西欧人の心を搔き立てた／だけではなく／、ジングル伝説は、実際に大きく世界史を動かした。 ○言葉／だけ／や／なく／、ロープの腰紐も使つたりして。手袋はしました。
ニカギラズ に限らず	名詞（名詞節を含む。）に付 く。	助詞-副助詞	「Aに限らず」の形で、「Aは他に類例もあるってこれだけではなく」という意味を表す。	○重たく湿った情緒を想像しがちだが、「臉の母」／に限らず／、代表的な戯曲の読後感はすつきりしている。 ○マッシュルーム／に限らず／、生で食べるあたりやすい食品は多々あるものです。
ノミナラズ のみならず	名詞に付く。また、用言のスル形・シタ形（シティル形・シティタ形を含む。）に付く。	助詞-副助詞	「AのみならずB」の形で、あるものだけに限定せずほかにまで及ぶことを表す。	○疲労の蓄積を通じて労働者の労働の質を低下させる／のみならず／、健康被害が発生した場合には、労働者本人及びその家族を不幸にするものである。 ○彼らの持つ技能・ノウハウは個人／のみならず／、国家にとつても貴重な財産といえる。

トイエドモ	といえども	名詞-係助詞	「AといえどもB」の形で、「それがAであるという並々ならぬこと、それに左右されることなくBということである」という関係を示す。	○3試合連続でスタン起用され、1打席／といえども／ムダにしたくない心境だったようだ。 ○そのオールの動きを止めたらミズスマシ／といえども／沈没してしまいますので必死なのです。
トイッテモ	といつても	文あるいは文相当の語句に付く。	「AといつてもB」の形で、基本的に前件Aの内容から推論される事柄を否認する意味の後件Bを導く言い方で用いられる。	○アンティーク／といつても／高価な古美術品ではなく、気軽なものです。 ○シカが増えて困る／といつても／、それはエゾオオカミを絶滅させてしまつたからであり、自業自得といつても過言ではないでしょう。
トキタラ	ときたら	名詞-係助詞	名詞に付く。	「AときたらB」の形で、主題提示の形式として用いられる。AがBであることを、並々ならぬことだという気持ちで取り上げる言い方である。
ニイタッテハ	に至つては	名詞（名詞節を含む。）に付く。	「Aに至つては」の形で、話題になつてゐる一連の事柄の中から、特に注目される・問題になる事柄Aを取り上げて、以下にどのように点で注目される・問題になるのかを述べる表現。	○そのつもりでここへ來た。どこかへ逃げ出す／にいたつて／、このままじゃ死んだも当然だしな。会いたいやつには、会つておこうと思った」 ○だから、モーツアルト／にしたつて／、あの短時間のうちにどうしてこのチャンスがあつたのか。
ニシタッテ	にしたつて	動詞-係助詞	動詞のスル形（シテイル形を含む。）に付く。また、名詞に付く。	(1) 「AにしたつてB」の形で、複文を形成して用いられ、前件Aの事柄があることは承認されるとして、後件Bの事柄はそれによつて無効になることなくあるという関係を表す。 (2) 「Nにしたつて」の形で、Nを題目として取り立てる。人物のほか、無生物にも用いられる。
ウエデ	上で	助詞-接続助詞	1. 動詞のシタ形に付く。また、動作的名詞+「の」に付く。 2. 動詞のスル形に付く。	(1) 「Aシタ／ノ上でB」の形で、「Aをする」ことを表す。Aスル上でBする」という出来事の継起関係を表す。 (2) 「Aスル上でB」の形で、「Aをする場合／過程の中で」という場合や過程における問題点・注意点などを表す。

「A 上にB」の形で、前件Aの事柄に加え て後件Bの事柄もあつた・なされたといふ 関係を表す。	用言のスル形・シタ形（シテ イル形・シティタ形を含む） に付く。	助詞-接続助詞	「A 上にB」の形で、前件Aの事柄に加え て後件Bの事柄もあつた・なされたといふ 関係を表す。	○だが、バブル崩壊で観光客が減少した ／うえに／、設備投資額が膨らんだため 利用料金が割高になり、収入は見込みを 大きく下回った。 ○「3時間待ちの3分診療」と混雑ぶり が揶揄される／上に／、事故事例も目に 付く。
「A 上はB」の形で、後件Bのような認識 や意志、命令や問い合わせを述べるに当た り、それが前件Aの事柄の成立を踏まえた ものだという関係を示す。	動詞のスル形・シタ形に付 く。	助詞-接続助詞	「A 上はB」の形で、後件Bのような認識 や意志、命令や問い合わせを述べるに当た り、それが前件Aの事柄の成立を踏まえた ものだという関係を示す。	○「僧形となつた／うえは／は、諸事簡 素に心掛けたい。賄いの心配無用であ る」 ○「左程御決断有られる／上は／は、い かで大将の命には背くまじ」と答えて、 伝十郎は引き下がつたという（『庄内戦 争録』戦争余談）。
「Aかと思うとB」の形で、 (1) 前件Aの出来事の成立に引き続い て、多くはほぼ同時的に後件Bの出来事が 成立するという関係を述べる。 (2) 前件Aの事柄がある一方で、それと は対立するような後件Bの事柄があること を述べる。 (3) 前件Aのよううに予想・期待されたの に対し、実際は後件Bのとおり、それとは 反する事柄が成り立つことを述べる。	用言のスル形・シタ形（シテ イル形・シティタ形を含 む。）に付く。また、名詞に 付く。	助詞-接続助詞	「Aかと思うとB」の形で、 (1) 前件Aの出来事の成立に引き続い て、多くはほぼ同時的に後件Bの出来事が 成立するという関係を述べる。 (2) 前件Aの事柄がある一方で、それと は対立するような後件Bの事柄があること を述べる。 (3) 前件Aのよううに予想・期待されたの に対し、実際は後件Bのとおり、それとは 反する事柄が成り立つことを述べる。	○彼ら水戸武士は、こうした貧乏からの 脱出作戦を講ずるの／かと思うと／、そ ういう方向には思考は動かず、かなり特 異な自己愛の発露の仕方を見せる。 ○「あうと／没頭できないんスけど」
「Aかと思うとB」の形で、 (1) 前件Aの出来事の成立に引き続い て、多くはほぼ同時的に後件Bの出来事が 成立するという関係を述べる。 (2) 前件Aのよううに予想・期待されたの に対し、実際は後件Bのとおり、それとは 反する事柄が成り立つことを述べる。	用言のスル形・シタ形（シテ イル形・シティタ形を含 む。）に付く。また、名詞に 付く。	助詞-接続助詞	「Aかと思うとB」の形で、 (1) 前件Aの出来事の成立に引き続い て、多くはほぼ同時的に後件Bの出来事が 成立するという関係を述べる。 (2) 前件Aのよううに予想・期待されたの に対し、実際は後件Bのとおり、それとは 反する事柄が成り立つことを述べる。	○それに、熱心に本を読んでいた／かと 思つたら／とつぜん興味をなくして去つ ていつてしまつたヴィクトリカのことも 気になり始めた。 ○あたしは息を吸いこみ、それから吐き 出した。ため息ではない。胸が痛む／か と思つたら／痛まなかつたのだ。痛むと 思ったのに。
「Aが早いかB」の形で、複文を形成し、 前件Aの出来事が起くるのとほぼ同時ある いは瞬時後に後件Bの出来事が起くるとい う関係を表す。	動詞のスル形に付く。	助詞-接続助詞	「Aが早いかB」の形で、複文を形成し、 前件Aの出来事が起くるのとほぼ同時ある いは瞬時後に後件Bの出来事が起くるとい う関係を表す。	○「Aが早いかB」が早いか／、下つ端四天王は一 斉に疾風に襲いかかった。 ○朝の食事がすむ／が早いか／、おれは さっそくおばにつかまつて、隅のほうへ 連れてゆかれた。

カラトイッテ	からといって	助詞-接続助詞	用言のスル形・シタ形（シテイル形・シティタ形を含む。）に付く。	「AからといつてB」の形で、複文を形成し、前件Aを根拠として普通下さないといふ判断が正しいとは言えないといふ意を表す。	○もちろん、こう解説した／からといつて／、前件Aを根拠として普通下さないといふ判断が正しいとは言えないといふ意を表す。	○米国ががんと攻撃した／からと書いて／、このままでは資金協力もできない。
カラニハ	からは	助詞-接続助詞	用言のスル形・シタ形（シテイル形・シティタ形を含む。）に付く。	「AからにはB」の形で、複文を構成して用いられ、「Aという事実がある以上、必然的にB」という関係を表す。	○連載するって言つた／からには／約束は守らなければいけないと思うのです。	○エスコフィエといふ／からには／、同じものを作つて見なければならぬ。
タトヨロ	たところ	助詞-接続助詞	動詞のシタ形（シティタ形を含む。）に付く。	「AたところB」の形で、ABの継起を記述する。Aには单なるきっかけや前置きが入る。	○見渡し／たところ／、帰つていく船はほかになかった。	○植木鉢に良いと聞いて入れ／たところ／、表面がカビでしました。
タトヨロデ	たところで	助詞-接続助詞	動詞のシタ形（シティタ形を含む。）に付く。	「AたところB」の形で、逆接の意味で仮定条件にも用いられ、前件Aのような状況があつた場合でも、(1)それは特に意味を持たない、ということを述べる後件Bを導く。(2)あるいは、それに左右されず、後件Bの事柄はそのままである・そのようなものとしてあるという関係を述べる。	○大量生産・大量消費・大量廃棄を「大量リサイクル」に置き換えるところで／問題を先送りするだけだ。	○だからといって相手方に損害賠償請求し／たところ／何が解決するのかどうかと。
タメニ	ためには	助詞-接続助詞	用言のスル形・シタ形（シテイル形・シティタ形を含む。）に付く。	「AためにB」の形で、(1)前件Aを目的として、後件Bを行うという関係を示す。(2)前件Aを原因・理由として、後件Bを述べる。	○時間の大切さを尊重する意識を広める／為に／記念日を設置したのだとします。	○Jリーグ二部のコンサドーレは昨年、成績が悪かった／たために／観客数が大きく減つてしましました。
トシタラ	としたら	助詞-接続助詞		文あるいは文相当の語句に付く。	○一風堂に一日一千人のお客様が来店してくださる／としたら／、二百人は「とても良い店だ」と満足し、六百人は「まあ、こんなものだらう」と考える。	○仮にバーノンがペチュニアと同じ年だった／としたら／当時二五歳ぐらいになり、それでいて「近頃の若いやつら」発言をしたことになる。

トシテМО としても	助詞-接続助詞	文あるいは文相当の語句に付く。 「AとしてもB」の形で、前件Aのようないくつかが成り立つ（ある）と一旦考えた場合でも、それと対立する事柄として後件Bのようないくつかがあることを述べる。	○安易に海外に「安価で豊富な労働力」を求めるよりも、必ずしも「くいわけではないことがうかがえる。 ○D二千七百が女性だととしても／、それまでの「時代とともに脳は拡大する」という常識に初めての例外をドマニシは作った。
トスレバ とすれば	助詞-接続助詞	文あるいは文相当の語句に付く。 「AとすればB」の形で、前件Aの内容を一旦そう考えられると設定し、それに基づくと、後件Bのようないくつかになるという論理関係を述べる。	○housseが具体的な物質を表わす名詞だ／とすれば／、homeは形而上学的な概念である。 ○「問題が政治利用されるとすれば／非生産的」と民主党を批判した。
トドウジニ と同時に	助詞-接続助詞	用言のスル形・シタ形に付く。 「Aと同時にB」の形で、(1) 事柄Aの起こった直後に次の事柄Bが起ることと、AB二つの事柄が同時に起こることを表す。 (2) 一つの事物の両面性AB（時には正反対の性質を有する）を対比的に示す。これは時間的前後関係の意味における同時性は全く問題とされない。	○総馬が踏みこむ／と同時に／左手で数江の胸をついたのを元八郎は見た。 ○火を使わない気楽さが重宝される／と同時に／、保温機能の出番が減るなど、使われ方の変化が背景にあるようだ。
トモモニ とともに	助詞-接続助詞	用言のスル形に付く。	○広葉樹などの郷土樹種の導入を行いう／とともに／、湿地及び生態系の復元等を実施する。 ○海外安全意識啓発資料の一層の充実を図る／とともに／、ビデオの貸出、リーフレットの無料配布等を行う。
トハイエ とはいえ	助詞-接続助詞	文あるいは文相当の語句に付く。 「AとともにB」の形で、一方の動作・変化に応じて別の動作・変化が起ることという意味や、二つのことが同時に起ることという意味を表す。	○事前調査不足のため／とは言え／、専門外の燃料部門に足を引つ張られたのだから確かににお氣の毒だ。 ○その後、和平した／とはいえ／、昔日の怨みをお忘れではありますまい。
ニカカワラズ に関わらず	助詞-接続助詞	名詞に付く。また、用言のスル形・シタ形（シテイル形・シティタ形を含む）に付く。 「Aに関わらずB」の形で、異なりを含んで成り立つ名詞、又は対立する二つの事柄を表す表現を受けて、「それらに関係なく」「それらを問題とせずに」という意味を表す。	○こちらは、ファン同士が年齢、性別、趣味、ブログの内容／に関わらず／、いろんな意見を交わすコミュニケーションの場としてご利用下さい。 ○巫術を仕掛ければ、孔子が意識するしない／に関わらず／、手前の空間で焼き落とされるか、反射的に呪い返されに違いない。

ニシタガイ にしたがい	動詞のスル形に付く。また、 名詞に付く。	助詞-接続助詞	「AにしたがいB」の形で、Bで表されることを表す。 事柄がAと運動していることを表す。	○それぞれの特徴としたがい／、本症の予後が にされるものと期待される。 ○帽子の形も時の経過／に従い／、流行 り廃りがあります。
ニシタガッテ ニシテハ	動詞のスル形に付く。また、 名詞に付く。	助詞-接続助詞	「AにしたがってB」の形で、Bで表され る事柄がAと運動していることを表す。	○生まれてからの記憶量が増える／にし たがって／前世のそれは失われていくの だとも。 ○その経済的独立性が高くなる／に従つ て／かまどもまた分割されるようにな った。
ニシテモ	1. 動詞のスル形・シタ形 (シティル形・シティタ形を 含む。) に付く。 2. 名詞 (名詞節を含む。) に付く。	助詞-接続助詞	「AにしてはB」の形で、条件Aと結果B を比較し、期待・予想・標準との間に大き な差があることを表す。	○喜びを分け合う／にしては／、かれは どうしたことかあまり酒を飲んでいな かった。 ○二十代後半の女／にしては／大人っぽ い女だと思っていた。
ニシテロ	1. 用言のスル形・シタ形 (シティル形・シティタ形を 含む。) に付く。 2. 単語 (主に名詞句) に付 く。	助詞-接続助詞	(1) 「AにしてもB」と複文を形成して 用いられ、前件Aの事柄があることは承認 されるとしても、後件Bの事柄はそれに よって無効になることなくあるという関係 を示す。 (2) 「AにしてもBにしても」の形で、 同じジャンルの二つのもの、対立する二つ の物事を取り上げて、その両方を指す。	○通訳の性質からして完全に正確な通訳 は困難である／にしてても／、質問のしか たを工夫するなどして発言の趣旨を確認 する努力をすることや事後の確認のため に録音化することなどが求められる ○そんな少子化の時代を迎えているの に、早稲田大／にしても／慶應大／にし ても／、募集定員を増やしている。
ニセヨ にせよ	1. 用言のスル形・シタ形 (シティル形・シティタ形を 含む。) に付く。 2. 単語 (主に名詞句) に付 く。	助詞-接続助詞	(1) 「AにしろB」と複文を形成して用 いられ、前件Aの事柄があることは承認さ れるとしても、後件Bの事柄はそれによつ て無効になることなくあるという関係を示 す。 (2) 「AにしろBにしろ」の形で、同じ ジャンルの二つのもの、対立する二つの物 事を取り上げて、その両方を指す。	○その後、勉強で身を立てる／にしろ ／、別の目的にチャレンジする／にしろ ／、人間性の基礎ができるいなければ、 成功はほぼつかないでしょう。 ○アパート／にしろ／一軒家／にしろ ／、このあたりの住宅の「売り」はプー ルと庭。
	1. 用言のスル形・シタ形 (シティル形・シティタ形を 含む。) に付く。 2. 単語 (主に名詞句) に付 く。	助詞-接続助詞	1. 用言のスル形・シタ形 (シティル形・シティタ形を 含む。) に付く。 2. 単語 (主に名詞句) に付 く。	○たとえ神々が不死という、人間には与 えられない特性を持つ／にせよ／、そ ういう有様では、人間の神々にたいする尊 敬を失うのは当然であった。 ○いすれ／にせよ／松井は、いまの巨人 でひとり「浮いた」存在になっている。

ニッレ につれ	動詞のスル形に付く。また、 名詞に付く。	助詞-接続助詞	「AにつれB」という形で、二つの異なる 動作や状況が運動していることを表す。	○蒸し上がる／につけ／、スペイスの香 りがキッチンにたちこめる。 ○地方では市町村合併が本格化する／に つれ／、「国と市町村の中二階」といわ れる都道府県の再編が次の課題として浮 上している。
ニッレテ につれて	動詞のスル形に付く。また、 名詞に付く。	助詞-接続助詞	「AにつれてB」という形で、二つの異なる 動作や状況が運動していることを表す。	○今年入居と来年入居の差は、借入額が 少なくなる／につれて／小さくなる。 ○フリーージャーナリストら十数人がどど まっているが、戦況の悪化／につれて／ 当局の締め付けがさらに強くなる可能性 もある。
ニモカカワラズ にも関わらず	用言のスル形・シタ形（シテ イル形・シティタ形を含 む。）に付く。	助詞-接続助詞	「Aにも関わらずB」と複文を形成して用 いられ、前件Aのことがあるのに、これが 期待される事柄を引き出す契機とならず、 後件Bのような期待に反した事柄が成り 立っているという関係を述べる。	○暖かいコートを着ていた／にもかかわ らず／、時折吹く寒風で身も凍えそうに なった。 ○小さな化け物は、瀕死の重傷である／ にもかわらず／、何事もなかつたよう にして瞬時に姿を消した。
モノノ ものの モノ	用言のスル形・シタ形（シテ イル形・シティタ形を含 む。）に付く。	助詞-接続助詞	「Aスル／シタもとのB」の形で、事実と して前件Aということは確かにあるが、そ こから予想・期待されることとは違い、後 件Bだという関係を述べる。	○運輸業は、非自発的失業者の割合は就 業者平均よりやや少ない／ものの／長期 失業者の割合が高くなっています。 ○一時期に比べ、値が下がった／ものの ／依然として高価な部類に入る。
ヤイナヤ や否や わりに	動詞のスル形に付く。	助詞-接続助詞	「Aや否やB」の形で、複文を形成して、 全件Aの出来事が起こるのとほぼ同時に いは瞬時後に後件Bの出来事が起こるとい う関係を表す。	○あわてて教室に戻りましたが、また教 室から出る／や否や／、さらに大きなう なり声となりました。 ○しかし拭う／やいなや／、左目からぼ とりとまた水滴。
ワリニ	用言のスル形・シタ形（シテ イル形・シティタ形を含 む。）に付く。また、名詞句 +「の」に付く。	助詞-接続助詞	「Aスル／シタ／ノわりにB」の形で、後 件Bの事柄は、前件Aのようない状態・資 格・立場などにあつたり、行為を行つたり することから、期待・予想される程度のも のとは異なるという関係を述べる。	○中小零細企業の取扱は数多く手がかかる ／割に／、大手に比べるとインパクト が小さい。 ○生産台数の少なさとメカ式の強さで仕 様の／わりに／評価が高い。

複合辞・助動詞相当句

語彙素読み	語彙素	品詞	前接語が、動詞・形容詞の場合、 形・シタ形(動詞に含む。)に付く。形状 詞・名詞の場合は、「～アル/～アッタ かもしない」となるか、語幹若しくは 名詞に直接付く。また、「～のかもしれ ない」といった形でも用いられる。(こ の場合、形状詞・名詞については、「～デ アル/～アッタ/～ナ」の形で受ける。)	接続 「Aかもしない」の形で、 (1) Aであると考えられないとする推量を述べ (2) 相手の言つた内容やあると一応は認めた を、正しい可能性があると異なる意見を述べる。 (3) 既に起きてしまったことについて、 条件が違えば違う結果になつた可能 性があるという意味を示す。	意味・用法 「Aかもしない」の形で、 （1）Aであると考えられないとする推量を述べ （2）相手の言つた内容やあると一応は認めた を、正しい可能性があると異なる意見を述べる。 （3）既に起きてしまったことについて、 条件が違えば違う結果になつた可能 性があるという意味を示す。	用例 ○その夢を想像し、そこで生活していた 人々に思いをはせるのが、磨礪ウォッヂ ングの最大の楽しみといえるかもしない。 ○こんな時じやなかつたら、もつとロマ ンチックな気分に浸れたかも知れない。
カモシレナイ かもしだれないと かもしだれません	助動詞	助動詞	前接語が、動詞・形容詞の場合、 形・シタ形(動詞に含む。)に付く。形状 詞・名詞の場合は、「～アル/～アッタ かもしません」となるか、語幹若しくは 名詞に直接付く。また、「～のかもし れません」といった形でも用いられる。 (この場合、形状詞・名詞については、 「～アル/～アッタ/～ナ」の形で受け る。)	「かもしません」の丁寧な言い方。 ○町でアルバイトをした方が入りがい いかもしません。 ○一般的な通念によれば、それはかな り遅い出発だったかもしません。	「かもしません」の丁寧な言い方。 ○町でアルバイトをした方が入りがい いかもしません。 ○一般的な通念によれば、それはかな り遅い出発だったかもしません。	○そもそも、「僕」はなぜ、ナツちゃん を一目見るなり、あ、見たことがある か。と思うのでしょうか。 ○「公団では事業の円滑な遂行のため、職 員に転勤を命じる」ということがあり、職 員の住居を確保する必要から、宿舎を公 団において建設・整備」と回答で説明し ている。
カモシレマセシ かもしだれません	助動詞	助動詞	用言及び「名詞+断定の助動詞」のシタ 形に付く。	「Aことがある/あつた」という言い方 で、過去に経験したことがあること、 時々体験することをいう。	「Aことがある/あつた」という言い方 で、過去に経験したことがあること、 時々体験することをいう。	○しかしながら、首ではないが、ろくろ のメカニズムを推測する上で参考にな りそな、面白い行動をとる生物は、地 球上を見渡すとかなりいることを発見す るところができる。
コトガアル ことがある	助動詞	助動詞	動作的な意味の動詞のスル形(シテイル 形を含む。)を受ける。「研究する」 「連絡する」など、漢語+「する」型の 動詞の場合は、語幹の部分を受け て、「研究ができる」「連絡ができる」 などの言い方も可能である。	「Aことができる」の形で、Aというこ とを実現する能力や可能性があることを 表す。	「Aことができる」の形で、Aとい うことを実現する能力や可能性があるこ とを表す。	○現行犯の場合には、直ちに拿捕する ことができる。
コトガデキル ことができる	助動詞	助動詞				

コトトナル	こととなる	助動詞	用言のスル形・シタ形（シテイル形・シティ形を含む。）に付く。「～アル／デアッタ／ナ」の形を受ける。	「Aこととなる」の形で、（1）Aという事柄が実現する成り行きになる。（2）Aという事実認識や了解・解釈が成り立つといった意味を表す。	○同年三月、日米和親条約十二箇条が調印され、日本は下田港を開港することとなる。 ○大学評価・学位授与機構の審査を合格したものは、大学卒業生と同じように学士の学位が授与されることとなる。 ○息子さんと相談しあらか様子を見ることがあります。 ○おまえに何ができる？ 見なかつた／ことに対する／んだな。
コトニスル	ことにする	助動詞	名詞十「である／であった」に付き、また、用言のスル形・シタ形（シティル形・シティタ系を含む。）に付く。	「Aことにする」の形で、（1）あることを行うことと決める。 （2）事実はAといふことだととの立場をとる・想定にするという意味を表す。	○ところが北方の状勢が激変し、それにともなつて宋の国運も危機をむかえる／ことになる。 ○もしドクターの推理が正しければ、秘書は共犯者といふことになる／、それゆえ、彼女のヒステリーはにせものである。
コトニナル	ことになる	助動詞	用言のスル形・シタ形（シテイル形・シティ形を含む。）に付く。「～アル／デアッタ／ナ」の形を受ける。	「Aことになる」の形で、（1）Aという事実が実現する成り行きになる。 （2）Aという事実認識や了解・解釈が成り立つといった意味を表す。	○「文系」だから、「理系」の「基礎学力」がないと心配する／ことはない／。 ○会つた／ことはない／が、彼の経歴も写真もよく見知っている。
コトハナイ	ことはない	助動詞	用言のスル形・シタ形や名詞十「の」等に付く。	「Aことはない」の形で、（1）ある行為についてその必要がない、有り難くない。 （2）ある行為についてその機会・経験がないという意味を表す。	○さらには、波浮は大昔に大噴火をおこした／こともあり／、不安もある。 ○落ちるような感覚を持つ／こともあります。
コトモアル	こともある	助動詞	用言及び「名詞十断定の助動詞」のシタ形に付く。	「Aこともある／あつた」という言い方で、過去に経験したことを行つ。	○別に急ぐ／こともない／のに、次郎はエンジンの回転を速くした。 ○あのとき同地を訪れたなつたならば、高木に出会う／こともなかつた。
コトモナイ	こともない	助動詞	用言のスル形に付く。	「Aこともない」の形で、Aという行為について、不需要・強い否定・全面否定等を表す。	○「Aざるを得ない」の形で、Aのようにしない・ならない可能性はないといふ事実・成り行きの下で、必ずAということになるという判断を述べる。
ザルヲエナイ	ざるを得ない	助動詞	動詞の未然形に付く。	○しかし、ITの進展でこれが誤りだと認め／ざるを得なく／なつた。 ○しかし、病院長も認めるように、医療の倫理を逸脱した行為といわ／ざるをえない／だろう	

シカナイ しかない	用言のスル形に付く。名詞については「Aしかない」という形で、(1) Aにくるものを余り評価しない、価値がそれだけに限られるという意味を表す。(2) 可能な方法・手段をあるものに限ることを表す。	助動詞	「Aしかない」という形で、「名詞(十断定の「ダ」)の運用形」の形で受けれる。	○しかし、「それでは空気のような存在で／しかない／。もっと効果音を存在感のあるものにしよう」 ○全て自分で考えて、一人で前へ進む／しかなかつ／た。
ズニハイラレナイ ずにはいられない	動詞の未然形に付く。	助動詞	「Aずにはいられない」の形で、その場の状況(及び主体の性向)からAする行為・有り様に入ってしまうのは、主体が抑えようとしても押さえられないという捉え方を述べる。	○男が愛さ／ずにはいられない／なる「品格」を取り戻す ○マザーは、そういう人達に手を差し伸べ／ずにはいられない／たのだ。
タライ たらい	用言及び用言十否定の助動詞「ない」の運用形(動詞については、「スタイル」の運用形「シティ」を含む)に付く。	助動詞	「Aシたらしい」の形で、当該の状況・場面で「A」という事柄の実現が望ましい・しかるべきことであるという話し手の捉え方を述べる。そこから、行為者自身が実現可能なことには当為の意味、行為者自身では実現不可能なことについては願望の意味になる。また、当面している問題に關して相手に持ち掛けることで、当為の意味から提案の用法も出てくる。事実と反対のことをこの言い方で言うことで、後悔・非難というようなニュアンスが出てくる。	○夏休み四十日間の有効活用、一斉授業はしないが、子どもと関わるような活動を増やし／たらしい／と思いませんね。 ○気に入らなきや、好きにし／たらしい／だろ。
ツツアル つつある	動詞の運用形に付く。	助動詞	「Aつある」の形で、Aの動作・作用の表す行為が成立・完成する完了点に向けて、行為・動作・変化が継続進行していくことを示す。	○そして「教育」の効果が發揮され、ペーリングも習得し／つある／こと。 ○朝型生活は、サラリーマンにとつて、いまでは当たり前のことになり／つある／。
テアル である	動詞の運用形に付く。	助動詞	「Aである」の形で、Aの動作・作用の結果が現存していること、継続して保たれていることを表す。また、後のことを見てあらかじめ準備のためにある動作をした結果の状態が保たれていることを示す。	○裏を返すと、野村陽子と達筆で書い／てある／。 ○明夫には、夕食を取らずに待っているよう電話をし／てある／。
デアル である	体言に付く。	助動詞	「Aである」の形で、断定や原因・理由・根拠の説明を強く述べる。	○これは新商品、新技術開発に要する工数が一五%以上増加したことを考え合わせると、大変重要な傾向／である／。 ○私達はその後醍醐の所為で酷い目に遭つたの／である／。

テイク	ていく	助動詞	動詞の運用形に付く。	「Aでいく」の形で、空間的・時間的・空間的に、事物・事柄が話し手から離反することを示す。具体的には、空間的な移動、ある時点からの時間的な継続、ある現象の消滅、ある状態から別の状態への変化の進行などを表す。	○「数字を2で割つ／ていつ／ても絶対に数はなくならないから」 ○そんなやりとりのあいだに、ウイスキーでしるされた文字はどんどん蒸発して消え／いく／。
テイダク	ていただく	助動詞	動詞の運用形に付く。	「てもらう」の丁寧な言い方。	○「患者さんにも新しい制度を理解し／／いただから／なければなりません」 ○ニュース写真として掲載させ／／いただく／／ことがあります。
テイル	ている	助動詞	動詞の運用形に付く。	「Aでいる」の形で、 (1) 動作・作用がある時間継続している状態、進行中であることを表す。 (2) 生起した作用や行為の完了した状態が後まで残つている様子を表す。 (3) 現在の継続的な状態を表す。 (4) 漢り返しの動作・作用やそれが定着した習慣を表す。 (5) 既に完了している動作・作用について、経験や記録を表す。	○言われたほうに目を向けると、その部屋のいちばん奥に、ひとりの女性と話している／／、これまたワイシャツ姿の男性がいる。 ○爾来、神島参りは、他の靈場参拝や渡修とともに、大本の中行事となつ／＼いる。
テオク	ておく	助動詞	動詞の運用形に付く。	「Aておく」の形で、ある目的からあらかじめ動作・作用を行うことを表す。具体的には、動作・作用を行つて対象に変化を与え、その結果の状態を持続させる働き掛けや、後のことを考えてあらかじめ準備のためにある動作をすることを表す。また、当座の便宜を図るために、一時的処置を施す言い方として用いられる。	○金を払つて、選挙が終わるまで彼女を遠ざけ／＼おく／＼。 ○臨機応変で判断するべきと思うが、一応はモーターポートを主たる脱出路と頭に入れ／＼おく／＼。
テオル	ておる	助動詞	動詞の運用形に付く。	「ている」のやや古風で専大な表現。丁寧な言い方や尊敬の言い方としても用いられる。	○息遣いが荒く、胸が激しく波打つ／＼でおり／＼、口の端から血が細い筋となつて流れ出している。 ○保護者のみなさまのお心を煩わせましたことを、わたし共は深く受け止め、本校教育のいっそくの精進を誓つ／＼ておるところでございます。
テクダサル	てくださる	助動詞	動詞の運用形に付く。	「てくれる」の丁寧な言い方。	○かなり今更な質問ですがご回答し／＼て下さる／＼事を期待しております。 ○枝豆や納豆など、レシピ以外のいろいろな豆を楽しん／＼で下さい／＼。

テクル	てくる	助動詞	動詞の連用形に付く。	「Aてくる」の形で、空間的・時間的に事物・事柄が話し手に接近することを述べる。具体的には、空間的な移動、ある時点までの時間的な継続、ある現象の出現・生起、ある状態から別の状態への変化の開始などを表す。	○小学校時代に合宿生活をさせたるといふことは、あまりし／＼ませんでした。 ○すぐ前方からは、すさまじい滝の轟きが聞こえ／＼。
テクル	てくれる	助動詞	動詞の連用形に付く。	他者Aから話し手Bへと行為が授受されることを述べる。AがBに利益・恩恵を与えることを示しながらBからAに感謝する気持ちを表明する。また、AがBに何らかの不利益や迷惑を与えることを表す。	○運転手のおじさんは全く日本語を解さないが、「あれがジャダ(海)」など道々韓国語を教えてくれる。 ○上流から豊かな栄養を運んできた水は、洪水という形で田畠に肥料を撒いてくれる／＼。
テクル	て仕方がない	助動詞	感情形容詞の連用形「～ク」(動詞+助動詞「たい」の連用形などを含む。)・感情的な意味の動詞の連用形に付く。	「Aで仕方がない」の形で、Aという感情が抑えられないほど募つていていることを述べる。	○息子がかわいく／＼してしかたがない／＼のだろう。 ○宮益坂の古書店が気になつ／＼て仕方がなかつ／＼たのである。
テシカタガナイ	てしまふ	助動詞	動詞の連用形に付く。	「Aでしまう」の形で、 (1) 動作・作用の終了や完了を表す。 (2) 無意志的動作の完了を強調する。また、不都合を強いられるなどを表す。	○乗りたいと思つているうちに魔線になつ／＼てしまつ／＼た、ダイヤモンドダストが舞う北海道の深名線のようなことがある。 ○『尻』とか『ふともも』とかが妙に目に付いて、気になつ／＼てしまふ／＼たのは俺だけですか？
テシマウ	て仕様がない	助動詞	感情形容詞の連用形「～ク」(動詞+助動詞「たい」の連用形などを含む。)・感情的な意味の動詞の連用形に付く。	「Aで仕様がない」の形で、Aという感情が抑えられないほど募つていていることを述べる。	○大体、なりたく／＼て仕様がない／＼自薦他薦組が一杯いるのに、名前なことやないか。 ○『ムウちゃん、酒の肴にされ／＼ちや埴なん／＼から、死ぬんじゃないよ』
テショウガナイ	て仕様がない	助動詞	感情形容詞の連用形「～ク」(動詞+助動詞「たい」の連用形などを含む。)・感情的な意味の動詞の連用形に付く。	「Aでたまらない」の形で、Aという感情が抑えられないほど募つていていることを述べる。	○向うは向うで、ヤボな百姓然とした田舎をみて、おかしく／＼て埴ならなかつ／＼たでしょ／＼うが」 ○『ムウちゃん、酒の肴にされ／＼ちや埴なん／＼から、死ぬんじゃないよ』
テタマラナイ	てたまらない	助動詞	感情形容詞の連用形「～ク」(動詞+助動詞「たい」の連用形などを含む。)・感情的な意味の動詞の連用形に付く。	「～ある」の否定的な言い方。	○教科書として、つぎのようなものを用いたが、著者、原書名についてはあきらか／＼でない／＼。 ○三十万円の宣伝なら、二頁ぶつ通しの広告も左程ペラ奉な話／＼でない／＼。
デナイ	でない	助動詞	体言に付く。		

テナラナイ てならない	助動詞 感情形容詞の運用形「～ク」（動詞+助動詞「たい」の運用形などを含む。）・ 感情的な意味の動詞の運用形に付く。	「Aでならない」の形で、Aという感情が抑えられないほど募っていることを述べる。	○とにかくこの暑さが嬉しく／てならぬ い／のだ。 ○「教師の手抜きのための詭弁」のよう に感じられ／てならなかつ／た。
デハアリマセン ではありません	助動詞 「ではない」の丁寧な言い方。	体言に付く。	○入力したいのはこの漢字／ではあります／。 ○しかし、心身に障害のある子どもが、 こうした個から集団に向かうプロセスを こどることは、容易／ではありません／。
テハイケナイ てはいけない	助動詞 「Aシてはいけない」の形で、当該の状況・場面で、Aという事柄の実現が然るべきことではない・望ましくないといふべきことの捉え方を述べる。そこから、行為者自身が実行可能なことについてはなすべきではないといふ意味、行為者が自力では自由にできないことについては危惧の意味になる。また、当面している問題に關して相手に持ち掛けることで、なすべきではない意味から禁止の用法も出てくる。	動詞・形容詞（及び動詞+助動詞「ない」、形容詞+形容詞「無い」）の運用形（動詞については「シテイル」の運用形「シテイ」等を含む。）に付く。	○また、特殊な機器は入手に時間がかかることがあるので、手配は早めにしておく必要があることとも忘れ／てはいけない／。 ○どんな状況でもきみの名前と住所は告げ／てはいけない／。
デハナラナイ てはならない	助動詞 「Aではない」の形で、否定の判断を表す。	体言に付く。	○生まれ変わり、靈の存在（お化け／ではない／）、魂が永遠に生き続けること、などを信じることと理解してください。 ○彼の場合、策を練るのは大好きだった が、どんな球でもガンガン打てるような 強打者／ではない／。
テハナラナイ てはならない	助動詞 「Aシてはならない」の形で、Aという動作・行為について、一般論として許されない・望ましくないといふ捉え方が、 テハナラナイ てはならない ら、禁止の意味を持つ。また、当為の否定を表す。	動詞・形容詞（及び動詞+助動詞「ない」、形容詞+形容詞「無い」）の運用形（動詞については「シテイル」の運用形「シテイ」などを含む。）に付く。	○信長の滅亡のときが到来したいま、攻撃の手をゆるめ／てはならない／。 ○アメリカ、イギリスとも仲よくしてい こうと考えている。これまで労働のあつ た政治家や、財界関係者は、これに軽が るしく賛成し／てはならない／といふ考 えでした。

テホシイ てほしい	助動詞	動詞の運用形に付く。	「Aでほしい」の形で、心中に抱いてい る願望・依頼を表す。	○同じ二〇〇〇年の新春に息子が交通事故 に遭い、「脳挫傷、ケモ膜下出血など で集中治療室に入院したので、すぐ以來 てほしい／」という連絡が入り、病院 に駆けつけた道中の気持ちを思い出し た。 ○お年寄りにも、新しいことをどんどん 始め／てほしい／。
テミル てみる	助動詞	動詞の運用形に付く。	「Aでみる」の形で、物事を知るために 実際に行為をすることを示す。	○紋切り型の挨拶で、探りを入れ／てみ る／。 ○これらは補償金がどのような形で使わ れつかるのか、それは転業漁民あるいは 農地を失った農民の生活転換に充分、 役立ったかどうかを検討し／てみる／。
デモアル でもある	助動詞	体言及び用言連体形+「の」等に付く。	「Aでもある」の形で、断定や原因・根 拠の説明を強く述べる。	○俳人・小林一茶ゆかりの寺／でもある い／。それはおそらく、同時代の男たちの想 い／でもあつ／たと思う。
テモイイ てもいい	助動詞	前接語が、動詞・形容詞の場合、動詞・ 形容詞の運用形（「シテイル」の連用形 なども含む。）+「テモイイ」の形をと る。	「Aシてもいい」の形で、基本的には、 あり得ることを認めることでAもある といふことを述べる。そこから、相手 の側の行為・物事の有り様について許 可・許容の言い方として用いられたり、 相手からの勧誘・依頼に応じる意志があ ることを表す言い方として用いられた り、自分の側の行為について申し出の言 い方として用いられたりする。また、論 理・道理の上で可能性を述べる言い方 にもなる。	○父親は卒業間際になつて、大学に行く なら行つ／てもいい／し、行くなら早い とこ志望校を決めろと言つた。 ○本当にあなたが若い人の気持ちも知り たいんだつたら、渋谷の街や夜の池袋を 私が案内し／てもいい／。
テモラウ てもらう	助動詞	動詞の運用形に付く。	文の主格に立つ話し手または話しへ手側の Bが他者Aから行為を受け取ることを述 べる。BがAから何らかの利益・恩恵を 与えられるよう働き掛けることや、BがA に許可・容認を求めるなどを表す。また、 BがAから何らかの不利益や迷惑を 与えられるなどを表す。	○夫への不満が募つてくると、こうやつ て幼なじみの律子を誘い出して、愚痴を 聞い／てもらう／。 ○その結果がはつきりするまで、ここに とまつ／てもらう／ことになるが
テヤル てやる	助動詞	動詞の運用形に付く。	話し手または他者Aから他者Bへと行為 が授受されることを表す。また、自分の 行為を誇示したり自虐的に見せるとき に用いられる。	○「乗れ。医者まで連れていっ／てやる ／」 ○いつか、目に物見せ／てやる／

ナイデハイラレ ナイ	ないではいられない ない	動詞の未然形（「シテイル」の未然形も 含む。）に付く。（サ変動詞について は、「～シ」の形を受ける）	助動詞	「Aしないではいられない」の形で、そ の場の状況（及び主体の性向）からAと いう行為・有り様に入つてしまふのは、 主体が押さえようとしても押さえられな い必然のことだったという捉え方を述べ る。	○そしてあまりの恐ろしさに思わず顔を そむけ／ないでいるからながつ／た。 ○電話がかかると出／ないではい られない／。
ナクテハナラナ ナイ	なくてはならな い	動詞の未然形（「シテイル」の未然形も 含む。なお、サ変動詞は「～シ」の形） 及び形容詞・形状詞・名詞+断定の助 動詞「連用形に付く。」	助動詞	「Aしなくてはならない」の形で、状況 や決まり・道理といった外的な制約・要 請からAという行為・事態の実現が必要 だという一般的な判断を述べる言い方で ある。	○「ひとは助けあわ／なくではならない 」 ○洋子が撮影に出かけた時刻を源蔵は知 らないが、もしそうだとしても、搜索範 囲をひろげ／なくてはならない／。
ナケレハナラナ ナイ	なければならな い	動詞の未然形（「シテイル」の未然形も 含む。なお、サ変動詞は「～シ」の形） 及び形容詞・形状詞・名詞+断定の助 動詞「連用形に付く。」	助動詞	「Aしなければならない」の形で、状況 や決まり・道理といった外的な制約・要 請からAという行為・事態の実現が必要 だという一般的な判断を述べる言い方で ある。	○愛どは抽象的なものであり、生きるた めには食べ／なければなら／ない。 ○あまり失礼なことを言うようならそれ なりの手だてを講じ／なければならない 。
ニスギナイ	に過ぎない	動詞・形容詞のスル形・シタ形（動詞に ついては、シティル形・シティタ形を含 む）に付く。また、形状詞・名詞の場合 「～デアル／デアッタ」の形に付くか、 語幹若しくは名詞に直接付く。	助動詞	「Aに過ぎない」の形で、Aという行 為・性質・有り様以上のもではないと いう話し手の事実についての評価的見方 を表す。	○しかし医療としては、何の意味もない セレモニー／にすぎない。 ○反日デモについても、積極的に推進す る層はごく一部／に過ぎず／、特に若い 層は無関心な者が意外に多い。
ニチガナイ	に違いない	動詞・形容詞のスル形・シタ形（動詞に ついては、シティル形・シティタ形を含 む。）に付く。また、形状詞・名詞の場 合。「～デアル／デアッタ」の形に付く か、語幹若しくは名詞に直接付く。また 体助詞を介する形を取つたり、「～か ら」「～時」などの理由節・時間節に付 いたりもする。	助動詞	「Aに違／ない」で、その可能性が非常 に高いといいう推量を述べる。	○私だってたぶんそのような状況だつた ら、そうちた／に違／ない／からだ。 ○子どもに接し、子どもを育てることも 大きな愛の行為／に違／ない／。
ニホカナラナイ	にほかならない	名詞・名詞節、若しくは「～から」「～ 時」などの理由節・時間節に付く。	助動詞	「Aにほかならない」の形で、話題に なつているものが、正しくAであること を表す。	○それは砂上の楼閣、虚構の楼閣／にほ かならない／ものだという、抜きがたい 信念があるからなのだ。 ○話し方は知性や人格の表れ／にほか ならない／。

<p>「Aせねばならない」の形で、状況や決まり・道理といった外的な制約・要請からAという行為・事態の実現が必要だという一般的な判断を述べる言い方である。「なければならぬ」より書き言葉的な言い方になる。</p>	<p>用言の連体形に付く。</p>	<p>○日本では、アメリカと異なり、警察が容疑者を取り調べる場合、弁護人の立ち会いを許さない／。○そのため、どんなに経費がかかったとしても毎週、定期的に会議を開く必要があるという／のだ／。</p>
<p>「Aである」の形で、状況や決まり・理由として確認したものと提示する。原因・理由の説明、結果の説明、納得、事実の強調、判断の主張など、様々な意味で用いられる。</p>	<p>用言の連体形に付く。</p>	<p>○人には「自尊心」を満たしたいという欲求があるため、相手に「重要感」を与え、「特別扱い」をしてあげれば、相手の心は動く／のである／。○何の蓄えもなく、何の準備もなく、何の準備もなかつた会津藩士及びその家族達の苦難が始まる／のである／。</p>
<p>「のだ」の形で、状況や決まり・理由として確認したものと提示する。原因・理由の説明、結果の説明、納得、事実の強調、判断の主張など、様々な意味で用いられる。</p>	<p>用言の連体形に付く。</p>	<p>○全体のイメージが変わり、D o c k という新しいツールが登場したこととで従来のMac OSとは異なるように思われがちですが、基本的な操作はMac OSと変わらない／のです／。○目標がある人は、よけいなことは考えずに1つのことに集中できるから速い／のです／。</p>
<p>「のだ」の否定的な言い方。</p>	<p>用言の連体形に付く。</p>	<p>○しかし、社会の正義は活字ケースの中にある／のではない／。○われわれは国のために戦った／のではない／。</p>

<p>用言及び用言+否定の助動詞「ない」の仮定形(動詞については「シティル」の仮定形を含む。)に付く。</p>	<p>助動詞 ばい ばいイ</p>	<p>用言及び用言+否定の助動詞「ない」の形で、(1) 何らかの状況になることが適当である、望ましいとすることを表す。また、その適当・望ましいと判断した状況が実現するように、相手に対して直接何かすることを提案したり勧めたり、望む状況の実現に対する強い願望を表すのに用いられる。 (2) 相手に対する提案の形を取りながらも、放任や非難・軽蔑などの気持ちを強くこめるのに用いられる。</p>	<p>「Aばかり」の形で、(1) 何らかの状況になることを表す。また、その適当・望ましいと直接何が実現するように、相手に対して直接何かすることを提案したり勧めたり、望む状況の実現に対する強い願望を表すのに用いられる。</p>
<p>助動詞 までもない マデモナイ</p>	<p>動詞のスル形に付く。</p>	<p>必要を満たすために、そのレベルまでの行為を行わないでも(あるいは、出来事が起こらないでも)十分であるという意味を表す。</p>	<p>○芸術家の生活と聖人の生活の間には、疑う／までもなく／大きな違いがあつた。 ○田中外相への評価の軸がその外交政策であるのは言う／までもない／。</p>
<p>助動詞 わい ワケニハイカナ イ</p>	<p>動詞のスル形(シティル形を含む)に付く。</p>	<p>「Aわけにはいかない」の形で、状況からして当然すべきと思われるAということが、社会的・道徳的・心理的理由によりできないことをいう。</p>	<p>○ところが、それでは食糧管理法に抵触するこどがわかった。ここで法律違反をおかす／わけにはいかない／。 ○「恋をしたい」とよくいうが、誰とでもいいという／わけにはいかない／。</p>

連語

語彙素読み	語彙素	品詞	用例
イッケンラクチャク	一件落着	名詞	<p>○あとは家族が引っ越して来れば／一件落着／だ。 ○「いや、背後を洗っています。／一件落着／にしておいて、相手を油断させているようですが。継続検査ということです」</p>
トントンビヨウシ	とんとん拍子	名詞	<p>○大村湾を臨む漁村で生まれた彼は、入門以来／とんとん拍子／に出生し、わずか四年三ヶ月で入幕、その三年後には三役どなつた。 ○アメリカなら、／とんとん拍子／でベンチャーの設立まで進んでいるんじゃないですかね」</p>
ニクマレグチ	憎まれ口	名詞	<p>○「もうゲロ吐きそう」ルーシーが／憎まれ口／をたたいた。 ○その／憎まれ口／も、皮肉めいた笑いも、怜俐な美貌も、間違いなく彼だった。</p>
ヒトイチハイ	人一倍	名詞	<p>○「会長は長く球団経営にかかわり、／人一倍／、ファイターズを愛している。何とかこのままオーナーを続けていただきたい」 ○そう思うから「中途半端はできない。自分のすべてをかける」と、メタルへの思いは／人一倍／強い。</p>
ミタメ	見た目	名詞	<p>○丸い小さな缶に入っていて、／見た目／にはベージュ色の軋墨のようだった。 ○ずばり言うと、養殖物と天然物は／見た目／区別がつきません。</p>
アマイモノギライ	甘い物嫌い、	名詞・形容詞	<p>○一説によると、ミスターの「／甘い物嫌い／」はキャラ作りだという噂も。 ○今日食べてみて、オードブルにも合う／甘いもの嫌い／な旦那でさえもまた食べたいと思う美味しいです。</p>
オキニイリ	御気に入り	名詞・形容詞	<p>○パソコンを買ったばかりで、／お気に入り／のポートはブルサイドで約二万。 ○サイドのベルトが／お気に入り／のポートはブルサイドです。</p>
クワズギライ	食わず嫌い、	名詞・形容詞	<p>○インスリン治療を拒否している患者さんの多くはいわゆる「／食わず嫌い／」のケースが多いのです。 ○牛乳がたっぷり入っており、どちらしたシチューンでの、／食わず嫌い／なのかもわかりません。</p>
タベズギライ	食べず嫌い、	名詞・形容詞	<p>○最近は冷凍技術が進歩、おいしい羊肉が提供できるようになつたが、「／食べず嫌い／」の状態が続いた。 ○自分は、小さいころの鯉料理で／食べず嫌い／になつてましたがこの鯉の洗いを食べてこの物なら食べれました。</p>
マケズギライ	負けず嫌い、	名詞・形容詞	<p>○その姿を見たプロ高段者は「あの／負けず嫌い／はプロ向き」と評した。 ○もともと私は／負けず嫌い／な性格で、自分より実力がある存在に挑戦するのが好きだった。</p>

イツモドオリ	何時も通り	名詞・副詞	○十五日前七時五十分から、雪の上でいつも通りの朝礼が行われた。 ○今朝玄関を出ていつもどおりモコに挨拶したらこんな顔に即写真を撮りました
イママデドオリ	今まで通り	名詞・副詞	○その一方で、「今までどおりのことをもつと快適にできる」(会社員二十七歳)と、とにかく現在の通信速度が不満で、その改善策として高速インターネット環境がほしいという意見もありました。 ○今まで発行されていた壱万円札、五千円札、千円札の3種類のお札は、今までどおり使用するわ。いったん発行されたお札は、日本銀行から発行されなくなつたものであつても、通用力(Q三十六参照)を失わないのよ。
カミヒトエ	紙一重	形状詞	○それは傲慢さと紙一重だ。 ○「薬と毒は紙一重」ともいわれるよう、薬を侮ったり、安易に考えたりするのは怖いことです。
コトバズクナ	言葉少な	形状詞	○主人は領事にパスポートをさしだして、言葉すぐくな／＼に、ただ査証をしてくれと頼んだ。 ○ある隊員の家族は「ニュースはテレビで見たが、派遣はこれからだし、行ってみないとわからない」と／＼言葉少な／＼だった。
コトモナゲ	事も無気	形状詞	○「あの子がそう言つていましたから」と、こともなげ／＼に言つてのける高江洲先生。 ○だが、「党内に不満が渦巻いている」と／＼事もなげ／＼に言つてのけるもの、冷戦時代の東側よろしく、同党は厚いカーテンで覆われている。
ワガモノガオ	我が物顔	形状詞	○そこには「我が物顔」のポチ姉さんですが、苦手な愛想を振りまき過ぎたためか、初日にして、既にお疲れモード。
イイカゲン	良い加減	形状詞・副詞	○というより、裁判所の／＼いい加減／＼な判断に腹が立つ。 ○その前に注文の餃子を／＼いい加減／＼早く焼いてくれ！状態
シユタル	主たる	連体詞	○あっせん、調停、仲裁及び裁定を行うこと等により、その迅速かつ適正な解決を図ることを／＼主たる／＼任務の一ととしている(公害等調査委員会設置法第2条、第3条)。 ○アメリカの押しつけ憲法というのが改憲の拠点にあり、改憲の／＼主たる／＼眼目が憲法九条にあることは明白である。
アイカララズ	相変わらず	副詞	○研究のため家族四人そろって渡米した。不登校は／＼相変わらず／＼だつたが、本に興味を持つてくれた。 ○そんなに早く走れないと見えて、からだをまっすぐにして、／＼あいかわらず／＼、どこどこ歩いていました。
アオアオト	青々と	副詞	○山肌は削られそこに風に乗つて雑草の実が芽吹いたのだろう／＼青々と／＼している ○「アーメン！」そう言つたら、馬は止まりました。崖の上から見る／＼青々と／＼した大海原、心地よい風もほほに触れます。

イカニモ	如何にも	副詞	<p>○こんど取材をかねて観たオペラは、『トスカ』である。／いかにも／イタリアらしい試みで、時代背景を現実の場所と一致させ、時間まで同じ時刻に上演する。</p> <p>○「／いかにも／。だが、精靈殺しとは聞き捨てならぬ。昔からそうであったわけではない」</p>
イツカ	何時か	副詞	<p>○そのときに私が何を感じたか、そして何が起きたか—それについてもまた／いつか／あらためてゆつくりと話したいと思う（うまく話せるかどうか自信はないけれど）。</p> <p>○そこでも彼は相変わらず「室内」において、どこか違うところにある、訪れたことは一度もないのに、／いつか／どこかで見たことがあるよ／うな風景ばかり描いている。</p>
イマヤ	今や	副詞	<p>○家族旅行となれば、／今や／ビデオカメラを持つていくのは当たり前。</p> <p>○イスラームを理解するうえで、その開祖ムハンマドの理解が欠かせないことは、／いまや／論ずるまでもない。</p>
カナラズシモ	必ずしも	副詞	<p>○飲食類は、嗜好の問題なので、著名なホテルでもメーカーでも／必ずしも／、受取人が嗜好の対象とは限らない。</p> <p>○安易に海外に「安価で豊富な労働力」を求めるとしても、／必ずしも／うまくいくわけではないことがうかがえる。</p>
クログロト	黒々と	副詞	<p>○しかしほメロスでは魂は昇天しない。英雄を襲うのは、／黒々と／した死の闇である。</p> <p>○せっかくの文章を抹消する墨の跡を／黒々と／残した先に、ようよう控え目な文章が読いていた。</p>
コツゼント	忽然と	副詞	<p>○行先は越後湯沢で、清水トンネルを汽車で抜けると、川端康成の小説『雪国』の冒頭さながらに雪におわれた夜の湯沢の町が／忽然と／眼の前に現れた。</p> <p>○目のくりくりしたたこ坊主が、／忽然と／ビックリ箱のよう飛び出して來た。</p>
シキリト	頻りと	副詞	<p>○寒い、お腹が減つたと、二十三歳にもなる範子が子供のような口調で／しきりと／訴えてくる。</p> <p>○君には、排他的の厳重な一夫一婦という、一種の理想があった。そこで君は、／しきりと／僕に、他のいっさいの女を斥けることを迫つた。</p>
シキリニ	頻りに	副詞	<p>○島は、ひさしぶりにぎやかになった。観光客は、／しきりに／「すごいですねえ」／「感激しています」／という言葉を口にした。</p> <p>○地域スタッフは、「NHKと委託契約を結んで受信料徴収などをを行う個人事業主」だと、／しきりに／繰り返すのだ。</p>
シゼント	自然と	副詞	<p>○リーダーの座席は從来は部屋の奥にあつたが、窓口に最も近い位置に住民と向かい合うように移動。訪れた住民が最初に接するのは／自然と／總括リーダーになつた。</p> <p>○「ワインはワイン、料理は料理でそれおいしければ、／自然と／楽しい食事になるんですよ」とオーナーソムリエの徳原誠さん。</p>
ジツハ	実は	副詞	<p>○君達の家には、古文書など、何か古いものがあると思う。／実は／、それらを私に見せてほしい。</p> <p>○漫才にかぎらず、今やお笑いの世界は、吉本の芸人花ざかりの感があるが、／じつは／、この芸能王国の創業者が、吉本せいという女性であることは意外に知られていない。</p>

スクナクトモ	少なくとも	副詞	○だから久永さんの死は、彼自身が決めたことだった。／少なくとも／彼は、そう信じていた。 ○フィリピン南部ミンダナオ島ゼネラルサントス市の公設市場で十二日午後、テロとみられる爆発があり、／少なくとも／十五人が死亡し、五十人が負傷した。
ソコハカト	其処は彼と	副詞	○しかしそのチープなポンプ・ウォイスには、／そこはかと／／ない哀愁が漂っていて、そこがよい！ ○全然似てないんだけど、／そこはかと／／なく似てる。
ダンジテ	断じて	副詞	○その頃、人体を解剖するなどということは、神仏をも恐れぬ／断じて／許されぬ行為とされ、解剖などということは考えることすらできなかつた。 ○「前代未聞の醜聞で、外交に対する国民の信頼を著しく損ね、／断じて／許し難い。外務省は徹底的な内部調査を継続するとともに再発防止策を講じ、国民の失われた信頼を早期に回復すべきだ」としてい
ドウシテ	どうしても	副詞	○けれど、どうもあぶないもんだな、きみのもつてる人相書程度では。たとえ犯人がモンゴリア号に乗つていたとしても、／どうして／その男だと決められるのかね？ ○夫婦が子どもを生まなくなつたのは／どうして／なのだろうか。
ドウシテモ	どうしても	副詞	○事業者は「高度なサービスで日欧に追いつくため、／どうしても／追加周波数が必要だ」との大合唱で、政府から新しい周波数を引き出そうとしているわけだ。 ○突きつめれば理屈というものはなかつた。／どうしても／このまま別れることができない、ただそれだけの理由で急いでいるのであった。
ドウニカ	どうにか	副詞	○もつとも、どの家も木立の奥にあるので玄関の灯は道にまで届かない。高原地帯らしいということだけは／どうにか／わかつたが、そのことすら予備知識にはなかつた。 ○隣がマンションだったので／どうにか／類焼は免れた。／結局、電気は大丈夫だったが電話が不通になつた。
ドウニモ	どうにも	副詞	○あちこち開いてのぞき読みはしたもの、やはり／どうに／すらりと入りこめず、数ページ読みかけると忽ち違和感の方がいつのつてきて、／どうに／読み続けられない。 ○そこに金銭的やりとりがからむのは、／どうに／も／毅然としないといふ人もいると思います。
ドウニモコウニモ	どうにもこうにも	副詞	○腹筋をつけるには、やっぱり腹筋をするのが一番いいのでしょうか。／どうにもこうにも／苦手なんです。 ○だからこそ、馬鹿で単純で／どうにもこうにも／危なかしいながら、別の選択肢を有する甲斐に賭ける
ナニヨリ	何より	副詞	○でも、／なににより／肝心なのは、これ以上感染者を生みますし、／何より／も家族みんなで温泉気分にもひたれます。
ナンダカ	何だか	副詞	○あのひとたち、／なんだか／もめてるみたいなの。 ○それにしても、ロンドンで、なつかしいぐさを見た時は、／何だか／嬉しくてならなかつた。

ナンデモ	何でも	副詞	○機械的でも／何でも／、小さいうちに一生懸命教育をして、それで賢くなるなら、早期教育をさせたいと思う。 ○嫌というほど強い拒否ではないのですが、／何でも／、きょうはパーテイーの手伝いにでなければならぬといふことで、できることなら電話で済ませてくれと…。
ナント	何と	副詞	○初校、再校、三校と校正を重ねているうちに／何ど／ふさわしい題名だろうと思えるようになつた。 ○こんな時に僕は折ることしか出来ないなんて、／なんて／無能なんだろう…。
ナントカ	何とか	副詞	○「そこを／何とか／早めにお願いできますと…」 ○／なんとか／、みんなの気もちらがまとまって、うごきがそろうようになつてきました。
フカブカト	深々と	副詞	○そして、立つたまま用意した文書を読み上げ、途中何度も／深々と／頭を下げた。 ○何も言えないでいると、瞳子さんが／深々と／ため息をついた。
ベツニ	別に	副詞	○私と目が合うと／別に／あわてるふうでもなく腰をあげ、生垣の隙間からするりと外に出て立ち去つて いった。 ○／別に／いいんですかけどね。ちょっと変じやないかと思つただけで。
ホウフツト	彷彿と	副詞	○コンクリート打ち放しの外壁の一部、エントランス脇に耐火レンガをあしらったデザインが、どこかNEYのアパートメントと退室せざるを得なかつたものと思われる。その場の、状況が／彷彿と／目に浮かんでもくる。
ホソボソト	細々と	副詞	○一静さんが呼んでいる。秋の虫みたいな／細々と／した声で呼んでいる。 ○終了後は季節のそばを振るうサービスを／細々と／続け、通算で百三十回目となつた。
モウゼント	猛然と	副詞	○通産省の役人が強引にベータに規格統一しようとした時、加賀谷は／猛然と／反論する。 ○男は打球に／猛然と／飛び込んだが、案の定見えなかつたのか、ボールが顔面を直撃した。
シカシナガラ	然しながら	接続詞	○「（北朝鮮と）ペキスタンとの間で、現在、如何なる類の軍事取引も行われていない。／しかしながら／、常にそうではなかつたことは確かである。
シタガッテ	従つて	接続詞	○女のが前などはことに変化が早く、／したがつて／その例は幾つもある。 ○／したがつて／、本件の場合は、一応、形式的に文言侵害に入らないことがあります。
スルト	すると	接続詞	○／すると／、カラスは、ほぼ二日でエサが得られる顔を学習することが分かった。 ○／すると／、どうでしよう☆いたみにくくなりました☆
ソウシテ	そして	接続詞	○時期によつて出入はあるものの、官僚、農政学者、大学講師、講演者、文人もしくは歌人、旅行家、著述家、歴史家あるいは民俗学者、大勢の若者たちの私的な教師、社会の木鐸、が古風すぎるなら、有力新聞の論説委員また編輯顧問、／そして／夫であり何人もの子女の父でもある家庭人だつた。 ○羽目を外した大人達に囲まれて、子供達は無邪気に笑う。無邪気に笑う。／そして／輪はどんどん広がつてゆく。

ソレカラ	其れから	接続詞	○月に一度の割合で行われる避難訓練だ。秋田さんはヘルメットをかぶり、お年寄りに防空頭巾をかぶせる。／それから／、車椅子をおして外に出る。
ソレデ	其れで	接続詞	○「では、下条社長。相手の住所と電話番号、銀行口座、／それから／、あなたが買った本のリストと、支払った額を教えてください」
ソレデ	其れでは	接続詞	○淡谷さんの物真似をやって笑いをとつたりして、その後も童謡や昭和歌謡が続き、／それで／前半は終わった。
ソレデモ	其れでも	接続詞	○「そんで／、帰つて来てからとりあえず横になり、二十時頃に起きて、それからテレビなんかも見つつ、だらだらとまた焼酎を満めて飲みつつ、先日買ってきたカメラの入門書を読んでいます。
ソレデモ	其れとも	接続詞	○「それでは／、なぜ末婚化や晩婚化が進んでいるのであろうか、
ソレトモ	其れとも	接続詞	○「そう叫びながら、波にいくどか足を取られて転び、／それでも／めげずに沖を目指す。
ダガ	だが	接続詞	○「それでも／六つのスペースが埋まらず、三階は空きが目立つ。
ダカラ	だから	接続詞	○母親が手続きしたからでしょうか、／それとも／最初の返済、もしくは後者の返済が遅れ、ブラックに載つてしまつたのでしようか。「例外」を多用することで、これまでのようになんか債権放棄が乱発されるのか。
ダケレド	だけれど	接続詞	○「だが／、最も手軽につくれる間は、臉の間だ。
ダケレドモ	だけれども	接続詞	○「だが／、こうした伝統料理は差れつたり、大衆食なのに首都でも専門食堂はあまり見かけない。
ダッタ	だつたら	接続詞	○「こんな本格的なプールがだから／、あなた／、／だから／、／プール屋サンが成立する。
ダッテ	だつて	接続詞	○「社長版『／だから／あなたも生きないで』」と、どこかで聞いたフレーズである。
チナミニ	因みに	接続詞	○「だけ／、自分がやりたからやるだけという仕事の、何と楽しいことだろう。

ツティウカ	つて言うか	接続詞	○書いていいですよ、これ。／つていうか／、世に真実を知らしめるためにも書きやがれ」 ○なんかつかさますがこんな経験ありますか？／つていうか／、そこまでしてBA欲しいですか？
デスガ	ですが	接続詞	○／ですが／著作権が絡むCDは音楽用でやることをお勧めします。 ○子育てを考え日勤を希望し復帰後また間接部門にいます。／ですが／、昇格せず後輩にばかり追い越されます。
デスカラ	ですから	接続詞	○たしかにそれが常道であるべきで、／ですかから／どうか、きても査証をしないでください！ ○東京地区では一般事務で千五百円／時ぐらいだと思います。／ですから／、求人にでている時給程度はもらえますよ。
デスケレド	ですけれど	接続詞	○「呼びに行ったんでしょう。／ですけれど／、ゆうべから何処へか行って、まだ帰らないんだそうです」 ○／ですけれど／、どうしても、あの異国に帰ってしまったピンkartonという恋人を、一人屋敷で待つ蝶々夫人の気持ちがつかめないで悩んでおりました。
デスケレドモ	ですけれども	接続詞	○ひつかけるほどの代物じやないんですが…。／ですけれども／、こういう状況こそ、つかい道、利用法があることはあるんですよ。 ○韓国の記事は、今の日本の新聞にかなり出ます。／ですけれども／、明治十年代の、明治初期の新聞を読んで驚くことは、朝鮮関係の記事が非常に多いということです。
デハ	では	接続詞	○これまでに解説した儒教の考え方と同様です。／では／、幸福とはどのような状態をいうのでしょうか。 ○私的には超オススメなので、是非！！／では／、今日の贈り物紹介はここまでに！
デモ	でも	接続詞	○これは画家の厳しい眼で相当考えた末に描き分けたのね。／でも／二人は、それぞれの生まれ育ちに關係なく愛くるしい。 ○八十五kgから一ヶ月で六十kgになりました。／でも／何だか肌はボロボロが佛きません。
トコロガ	所が	接続詞	○次々と寿命を迎える、建て替えラッシュの時代が来る。／ところが／、その前に彼らが姿を消してしまう。 ○だからできれば鍛えたもんを使いたい、／ところが／高い、とこうなりまんねん。
トコロデ	所で	接続詞	○スパゲティなどで人気のいかすみ料理。／ところが／たこも同じようにすみを吐くのに、たこすみ料理を見かけないのはどうしてでしょう？ ○予報では雨でしたが、宵のうちにぱらついたぐらいです。／ところで／、JSBA（日本スノーボード協会）から、雪坊主と一緒に更新手続きのお知らせがありましたよね。
ナノデ	なので	接続詞	○今までだと、2ちゃんねるに攻略が載ります。／なので／、掲示板をよく見ることが良いですね。 ○といつても今日は、待ちに待ったテープルが届く日。…／なんで／、これから片付け（大掃除）です。。。。。

ナノニ	なのに	接続詞	○わずか1万円の上乗せでもどんなに助かるか。／なのに／貴子さんと英子さんの女の戦いを利用して、責任を回避している正夫を守るなんて。 ○湯小屋の周り参拝客が普通に歩いているんですよ…／なのに／懲全開～（「△、；）
ナラビニ	並びに	接続詞	○が国を含む四十か国が参加する原子力供給国グループ（N S G）により、原子力専用品及び原子力汎用品／並びに／その開発技術の輸出管理が行われている。 ○それは、日進月歩の速さで進化する航空機の運用設備の向上や、運航環境の変化に的確に対応するための知識審査、／ならびに／個々人の操縦技術の衰えなどに対応するための技術審査が、これもやはり半年毎に行われることを指している。
マタハ	又は	接続詞	○両県では有権者登録を実現できず、シンニ派が多数ボイコット／または／参加できない状況を招いた。 ○台木は黒松の2年生を用い、錦松の場合は複数、五葉松の場合は割離ぎをすることが多い。実生、／または／接ぎ木した苗はポットまたは畑地で養成を行う。
ユエニ	故に	接続詞	○その販売をシスコが受け、利益を上げるという営業戦略である。／ゆえに／シスコは常に最先端のビジネスモデルを標準できることを続けてきた。 ○期待にそむかず、植えておけば、実を結んでくれます。／ゆえに／、人間の健康・根気よさ・まじめの意にも使われるようになります。
ヨウスルニ	要するに	接続詞	○アナフィラキシーというのは／要するに／アレルギーのショック症状ですからご心配なら血液検査で蜂毒（上記の三種どもが望ましい）を調べてみることをお勧めします ○そうして各地を一巡してから南極だ。／要するに／、平均的日本人的好奇心の推移を示す、社会学的資料として使える」
ヨッテ	因って	接続詞	○このような控訴人の悲惨な状況に鑑みれば、百五十万円と言う料額が、いかにも実態に見合わないものであるから明らかであろう。／よって／、金銭面でも原判決の判断は再考される米である。 ○これは某不動産会社の女子社員が自分の歩く速度を何度も計測し、業界が標準化されたものです。／よって／、1キロを歩くには十二分三十秒って事になるでしょう。
オメデトウ	御めでとう	感動詞	○会見後、ひとみさんと目が合い、「おう」と声を掛けると、「／おめでとう／ぐら言いってよ」と、ひとみさんは最高の笑顔を見せた。 ○おめでとう／ございます。この「／おめでとう／」という言葉には二つの意味があります。
ゴメンナサイ	御免為さい	感動詞	○腹はどうにいっぽいになつたけれど。「／ごめんなさい／」と女はうつむいてちいさく言う。 ○鉄っちゃんではないので、鉄道の写真に期待して来た皆さんは／ゴメンなさい／。
スマシ	済まん	感動詞	○羨ましいですが、自分で車を買った方のほうが、異性として魅力がありますね。回答じやなくて／すまん／。 ○「／済まん／、／済まん／…四階階のエレベーター・ホールで待伏せしていた連中のうちのチーフ格のミヨンという男から、色々と尋きだしてたもので…」

スミマセン	済みません	感動詞	○その反対に、お客様が「細かくて／すみません／ね」と恐縮しながら支払ったときは、即座に「ありがとうございます。助かります。」と答えれば、お客様も気持ち悪くなります。 ○／すいません／、この日は忙しくてかけませんでした。
キモチワルガル	気持ち悪がる	動詞	○その人からすれば、ちょっとと親しくした程度だったのですが、／気持ち悪がら／れました。 ○でも家族全員／気持ち悪がつ／て食べないので、私は一人で食べた。
カッコウヨイ	格好良い	形容詞	○真っ黒に日焼けしたスリムな体の彼らに、白いふんじが／格好よく／映えて羨ましかった。 ○ブーツインが大好きで、毎日のようにイン（笑）。／かっこいい／感じにまとめたいので、色を抑えてコーディネートしました

コーパス開発センター（形態論情報サブグループ）

小椋秀樹*（言語資源研究系准教授、コーパス開発センター（兼））
小磯花絵*（理論・構造研究系准教授、コーパス開発センター（兼））
小木曽智信（言語資源研究系准教授、コーパス開発センター（兼））
富士池優美*（コーパス開発センター プロジェクト特別研究員）
宮内佐夜香*（コーパス開発センター プロジェクト特別研究員）
渡部涼子（コーパス開発センター プロジェクト奨励研究員）
小西光*（コーパス開発センター プロジェクト奨励研究員）
原裕*（コーパス開発センター プロジェクト非常勤研究員）
竹内ゆかり（コーパス開発センター 事務補佐員）
中村壮範（派遣社員、マンパワー・ジャパン株式会社）

(*印は執筆者)

国立国語研究所内部報告書(LR-CCG-10-05-01)

『現代日本語書き言葉均衡コーパス』

形態論情報規程集 第4版（上）

平成23年2月25日

執筆者 小椋秀樹 小磯花絵 富士池優美 宮内佐夜香
小西光 原裕

発行者 大学共同利用機関法人 人間文化研究機構 国立国語研究所
〒190-8561 東京都立川市緑町10番地の2

電話 042(540)4300(代表)



国立国語研究所

